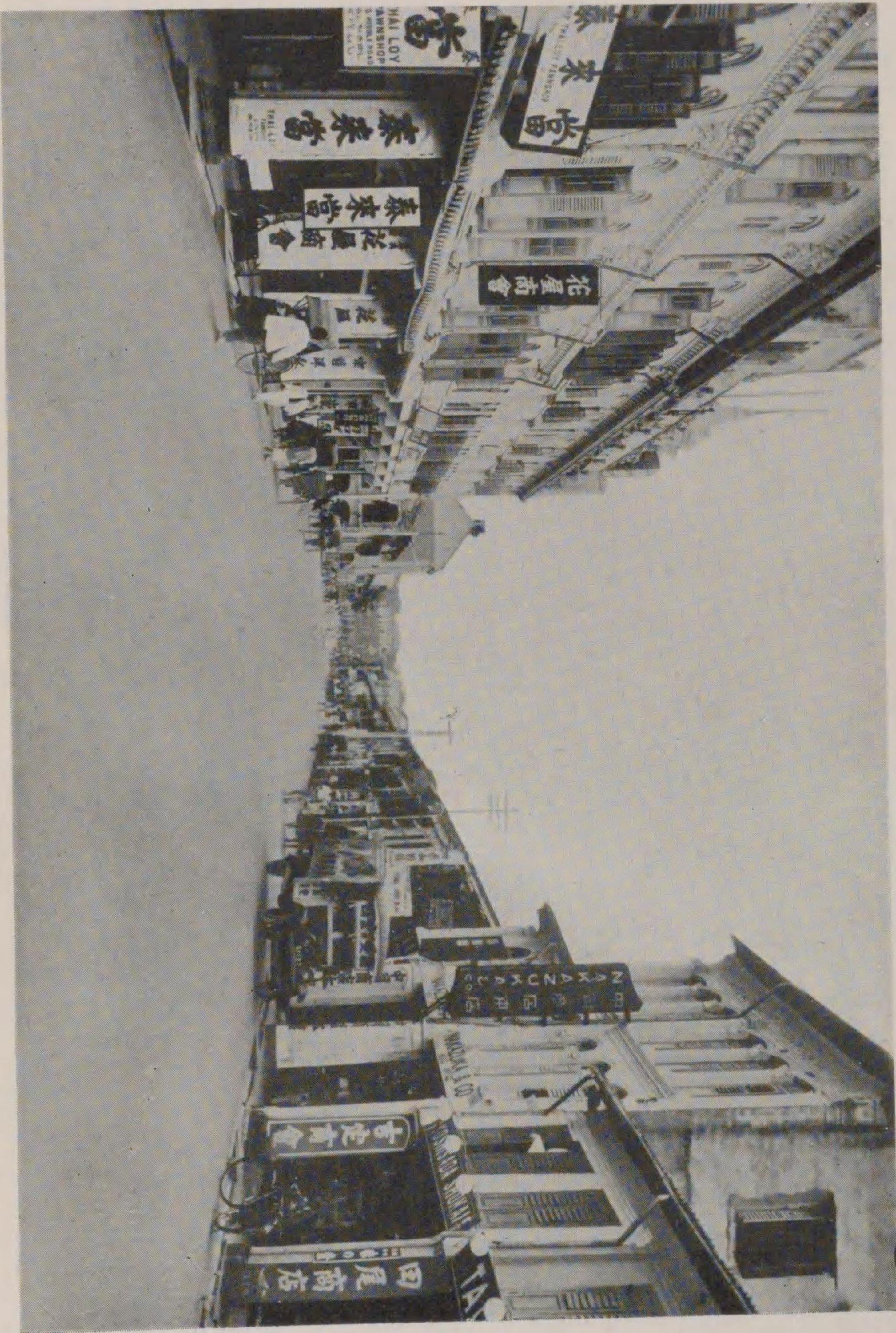


汚れた赤瓦の屋根が一ぱいに並んだ間を縫ふが如くに、うね／＼とのびてゆくさまは義理にも決して美しいとは言へぬが、然し、つみ木細工を一杯にまき散らしたやうな土庫街、博物館のドーム、回教寺院の尖塔、總督宮邸の白壁、それから、クリフォード棧橋沖に碇した大小の船、など、又遠くは幾重にも折り重なつた丘の起伏が黄金の色に霞んで見えるとき、新嘉坡はまことに唯掌中に愛玩すべき可憐の田園都市なのである。

市街は馬來軍司令部と燈臺のあるフォート・カンニク丘を中心に海岸に沿ふて四―五哩の間に展開し街衢は上空から見ても實に整然たるものがある。新嘉坡河は中央を貫き流れて全市を大坡と小坡とに区分し、東側の小坡區、即ち下町にはハイ街、ノースブリヂ路、中央路あたりは特に邦人商店が多く、その中央路の如きは日本人町といはれるほどのもの、國祭日などに其の北端、エミリー丘にある總領事館樓上に立つて見渡すと海岸まで一面に日章旗の波、こんなに邦人が住んでゐるか、と今更乍らに驚ろくと共に異郷に翩翩とひるがへる日の丸の有り難さを沁々と感じる。

山の手は丘陵地帯であつて、恐らくはラフス卿が此の島を買収した頃は一面ヂャングルであつたらう。其のヂャングルを切り開いて、果樹とか香木とか、樹相のよいのを多少残して、あとを整理して廣野としたのが今の住宅區域、今だに昔のまゝの巨樹が千年の歴史を守つて立つてゐる間に、ここに、かしこに散見するバンガロー風の瀟洒な建物は、或は來往の旅人の誰彼も、住みよからう



ミッドル・ロード邦人街の一部（正面丘上の高層は帝國總領事館）

なアと思はるゝであらう。

斷つておくが、新嘉坡は色彩が日本内地の人々に一寸想像のつかぬ程に強い。空は必ずしも高く無いが、カラリと晴れた日の、その空氣の透明さ加減と、草の緑と花の鮮麗さと、市街の動靜を織り出す色どりとが背景となつて、新嘉坡生活を、何かエキゾチックな南方の都といったやうな感傷的、浪漫的な感じに見せるのかも知れない。來るほどの友、訪ねらるゝほどの旅人が皆そんなことを言つておる。

さて、夜の新嘉坡であるが、これは後章更に述べる歡樂境は別として、一般には凡そ暗澹としてさへゐる。最近、やつとネオンサインが輝やきはじめて、博物館前から植物園の方へゆくオーチャード路あたり、赤、青、緑とりんぐの線が、こゝも亦都會地といふやうな顔をしてゐるが、市内の電燈設備は未だ甚だ不備で、水力電氣が無い爲めもあるが、街燈も大部分は瓦斯燈を用ゐ、中流以下の家で今だにまだ石油ランプといふやうな前世紀の遺物を用ゐるものさへ稀で無い。實際、現今世界中の大都市で石油ランプを街頭の商店で購求し得るのは新嘉坡位のものだらう。そして、港町といふ概念は惡徳の巢窟と淫鄙な斜巷とを聯想させるものであるが、英國の保守コンサーヴェーティブ的な傳統はこゝ植民地の港をさへ萎縮させて了つて新嘉坡といふ港町はエロチシズムから完全に縁の遠い存在となつてゐる。もとより公娼は許されず、私娼が跋扈してゐるが、それとても數は甚だ少なく而も不潔極まり無い。だから或る人達からは『新嘉坡ほどつまらぬ港は世界中どこにも無い』などと言

はれる位である、又、其他の歡樂機關も殆んど數えるほどより無く、といつて高尚な娛樂機關といふものも特殊階級の間だけにしか開放されてゐず、趣味とか藝術とかいふものに市民は皆渴えてゐる。否、渴えてゐる連中は未だよい、若しそれ當地生れの第二世で親達が相當の考へを持つたもので無いとすると、てんで初めから趣味だの藝術だの文化だの修養なんでものに對して不感性であり、唯もう喰つて寝て子を産むで死んでゆくだけの者も多い。結局、アルストクルツラの缺けた夜の港町たる新嘉坡は絶望的な生命の無い町と言へやう。

ですから、そんな晩はおとなしく船へ歸つてお寝みになるか、セルギー路の日本人俱樂部へ球でも撞きにおいでなさい。と申上げて着陸することゝ致しませう。

新嘉坡在住邦人活動情況

前章、人口動態統計中に概説しておいた通り、昭和十二年十月一日現在の新嘉坡市在住本邦人總數は計三九七三人であつて、實に英領馬來地方全土（海峽植民地、馬來半島、英領北ボルネオ、サラワク王國、ブルネー州）に於ける邦人人口總數、計八二〇〇人（臺灣籍民計二三六人、朝鮮籍民計一三人を含む）の約四八・五プロセントに當り、昭和七年滿洲上海事變の影響によつて頓に在留邦人人口の減少を來した後を享け、近年漸く僅かに昭和初頭の盛況を再現する勢があつたものが、昨夏以來、更に支那事變に伴ふ不況並びに執拗な排日貨に禍ひせられて多少の歸國者を出し新嘉坡

在留邦人人口は遂に四〇〇〇人臺を割つてしまふに至つたが、畢竟、根據堅實で闘志充溢してゐる人々は聊かも動搖を示さず、行雲流水に比すべき倚食者、浪客、などが自然に淘汰敗退を見ただけのことゝ考へてよいから、これ亦、肅清工作の天意あつての結果と思へば前途むしろよろこぶべき現象と言へよう。

新嘉坡在住邦人の主なる職業別人口示表は昭和十二年十月一日帝國總領事館調査で次の如くである。

職業	本業者	家族	計
漁業労働者	一一二八	二七九	一四〇七
會社、商店員	四七三	三四七	八二〇
旅宿、接客業	七六	七	八三
理髮業	六〇	九八	一五八
裁縫業	五九	六二	一一一
醫務衛生關係者	四九	六九	一一八
雜貨商	四二	二五〇	二九二
其他の商業	三〇	一二	四二
大工、左官職	三三	七〇	一〇三
工場労働者	二三	二二	四五
教育關係者	一三	一四	二七
新嘉坡			一四二

新嘉坡	官公吏	一五	二四
貿易商	六四	七一	
洗濯業	五六	六五	
寫真業、藝術	三六	五二	
金屬工業	三九	四九	
漁業	三三	四四	
自由勞働者	一六	三八	
農業	二二	三六	
宗教關係者	二二	三三	
宗事被傭人	〇	三一	
製版印刷業	二二	二九	
新聞、通信業	一〇	二五	
土木建築業	一七	二一	
木、竹細工業	一六	一九	
運輸取扱業	九	一一	
飲食品製造業	四	一	
瓦斯、電氣業	五	七	
自動車運轉手	四	六	
其他ノ諸業	二	三	
不詳	一六	二二	
合計	二二二三	二七五〇	三九七三

即ち、新嘉坡在留邦人總人口の約半數は漁業従事者及び其の家族であつて、これに次で多いのは俸給生活者と其の家族、これが總人口の約五分の一を占め、又、市内に於ける邦人醫師開業數は一人、齒科開業が一七人、其他の醫務助手、産婆、看護婦など合計二一人を算へ、これを邦人總人口に對比すると其の每一〇〇〇人につき全科醫師が二・八名、齒科醫師が約四・三名開業してゐる割合になる。

新嘉坡市内昭和十三年現在の、主なる邦人經營事業は大凡次の様なものがある（活弧内は代表電話番號）。

- (一) 銀行。
 - 橫濱正金銀行 (五九二一)
 - 臺灣銀行 (五三九一)
 - 華南銀行 (三一六五)

(二) 海運。
新嘉坡 一四三

- 日本郵船株式會社 (五八四一)
- 大阪商船株式會社 (五三三七)
- 三井物產船舶部 (五四四一)
- 國際汽船代理店 (五四四一)
- 石原產業海運公司 (五二二一)

(三) 貿易。輸出入業。

- 三井物產會社 (五四四一)
- 三菱商事會社 (五九七七)
- 石原產業海運公司 (五二二一)
- 千田商會 (三七一九)
- 野村商店 (六〇六四)
- 南洋倉庫株式會社 (五二一三)
- 日本鑛業株式會社 (三三三八)
- 三五公司 (三五六〇)
- 大同洋行 (四五九七)

- 加商株式會社 (七二三九)
- 大倉商事會社 (六〇四四)
- 大安洋行 (六一三一)
- 本田商會 (二六一三)
- 飯塚鑛業株式會社 (三五三五)
- 南進公司 (七五二一)
- 神戶海陸物產株式會社 (四三五〇)
- 南部商會 (二二二九)
- 日南貿易株式會社 (三二七四)
- 新大昌 (二二二七)
- 士母他公司 (二〇〇三)
- 沙加乃公司 (四五五五)
- 大昌公司 (五六七八)
- 大福公司 (五五五一)
- 東洋貿易株式會社 (二五二五)
- 大華洋行 (二三四八)

- 日華公司 (六五四四)
- 日星貿易商會 (七七四一)
- 煉乳組合 (三六九〇)

(四) 雜貨。みやげ物商。其他
 雜貨、みやげ物商に就ては後章、みやげ物の項にもう一度詳説するが、こゝには唯その一般紹介として電話番号だけを記しておく。
 屋號に特別の取扱商品記載なきものは凡て一般雜貨日用品商と御含みを願つておく。

- 有坂製袋商會 (七四六四)
- 旭商店 (二〇四五)
- 馬場百貨店 (二一一五)
- 株式會社越後屋吳服店 (六三一二)
- 福屋 (二一一九)
- 福田商會 (二二二〇)
- 花屋商會書籍文房具部 (七五一四)

- 花屋商會樂器部 (七五二四)
- 原 ステツキ店 (六一〇〇)
- 原口商店 (三四四八)
- 比留間商會鱈皮、雜貨部 (二三一五)
- 比留間商會雜誌部 (二三一五)
- 日の丸商會 (二五六五)
- 林 商會 (七二一五)
- 原 商會 (二三二四)
- 伊勢屋吳服店 (六四七七)
- 伊勢屋商會雜貨食料品部 (六四七七)
- 龜屋博物院 (六六四五)
- 龜屋動物剝製部 (六六四五)
- 桂 商會 (三六二四)
- 越野商店 (七三二三)
- 三星電氣商會 (二三一八)
- 都電氣商會 (七一九一)

- 三橋商店 (二一一八)
- みどり屋 (三三三七)
- 丸A雜貨店 (六七七五)
- 丸十商會 (二七六八)
- 日光商會 (六〇四〇)
- 中司商店 (三七三九)
- 近江屋商店 (三一八四)
- 新嘉坡運動具店 (六二七一)
- パイロットペン (七四八二)
- 佐竹商店 (六八七四)
- 櫻商會 (二〇一二)
- 坂本商店 (七九四四)
- 澤田商店 (六一九二)
- 三喜商會 (四七六〇)
- 竹下商店 (七二七七)
- 田尾商店 (三八三一)

- 田端屋 (五一五三)
- 山中商店 (三六二二)
- 吉田商會 (七〇七五)
- 吉定商會 (三六二九)
- 宇佐商會 (四二五四)
- 南洋印刷所 (二六八〇)

(五) 寫真機械材料店。寫場。

- APS商會 (六五五〇)
- ライト寫真館 (六四九六)
- 中島 寫真館 (七五六二)
- 中村 寫真館 (七八三三)
- ライカ寫真館 (四六三六)
- 池田 寫真館 (六二七一)

(六) 自動車。運輸、引越荷造業。

- 別府自動車 (七二九七)

花屋商會自動車部

(七五一三)

ユニオン自動車

(七七三三)

畑中ボート

(三五七八)

衣川自轉車商會

(三二一五)

松井兄弟商會

(四六〇二)

三鼎自轉車商會

(三四七七)

佐藤運送店

(三八二〇)

山本木工所

(四九三六)

(七) 洋服裁縫。洗衣店。

ファイリプ商會

(四五八一)

朴木洋服店

(六一一六)

土屋洋服店

(六二四一)

志村シャツ店

(四三八二)

白洋舎洗衣店

(七一二八)

神崎洗衣店

(三五一六)

染光廠

(二〇八二)

(八) 旅館。料亭。

碩田館

(七〇四四)

東洋ホテル

(二〇一三)

都ホテル

(七四五一)

薩摩屋ホテル

(四五一五)

櫻ホテル

(三六三七)

日本人俱樂部食堂

(七七二五)

松本食堂

(七九五六)

東京亭食堂

(四〇一二)

房廻家會席

(五七三八)

玉川別館

(三七六六)

新喜樂

(五五九三)

玉川ガーデン會席

(五五九三)

(九) 醫院。藥房。

- 同仁病院 (七四八六)
- 榮生堂病院 (四二八九)
- 回春醫院 (七四〇二)
- 精通神醫院 (七〇一六)
- 安藤醫院 (六八〇五)
- 神農醫院 (二四一五)
- 福壽醫院 (四八四五)
- 顏 醫院 (六七四二)
- 本間齒科醫院 (二七八四)
- 池田齒科醫院 (六九九一)
- 葛田齒科醫院 (七二四五)
- 日本藥房 (六七三八)
- 南洋商行藥品部 (三九五二)
- 隆弘藥房 (七八六五)
- 日本賣藥株式會社小賣部 (七二四一)

(一〇) 官、公廳。其他

- 帝國總領事館 (三九〇五、三九〇六)
- 總領事官邸 (二二〇八)
- 商務領事官邸 (五五三二)
- 副領事官邸 (二三五五)
- 新嘉坡日本人會 (二〇二三)
- 書記長 宅 (二〇二七)
- 日本人俱樂部 (七七二五)
- 日本人俱樂部運動場 (六一三五)
- 日本小學校 (二〇二八)
- 日本產業館 (七二七五)
- 北海道廳貿易調査所 (六八九七)
- ゴルフ俱樂部 (七四三八)
- 南洋日日新聞社 (七五八七)
- 新嘉坡日報社 (二七〇〇)

南洋及日本人社

(七八八六)

東方通信社

(六九二九)

以上は唯一般旅客早速の利便のために思ひ當り心付いただけの範圍で當地在留邦人の事業の一部を羅列したに過ぎない。従つて特殊の御用向きのある各位には餘り御役にも立たぬだらうし、尙、有要知名の事業などで、右表に漏れてゐるものも多かいかも知れぬが、これは唯、時に思ひ付いたままを記しただけのことで、取捨に他意あつた次第で無いから其邊惡しからず願つておき度い。

在新嘉坡帝國官、公廳、邦人各種團體。

(一) 帝國總事館。

明治十二年四月、はじめて此地に帝國領事事務を開き、明治二十二年一月領事館開設、大正八年五月總領事館に昇格。現在 Union Building 内に在り、總領事の他、商務領事、副領事、書記生三名、其他の館員三名が在勤してゐる。

(二) 新嘉坡日本人會。

大正四年七月の創立に係り、翌年一月、帝國領事館から、在留證明、身分及び營業證明等の公務取扱ひを委囑されてゐる。

昭和十三年四月の現在會員數は計八八二名で、これを贊助會員、正會員、特別會員に分け、會務は、總會、評議員會(立法)、及び理事會(行政)によつて遂行せられ、其の當務運用上、十指に餘るべき各種委員會が組織されてゐて、事務所を 107. Selegie Road. に置き、書記長以下書記三名で常務を執掌してゐる。その會務詳細は毎年六月發行の新嘉坡日本人會會報を御覽願ひ度い。

(三) 新嘉坡日本人俱樂部。

大正十一年二月、新嘉坡日本人會の附屬事業として創立されたもので主として在留同胞の心身修養、健康向上を圖り、忙務の餘暇を高尙な趣味娛樂に親睦して國威國光の發揚に努めるといふ目的である。

昭和十三年四月現在の會員數は計四三一人で、これを正會員、準會員、地方會員に分ち、會務は會員總會の撰出した理事會によつて遂行され、他に俱樂部功勞者數名を顧問として推戴してゐて、實務は庶務部、會計部のほかに、撞球、庭球、野球、羽球、卓球、陸上競技、水泳、柔道、劍道、弓道、文藝、圍碁、麻雀の各部があり、夫々に委員會を組織して其の擔當するところを運用してゐるが、事務所及び俱樂部會館を 107. Selegie Road に置き、又、其の運動場は市外 St. George's Road にあつて廣袤約五英反半であるから大凡わが六千七百坪、ざつと二ヘクタール餘りの廣さで本館、及び觀衆五五〇人を安座せしむる新築の大觀覽席を有し、野球場、弓朶、庭球コート六面の

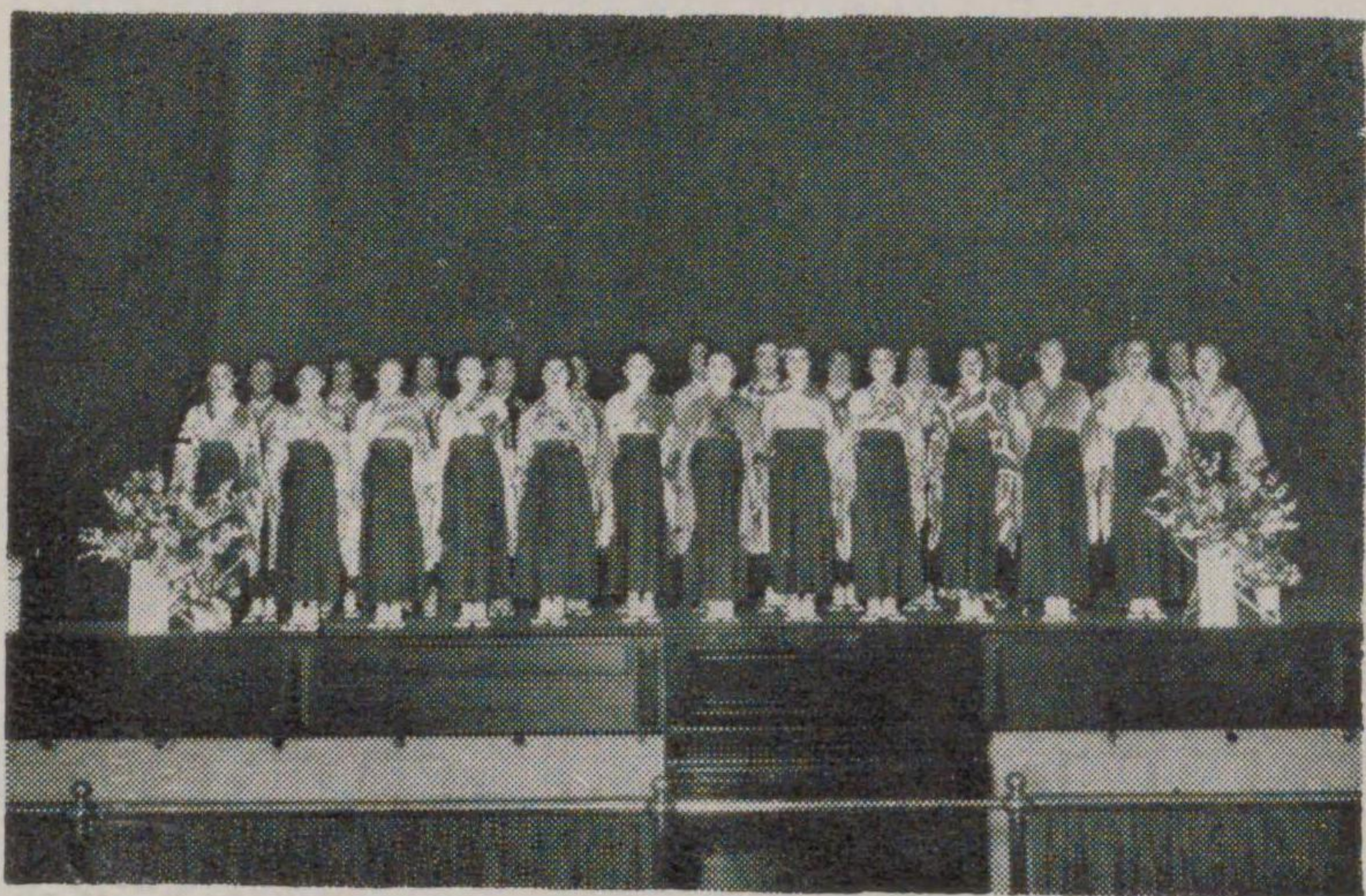
ほか各般の新式運動器具設備と、幼少年遊戯場まで完備し、毎年初秋の頃、日本人會主催の大運動會を舉行し、また隨時、日本人俱樂部主催の各種陸上競技及び俱樂部員不斷の運動、行樂に使用されて居る。

新嘉坡日本人俱樂部は昭和十二年制定の部歌（卷頭に掲載されたもの）といふものがあつて、會員集合の度毎にこれを高唱してゐるが、これは俱樂部員一般から公募した歌詞中より、陸軍省新聞班で、時の班長秦彦三郎大佐の御好意と、班員大久保少佐の厚誼で嚴撰せられ、東京藝術協會管絃樂團の作曲及び編曲で、其歳六月に公表されたものであるが、在外邦人公會で會歌を制定してゐるものは本俱樂部のみであり、又、其の莊嚴な歌詞と言ひ鮮麗なメロディーと申し、すこぶる誇るに足るものがあるから、御紹介申上げておく。南部朝夫氏、結城みち子嬢の吹込みになる部歌レコードは俱樂部事務所で實費で頒つてゐる。

尙、新嘉坡日本人俱樂部に就ての詳細は毎年六月発行の同會報を御覽下され度。

(四) 文部、外務兩省在外指定新嘉坡日本小學校

これは前章、教育の項下に概説しておいたから就て御覽を願ひ度。155. Waterloo St. に所在する三層樓の宏壯なる大建築であるが、在外指定校中で上海に在る各小學校々舎を除いては本校が最も大である。しかも在留邦人の數から申して新嘉坡は上海の十分ノ一といふ事實を思ふとき、よ



訪獨伊藝術使節寶塚少女

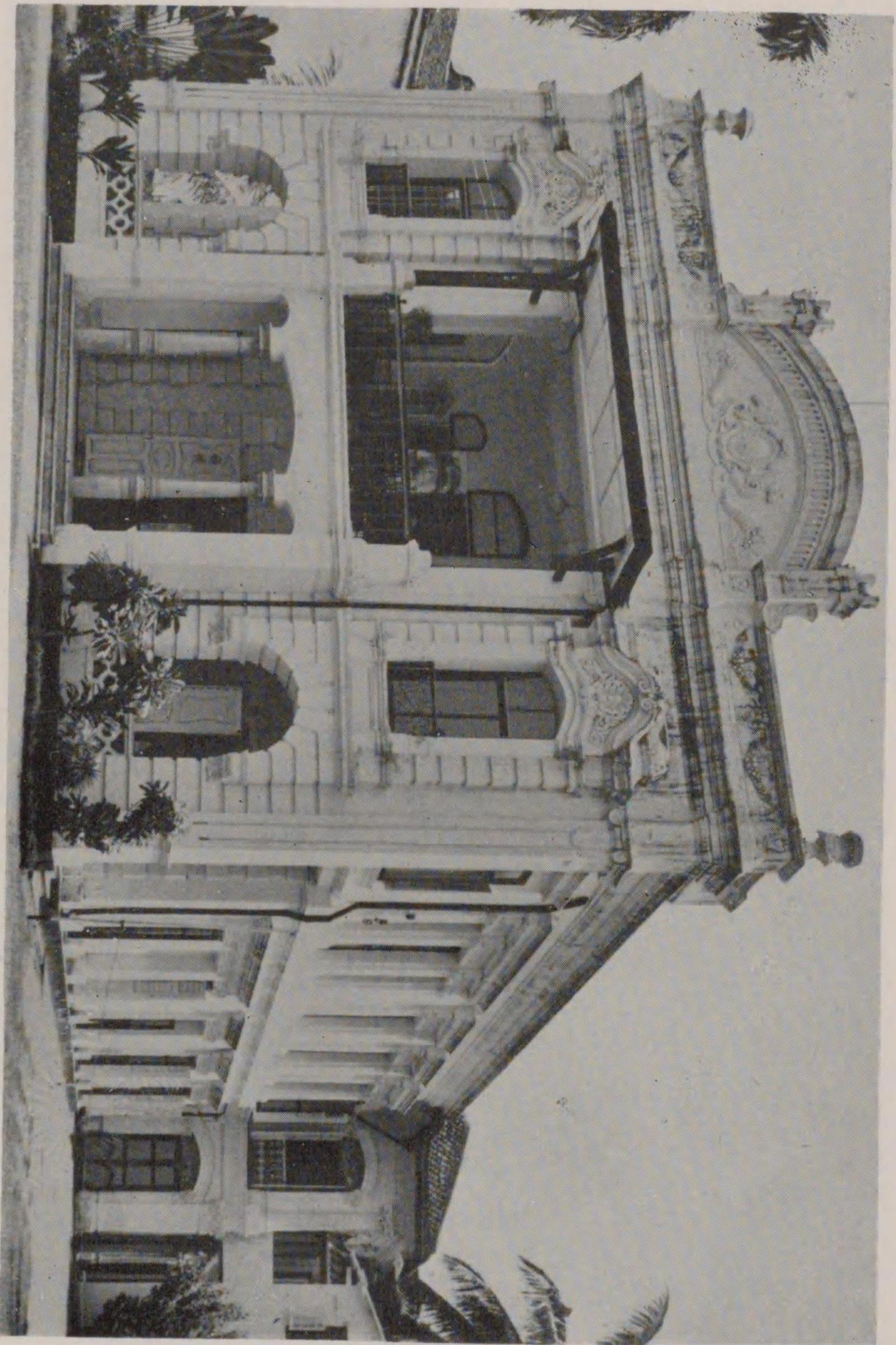
歌劇團一行は昭和十三年十

月十三日當地寄港に當り、

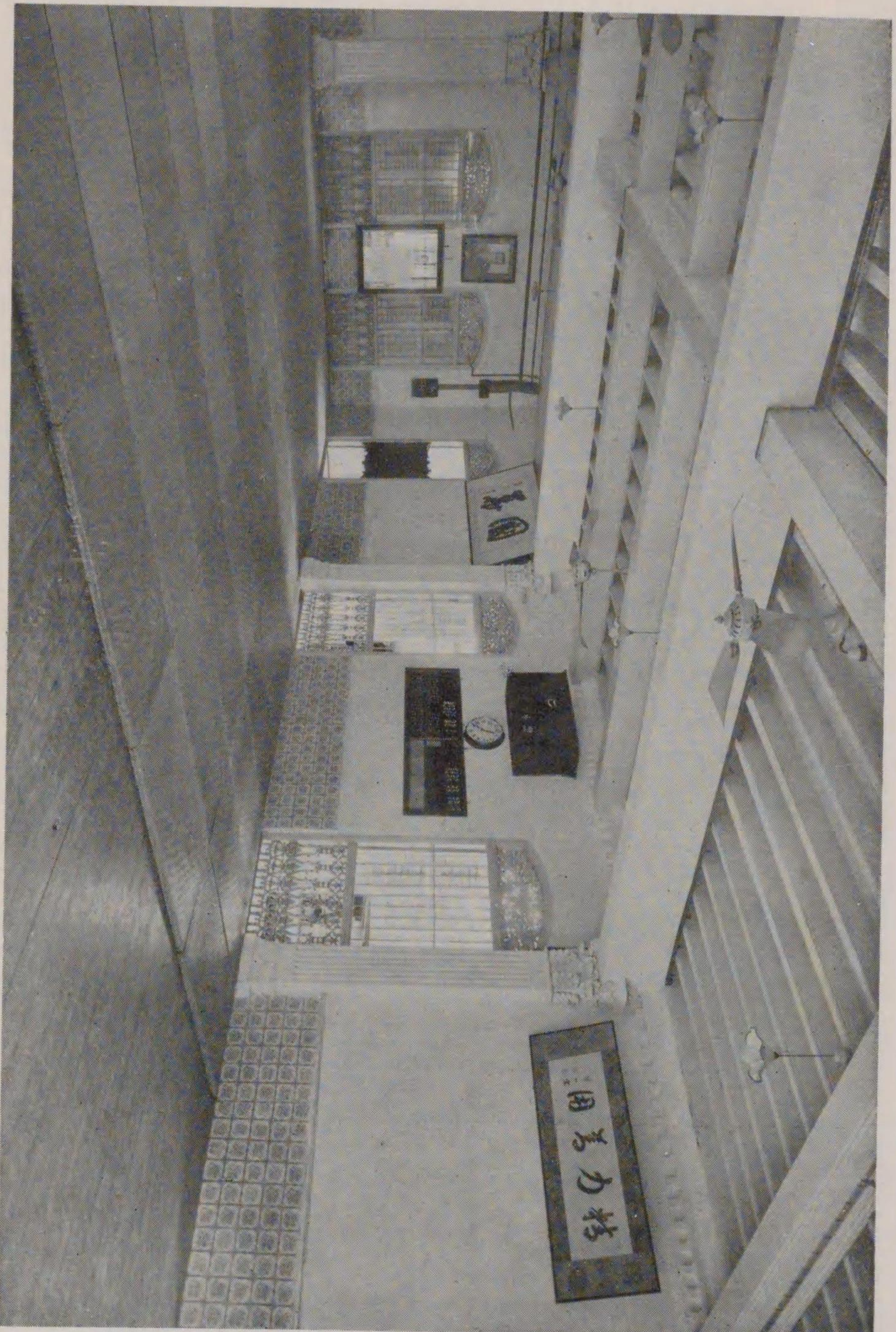
ビクトリア劇場で其妙技を

公開して在留邦人を感激さ

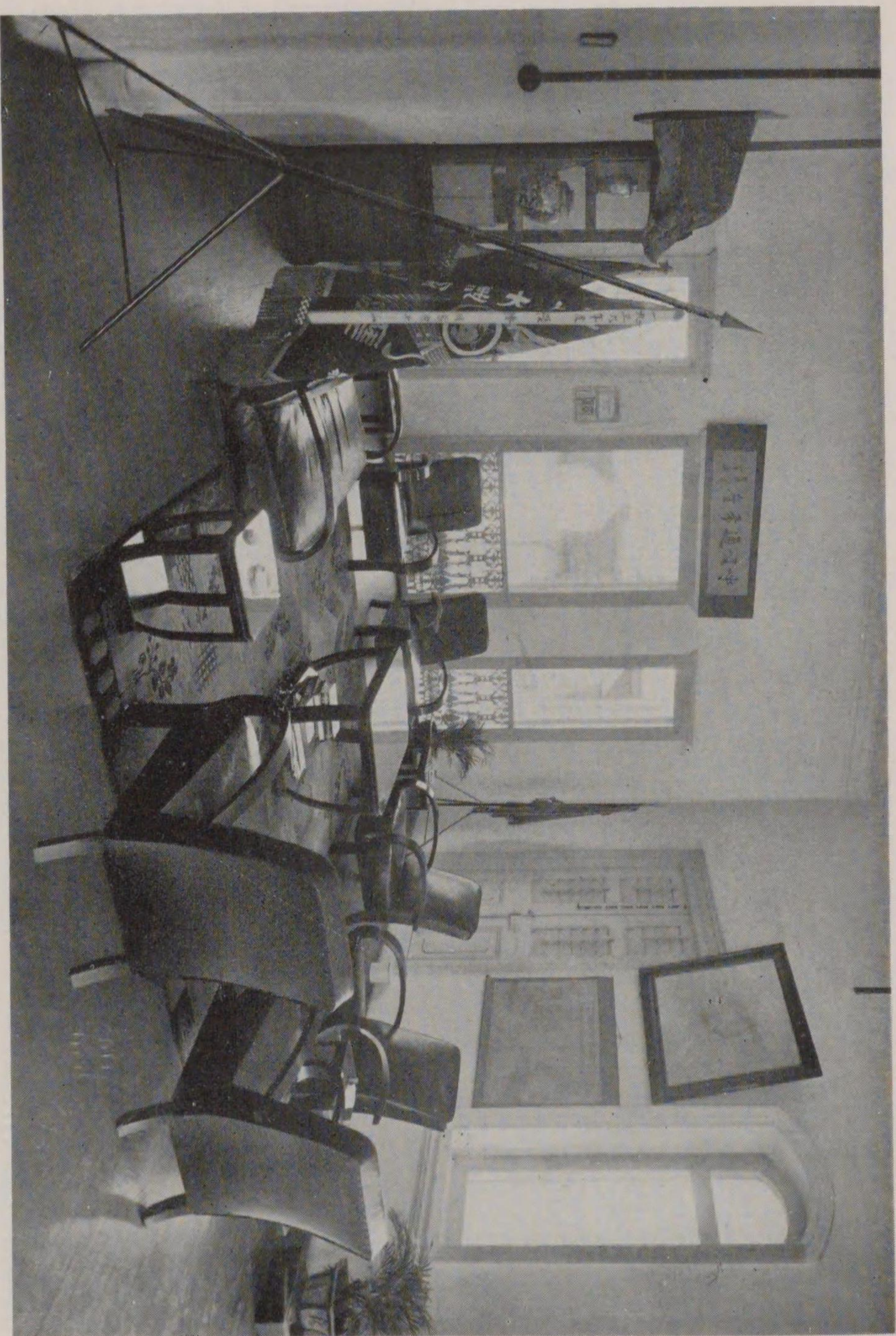
せた。



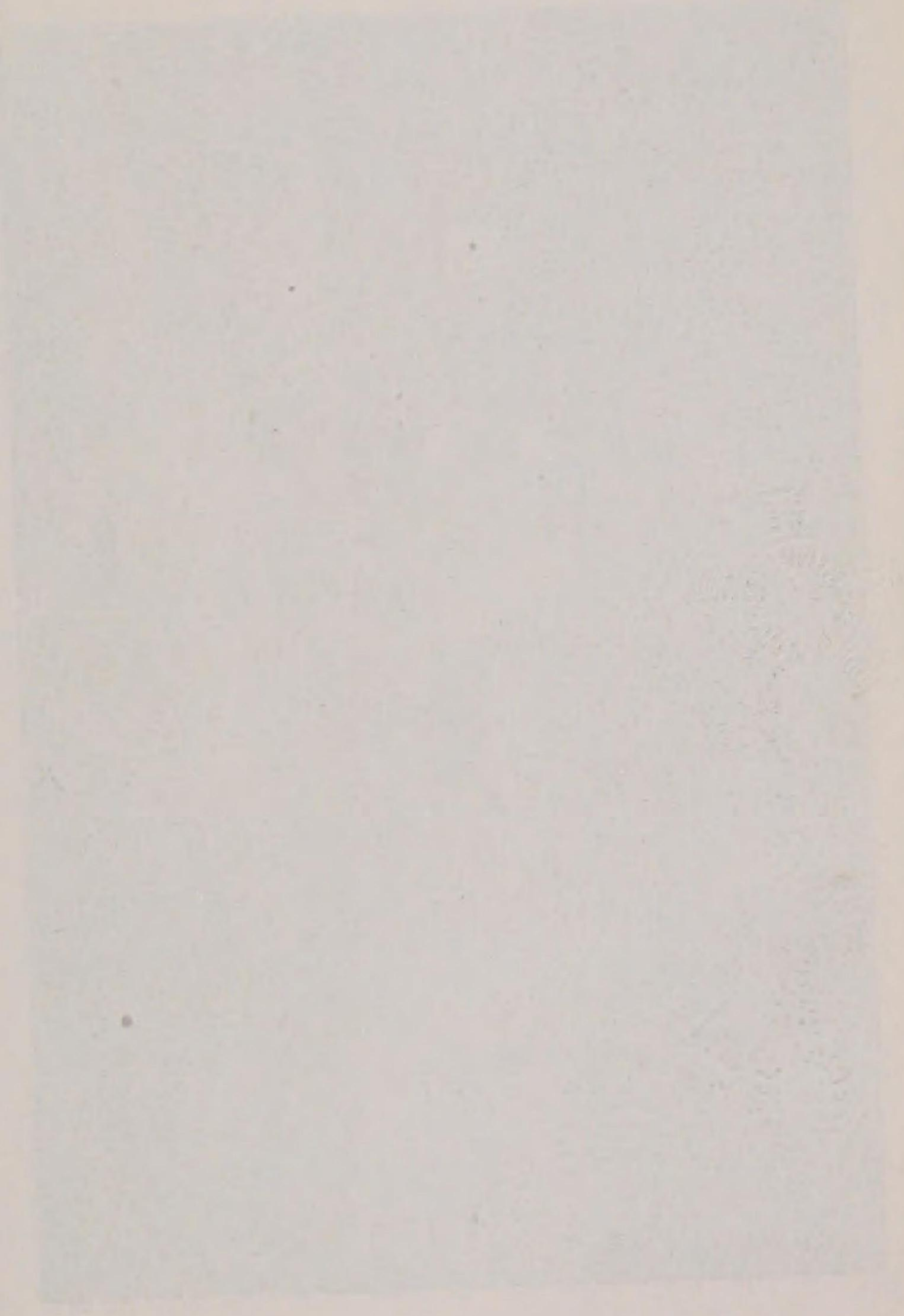
新嘉坡日本人俱樂部本館



日本人俱樂部階下武道道場

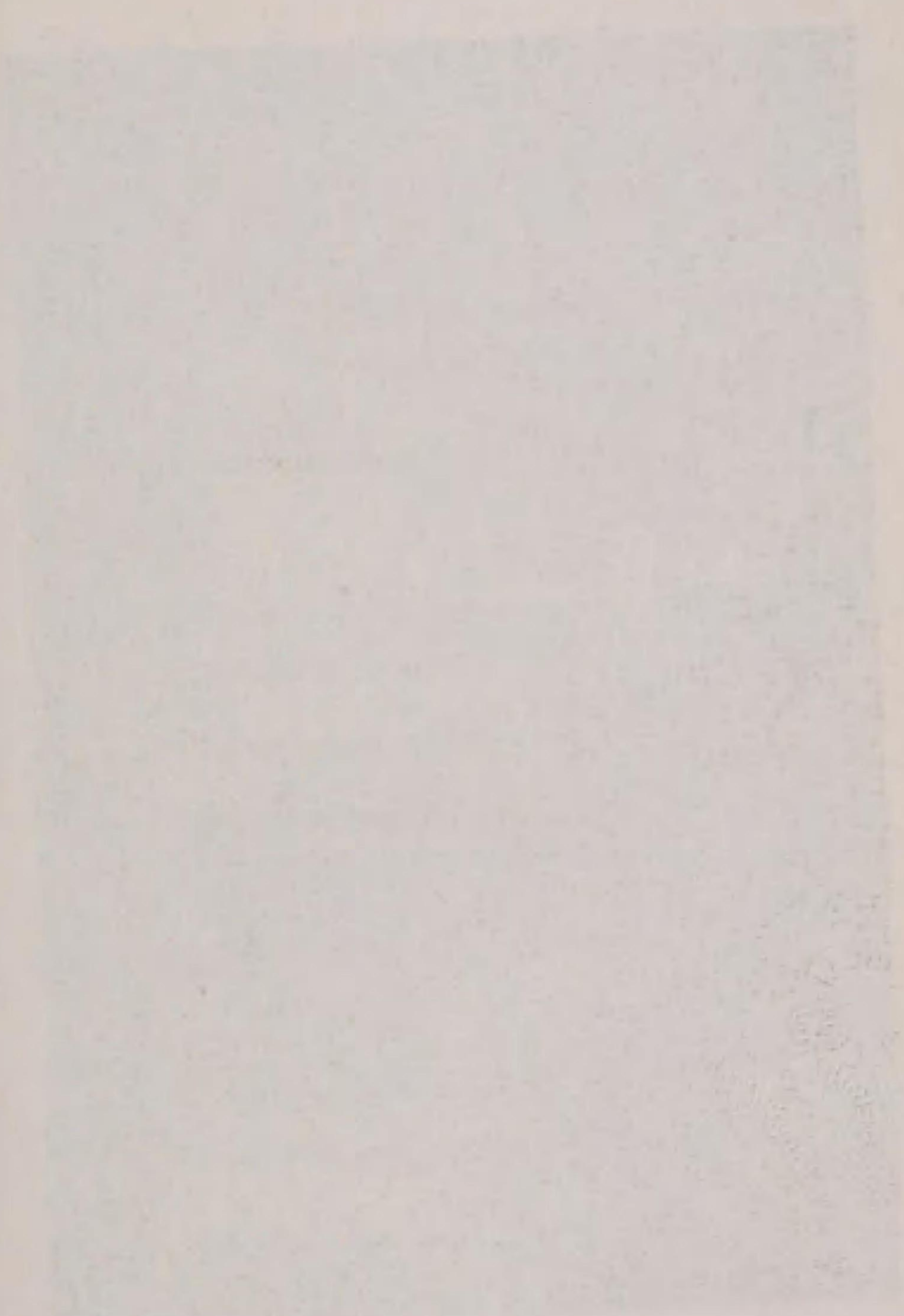


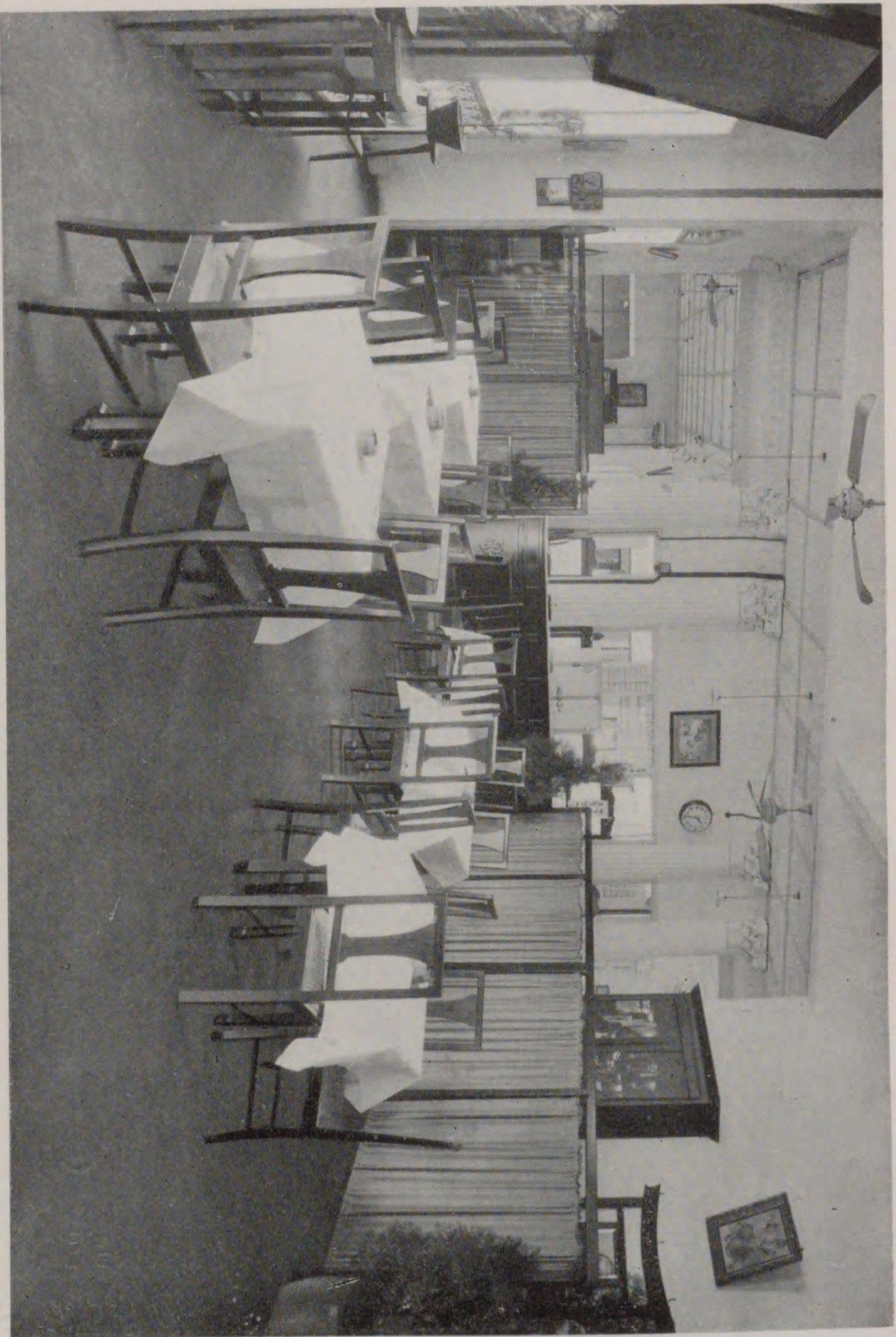
室 接 應 上 階



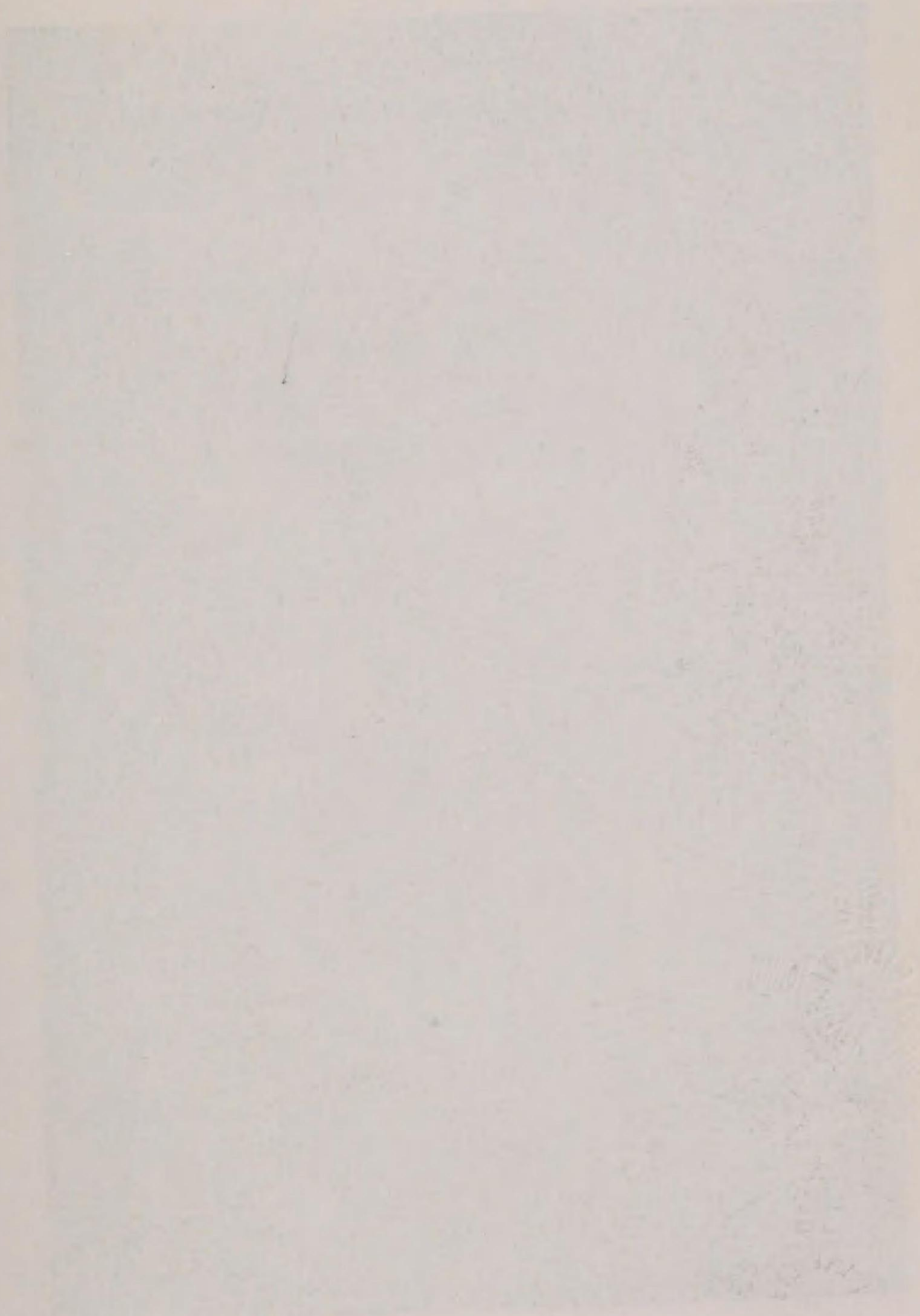


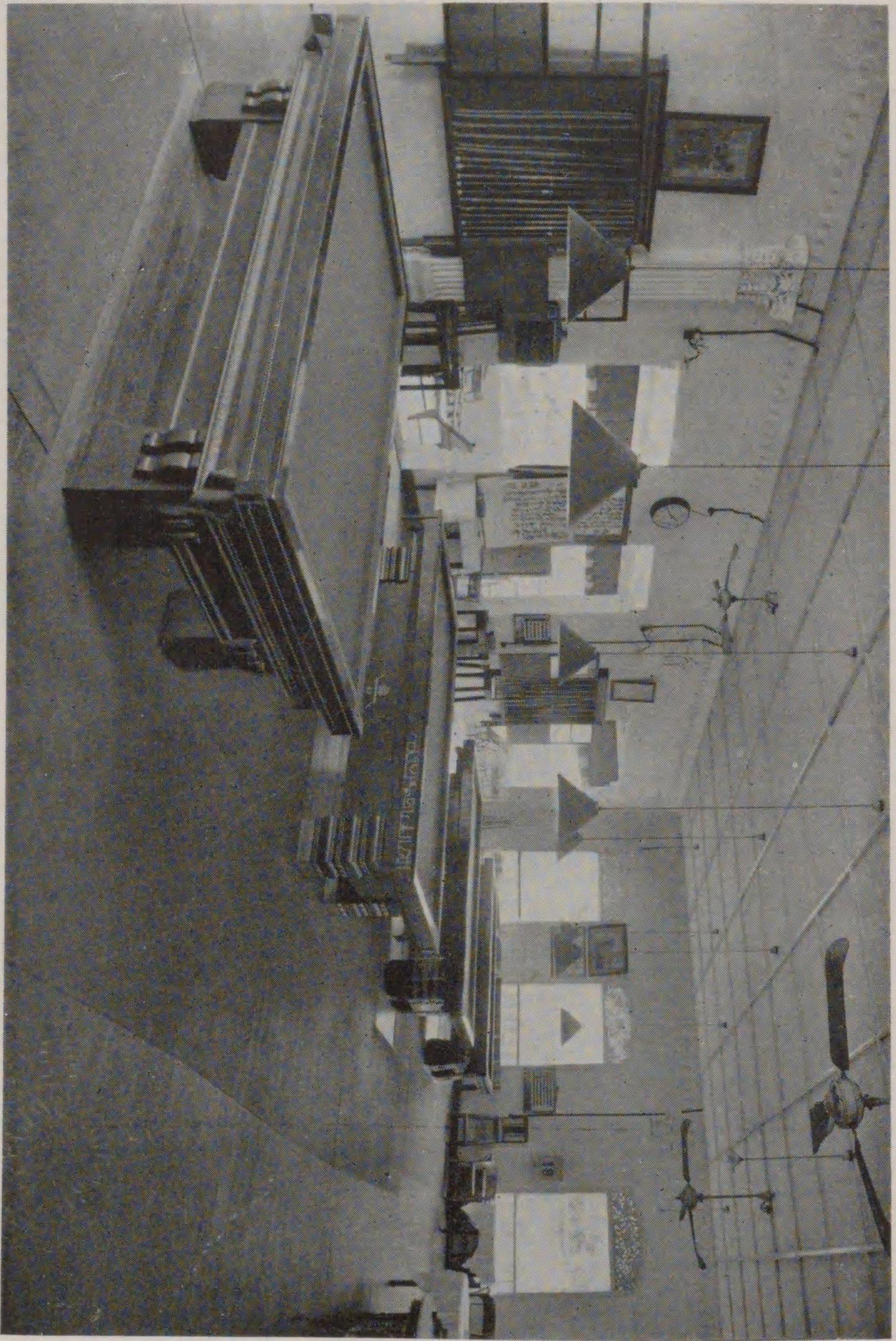
階上休息室



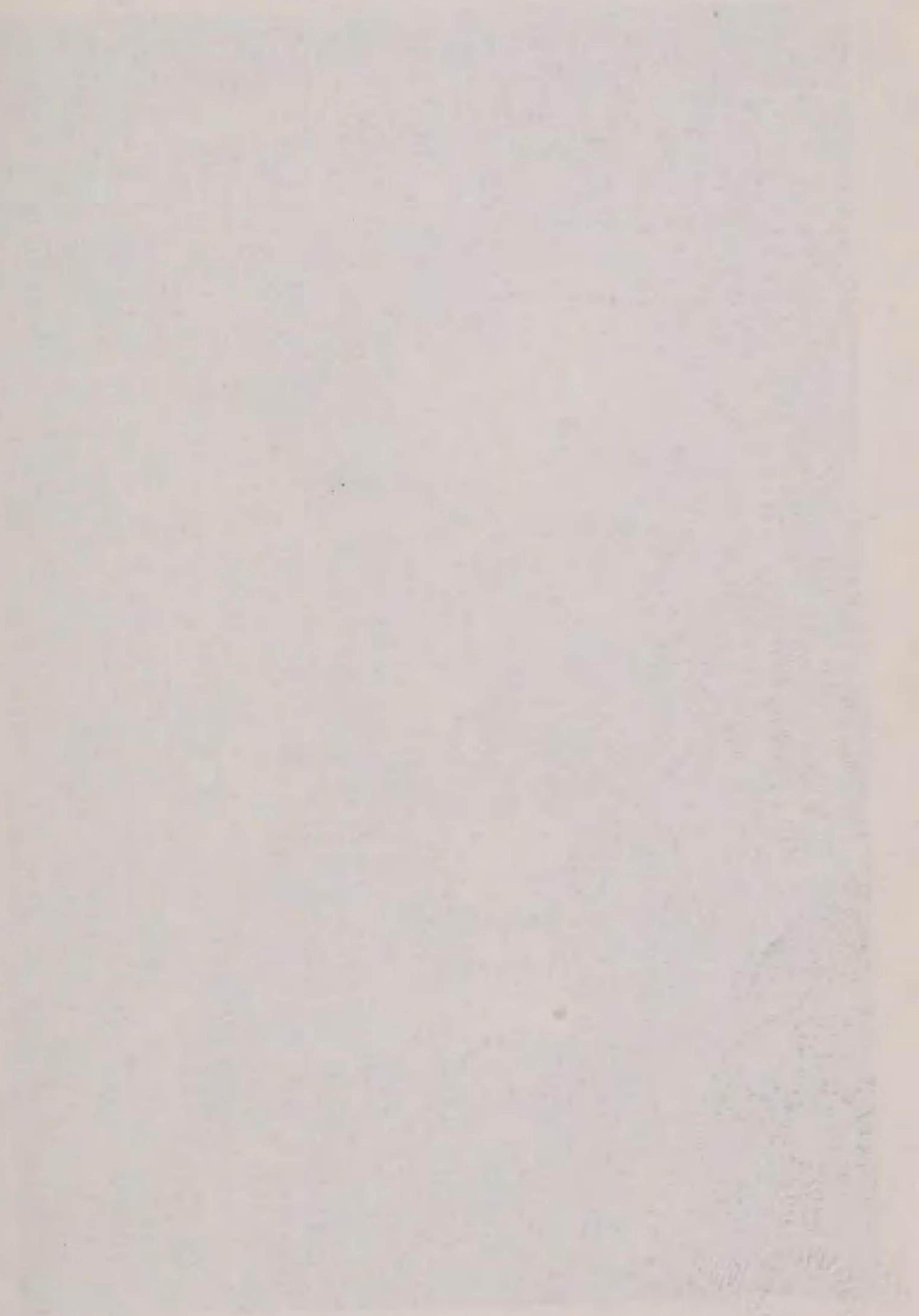


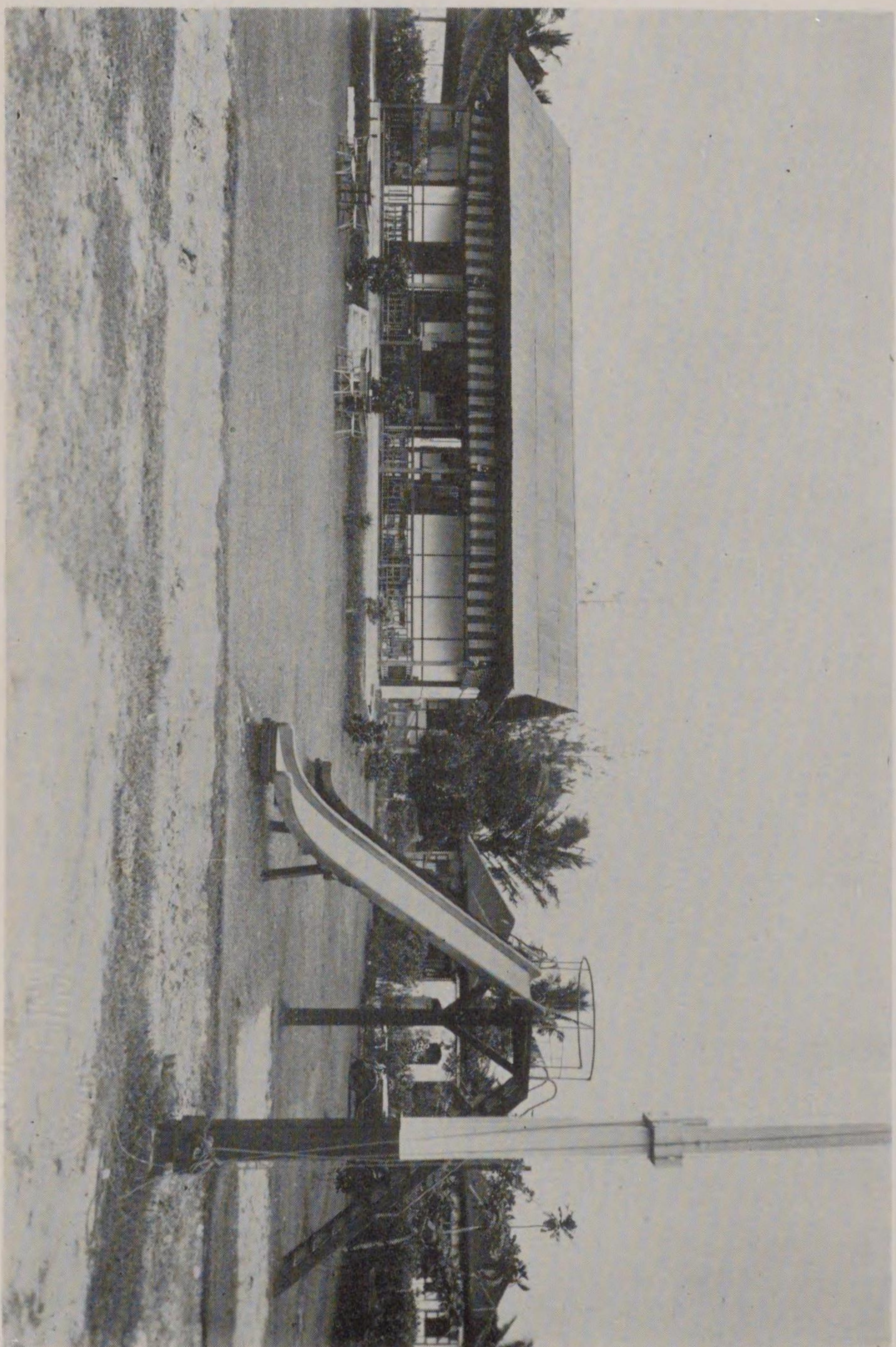
階上食堂の一部





階上撞球室

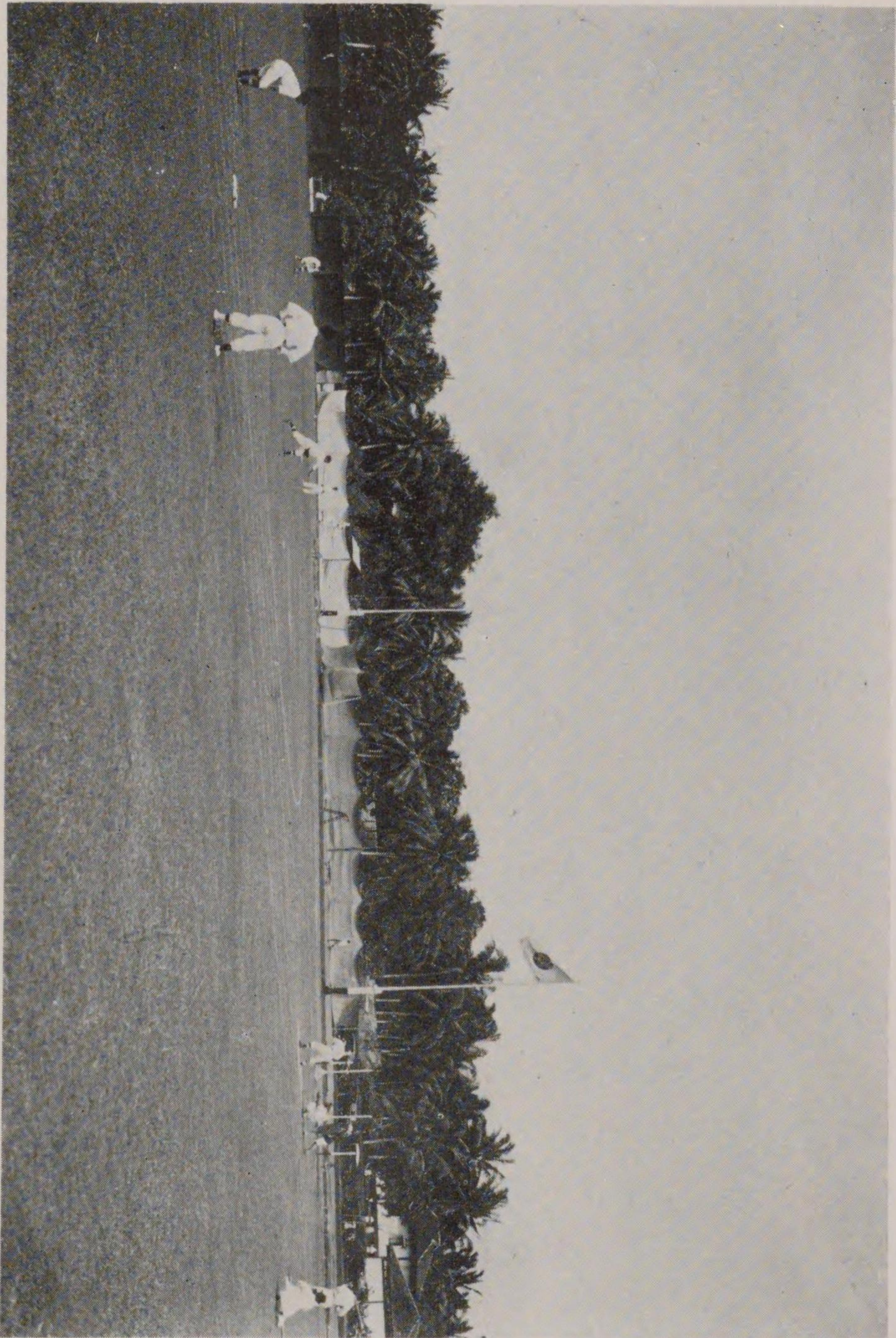




日本人俱樂部運動場

運動場觀覽席





野 球 場

くもこんな立派な教育機關を完備したものだ、と當方面先着の人達の識見と努力とに滿腔の敬意を表し度う。

(五) 日本人會墓地。

市外 Eu Chew Kan Road に位置し、初め明治二十一年十一月の頃、有志相集つて共同墓地を創設經營したものを、後、新嘉坡日本人會で繼承し、釋教山西有寺と號してゐるが、廣袤十二英反といふから大凡わが一萬四千七百坪、即ち約五ヘクタールほどのもので、境内には觀音堂、六地藏などがあり、又、稻荷祠をも奉齋してゐる。昭和十三年七月十三日、孟蘭盆に當り、丁丑、戊寅之役戦没將兵招魂と共に當方面に於ける有縁無縁先亡同胞の慰靈法要を嚴修し、聊か銃後國民の哀悼と後進報謝の衷情を展べたるは人の知るところであつて、又、境内には葬場殿及び茶毘爐があり、同胞死亡者のみならず希望に應じて外國人死者の火葬をも奉仕してゐる。

(六) 日本產業館。

65. High Street に在るが、これは大正七年五月開館された南洋協會新嘉坡商品陳列所の後身であつて、商工省、拓務省の指導の下に當方面に於ける國產品の進出督勵、貿易斡旋などに任じてゐる。

(七) 百姓會。

明治四十四年の頃、邦人栽培事業の黎明期に設立せられたる日本人栽培協會は爾來不斷の精進を
つゞけて昭和四年十月、百姓會と改稱、其の事務所を前述日本産業館内に置き、栽培事業の研究、
同業者間の親睦機關として斯界に貢獻してゐるのである。

(八) 其他の各種登録團體。

(電話番號は各其の主幹者、又は連絡者)

- 新嘉坡日本人商工會議所 (七二七五)
- 新嘉坡日本人實業同志會 (三四七七)
- 新嘉坡日本人綿布組合 (二〇〇三)
- 新嘉坡馬來自轉車輸入組合 (三四七七)
- 新嘉坡日本人ゴルフ俱樂部 (七四三八)
- 新嘉坡日本人水産組合 (三三三九)
- 新嘉坡日本小學校父兄會 (五六二四)
- 新嘉坡日本小學校同窓會 (二〇二八)

新嘉坡日本醫師會

(七〇一六)

新嘉坡日本齒科醫師會

(二七八四)

新嘉坡日本美髮會

(二七七六)

水曜會

(六八五一)

葵南會(和歌山縣人會)

(七五一四)

沖繩縣人會

(七二七五)

三州人會(薩、隅、日、出身者)

(七七二五)

長崎縣人會

(二六一三)

栃木縣人會

(三五三五)

新嘉坡佛教青年會

(本願寺)

本通組合

(七二四一)

中央組合

(七五一四)

大通組合

(二〇八二)

(九) 結成又は計畫中の各種未登録團體

新嘉坡眞宗佛教婦人會

(本願寺)

- 新嘉坡吉祥講 (西有寺)
- 新嘉坡曹洞宗佛教婦人會 (西有寺)
- 新嘉坡村雲婦人會 (妙法寺)
- 福岡縣人會 (七〇一六)
- 京都府人會 (三〇七三)
- 愛知縣人會 (七五一七)
- 神交會 (神奈川縣人會) (三八四五)
- 茨城縣人會 (二〇二三)
- 蝦夷ツ子會 (北海道人會) (六八七二)
- 福島縣人會 (七五八七)
- 江戸ツ子會 (東京府人會) (二七八四)
- 東瀛公會 (臺灣人會) (四八四五)
- 新嘉坡和敬處女會 (西有寺)

(十) 主要邦人宗教團體

西有寺

Eu Chew Kan Street

西有寺出張所

Bencoolen Street

本願寺

Bencoolen Street

妙法寺

Willke Terrace

金光教布教所

Waterloo Street

天理教布教所

Bras Basah Road

日本基督教會

Adis Road

日本福音教會

Selegie Road

(十一) 皇太神宮遙拜所

新嘉坡太神宮

Thompson Road

新嘉坡市内見物の栞

旅券査證

歐洲、濠洲、蘭領東印度、及び東洋各港の間を往復して新嘉坡に寄港する凡百の大型客船は原則として新嘉坡港外のセント・デオン島錨地に一度假泊して檢疫を受けてから、向つて左側、即ち西南の方に進航し、タンジョン・パガー埠頭といふのに繋留する。埠頭の前面に横はる島はブラカン・マテ要塞と稱し、其の間の狭い水道は乃ちマラツカ海峡へ出る廊下であるが潮が急で時には九哩以上も走つてゐるさうである。其の急流の間を、所々の暗礁を巧みに避けながら何萬噸の巨船を横着ける熟練と、この魔の海の落潮に逆らひ猛鱔の危襲を冒して旅客の投げる錢を波間に追ふてゆく馬來人の水潜りとは、まづ着船第一の驚異である筈と思ふ。

船が繋留されると第一に移民局の旅券検査官が乗船し來つて法の如く旅券の査證を行ふが、通過客には何も面倒は無い。離船して當地に上陸する人々は曾て當領にゐて再渡航證明書を携帯し來つた者と、官用公用で特殊の旅券を帯びてゐる人の他は相當の手つゞきが必要で、特に昭和十三年八月中からは従前よりも、一層むづかしくなり、届出項目も増加して官公履歴、軍務經歷、其他詳細に届出でることに改正せられてゐる。又、入國税は銀五弗でこれは多くは出發地で乗船切符を購入

するときに一緒に船會社で徴收しておいて呉れるか、さもない船客に對しては、旅券検査の際、直接移民官に納めしめられるか、或は又、上陸後直ちに納入せしめられることもある。パスポート用の寫眞は四五枚も入要なことがあるから其の用意も肝要であらう。

で、上陸許可の認印を旅券に受けてから上陸後四十八時間以内に移民局、旅券局、警察本署などに夫々の届出をすることになつてゐて、滞在期間とか、旅行の性質などで多少手つゞきが違ふから、これはまづ船へ出迎への邦人旅館の案内者に一任した方が安全であり又、事實、左様たのまねばならぬのであるが念の爲め後章に其等關係官廳所在地點を列記しておく。碇泊中、觀光の爲めに上陸する通過客は何も面倒は無い、と前申したが、これは新嘉坡市内見物、乃至、島内ならそれでよいが、既にデヨホール見物といふことになると、これは新嘉坡から一足でも外國へ旅行するといふわけになつて、やはり届出が必要、船で旅券検査のとき其旨申出で、警察の許可を得ておかぬと、さらぬだに短い碇泊時間を一々自ら警察本署に出頭したりしてゐては時間の空費が多くてたまらな

い。それから、こゝで一つ御注意申しておくことはタンジョン・パガー埠頭附近は勿論要塞地帯で、海陸共に、寫眞の撮影、記録、スケッチ等嚴禁である。本當の事を申せば新嘉坡全市すべて要塞地帯内なのであつて、従つて寫眞の撮影は勿論、撮影の用意あるカメラ携帯が既に禁じられてゐるわけなのであるが、實際にはそこまで辛烈に取締られてはゐない様である。と申して規則は規

則、うつかり特に撮影を嚴禁せられてゐる地形、建築其他にカメラを向けて取りかへしのつかぬ失敗無きやう、常に土地の事情に明るい人に相談されたが一番であらう。植物園内だけが天下晴れての寫場でもあるまいから。

官、公廳所在地點

まづ入國、在住、滯泊、などの届出では事馴れた邦人旅館の手を煩はした方がよいと思ふが、尙、參考までに其等に關係ある諸官廳を列記してみると左の様なのがある。

旅券査證局。移民局 (Passport and Immigration Offices)

Godown "B", East Wharf. (Tel: 5301).

旅券局 (Passport Office).

Chinese Protectorate, Havelock Road. (Tel: 5334).

外人登記署 (Registrar of Aliens).

Central Police Station, South Bridge Rd. (5221).

中央郵便電信局 (General Post and Telegraph Offices).

Fulerton Building, (Tel: 5461).

海底電信局 (Eastern Extension Australia and China Telegraph Office).

35, Robinson Road, (Tel: 5177).

トーマス・クック社 (Thos Cook and Son).

39, Robinson Road, (Tel: 5907).

アメリカン・エクスプレス社 (American Express Company).

1. Collier Quay, Tel: 3977)

アメリカン・ロイド社 (American Lloyd Company).

64, Robinson Road, (Tel: 2180).

新嘉坡には諸外國の總領事館、領事館が合計二十一館あつて、内、總領事館は帝國總領事館と共に八館である。即ち、

北米合衆國 Union Building.

中華民國 2, Cairn Hill Circle.

佛蘭西國 41, Robinson Road.

獨逸國 1-E., Union Building.

和蘭國 K. P. M. Chambers.

葡萄牙國 36-37, Nunes Building.

暹羅國 2, Meyer Mansions.

領事館は副領事館とともに合計十三館、左の如くである。

亞爾然丁國 139-149, Market Street.

白耳義國 Meyer Chambers.

伯刺西爾國(副領事) Raffles Chambers.

チエコ・スロヴァキア國 41-B, Robinson Road.

丁抹國 12, Raffles Quay.

芬蘭國 Battery Road.

伊太利國 E. 6, Hongkong-Bank Chambers

諾威國 Shell House

秘露國 Collier Quay.

波蘭國 6, Gilsted Road.

西班牙國 Ocean Building.

瑞典國 20-21, Meyer Chambers.

瑞西國 D. 21, Union Building.

主な旅館

邦人經營になるもの、多くは何れも和洋兩様の設備を有し、旅客のために手荷物運搬、通關は勿論、旅券手續、乗船券の購入などに至る一切の世話をしてくれるし、特に言葉の通ぜぬ異郷で、兎も角も疊の上に憩ひ檜の香高きお風呂にはいつて、ゆかたに着かへ丸い塗盆でおみおつけの御給仕を受けられるのは、うれしいことであらう。

宿泊料は各旅館により多少の相違があらうが、まづ最低二弗から八弗見當と思はれ度い。主なる邦人旅館とその電話番号は前章すでに示表しておいたが、尙、外人經營に係るものも一應ならべてみると次の如くである。

Air Port Hotel

これは市の東北郊外、カトンの濱へゆく途中、右側の新嘉坡空港にある新築のホテル、電話番号三三五六番である。

Adelphi Hotel

コールマン路で、新嘉坡最古の教會堂たる聖アンドリュース寺院に隣りして市中心に近いところにある。電話番号は五〇六一番。

Goodwood Park Hotel

植物園へゆく途中、タンダリン警察署前を右に折れてスコッツ路、タンダリン倶楽部の向ひで高い丘の上に豪壯なる建築を見るのがこれであるが、場所は静かでよいけれど市中心から少々遠い感もある。電話番号五九三三番。

Orange Hotel

前のアデルファイホテルに近いスタムフォード路、電話は二五八六番、這入りよい旅館だとの評判である。

Raffles Hotel

これは兎も角も一流の大ホテル。廣いステージもあり宴會場もあり、オーケストラもゐる。ビーチ路であるから邦人街から近く、古くから知られてゐるものである。電話五三八一番。

Sea View Hotel

市中心からは約五哩ほど離れてゐるが、タンヂオン・カトンの濱で椰子の木に囲まれた美しいホテル。本當に熱帯に來て泊つてゐるといふ感じがするといふ。

電話は五五六六番。

Rex Hotel

これもまづ指折の算へるうちに這入る洋風ホテル。ブラス・バサ路といふところで邦人街にも遠からず市中心からも近く、便利な位置に在り宿料も幾分か他の洋風旅館より安いさうで。月極めの高等下宿に恰好と賞めてゐた外人旅客もゐる。電話は二六〇〇番。

主なる料亭。食堂

これも前章に示表しておいた如く、邦人經營のもの、何れも相當やつてゐるが、多くはやはり邦人街たるミッドルロードを中心で、たゞ、玉川別館（舊稱、喜樂）は遠くカトンの海濱にあつて邦人のみならず外人顧客の跡を絶たぬ名物スキヤキの聲價で知られてゐる。また外人經營のものでは

Arthur's Bar & Restaurant

はラフスプレースの正金、臺銀、郵船、商船等各支店も數十歩の距離で、電話四八二五番、簡単な食事に至便といふ。

Capitol Resaturant

とS.S.のは同名の映畫館附屬でスタンフォード路の角、電話は四九〇六番、これも簡単な食事に
Y.S.

G. H. Cafe

は、ラフス廣場の東側、バッテリー路にあつて、電話は六〇八八番。

Cafe Wien

オーチャード路を一哩ほど行つた右側、パビリオン映畫館の少し先きで靜かな食堂、主として夕
食、軽い晚餐によく外人などの客を呼んでゐる。電話七六一四番。

Gap House

これは市の西側、といふよりも船からでは市方面へ行くのと反對の方向、パツシル・パンヂヤン
村、譯して長砂濱といふ海岸よりの崖の上、月夜のドライブに立ち寄るとよい。電話八一〇二番。

それから支那料理であるが、これは市中到るところにあつて、中には當地に過ぎたものとさへ言

はれるものがある。恰度この稿に筆を執つてゐる今日は事變下で支那料理も問題にならないが、事
變前は邦人は何れの飯店でも上得意であつた。事變が片づいたら又大いに歓迎するだらう。皇后酒
樓(ミツドル路)、天一景(サウスブリヂ路)、南天酒樓(ニューブリツヂ路)はじめ四層、五層の高
樓が、旅館を兼ねて盛んに珍味佳肴をすゝめてゐる。その時の都合と市中の情况次第で誰れかに案
内して貰つたらよいでせうと言つておく。

半日の觀光

新嘉坡市内交通機關

まづ乗りものゝ心配である。何しろ熱帯であるし、時間の經濟上からも特別の場合以外にはブラ
／＼歩きは長距離が利くまい。また、事實タンデオン・パガー埠頭の附近には往復三キロ、五キロ
程度の恰好の散歩地も無い。即ち、直ちに自動車に賃して、まづ市中心に向ふことにならう。

自動車

所謂ハイヤー・カーは當地では車體の前後に明瞭にHといふ文字を標榜してゐるから直ぐわかる。
市内各ホテル、埠頭、停車場、其他隨所に駐車溜りがあつて、其の型の大小で料金は必ずしも一定
しないが、言葉の關係、安全第一といふ點から、やはり市内で拾ふよりも出來れば電話をかけて然

るべき營業者から車をよこして貰ふのがよいかも知れぬ。船から直接に市内へ電話をかけ得るが、この場合には市内線への接續信號として、まづダイヤルの9を廻はしてから次に所要の番號を廻はすのである。

主なる邦人經營自動車の電話番號等は前章にも一應示表しておいたが、前頁を操るのが御面倒らしいから、も一度こゝに其の最も知名なもの三四を並べておく。實に親切なものである。筆者も、自動車業者も、いや、全く。

花屋自動車 (電話七五一三番)

別府自動車 (七二九七)

中原自動車 (七七三三)

など、皆ミツドル路に車庫、營業所を有してゐて大體次の如き格安のハイヤである。

距離による場合 一哩銀二十仙見當。

時間による場合 一時間銀二弗見當。

勿論、デヨホールとか遠方へ半日も借りる場合には豫じめ相談してお互ひ便宜經濟に賃銀を定めてゆかれたがよい。運轉手は日本語か英語のわかる者をたのむがよいと思ふ。

邦人經營以外の自動車を賃する場合には大體

距離一哩以内 五十仙。

以上一哩又は端數毎に 二十五仙。

停車時間十分以上のとき五分毎に十仙。

また、時間借りなら

一時間以内 三弗。

以上毎十五分 七十五仙。

程度と思はれ度い。また、メイトル附きの黄色小型ハイヤ等もあつてこれは格安であるが運ちやん多くは英語が不自由、こちらの申付けが確かにわかつたやうな受け答へして發車は致したが行先が皆目わからず、止まれ、まがれと一々指圖しないなら鼻の向いた方角へすん／＼走つて行つて、行衛も知れず、はても無いドライヴをやつて來たといふ話もある。面白さうだ、と思つたら一つやつて御覺になるもよからうが、敢てお奨めもしまい。

人力車

これは愉快な存在であつて、昔なつかしい風景である。市内到るところに見受けられ、特に其の二人乗用、所謂『合乗り』であることがうれしい。現在數は約三千七百臺、年々減少してゐるといふ。車夫はすべて支那人で言葉は大凡陳糞漢、多年御造詣の英語や獨逸語を御試みになつても、ひとへに無駄である。よろしく車上から一々、眞ッすぐ、右だ、左だ、止まれ、待て、引つくりかへ

せ、てなことを號令しないと駄目なのである。乃至どうかすると、車夫先生この程度の馬來語さへ一向御諒解にならず、ひたすら鼻の向いた先きへ驀地に、一目散に走つてく息まないことさへある。こんな時には寧ろ下手糞な馬來語などはやめにして、大きな聲で、こら待て、野郎、と一喝まづ Hattari を利かせておいて、あとは手眞似、足眞似、蒟蒻問答に及ぶほかあるまい。いや、御大抵ぢやござんせん。

で、お上で定めた其の人力車料金といふのは

半 哩 六仙

一 哩 十二仙

一時間 五十三仙

といふ安直にして奇妙な計算であるが、一時間も乗つたら確かに五十三仙位お尻の皮が擦りむけるであらう。但し、時に風清く月冴へ渡つた夜、微醺を帯び、細君に陪してこの人力車なるものに半坐を占め、以て天下泰平を讚美するのはすこぶる妙である。これを馬來語でマカン・アンギン、即ち漢譯して「喫風」、一時間乗り廻して一人前二十六仙五厘、安い道樂であり、高尚な趣味である。殊に合乗りだと不思議にお尻の皮が剥けない、と教えてくれた先輩もあり、この趣味を解する人に侯爵徳川義親御夫妻、宮内大臣松平恒雄御夫婦などもある。

歩いて車に乗ることは歩いて車に乗らないことよりも愉快だらうと考へるよりは、車に乗つて車

に乗ることは歩いて車に乗らぬことよりも愉快であると考へる方が一層愉快である、と考へるお方は是非一つ歩くところを歩かないで車に乗るまいと考へたところを車に乗つて愉快になつて御覽になるのも愉快だらうと考へる丈けなのであへ。但し、實際上は歩いて車に乗つて歩かずにゐる連中を見ると阿呆に見え、また、車に乗つて歩いて車に乗らずにゐる人民共をながめると、これが矢張り阿呆に見えるから不思議である。

こんな量見で車に乗つて歩かないのも愉快であり、こんな信念で歩いて車に乗らないのも愉快であると考へてみると世の中、中々愉快なものだ。あゝ、愉快ぢや。

ひとへに冀ふ。こゝのところ七八行、も一度とくと御讀み返へしの上、首尾よく徒乗一味の妙諦を大悟せられんことを。 敬白。

聊も、人力車なるものは、斯くの如くそれ魅力ある存在ではあるが、矢張り畢竟一泊御寄港の觀光客には實用上必ずしもお奨めはし難く、まづ結局、御仕度が出来たら船から神妙に自動車でお出かけ、といふ方が御怪我も無く、第一、見た眼に偉らさうに見えて恰好がよいから、では左様のことに願つて、あと少々ばかり市中案内記。

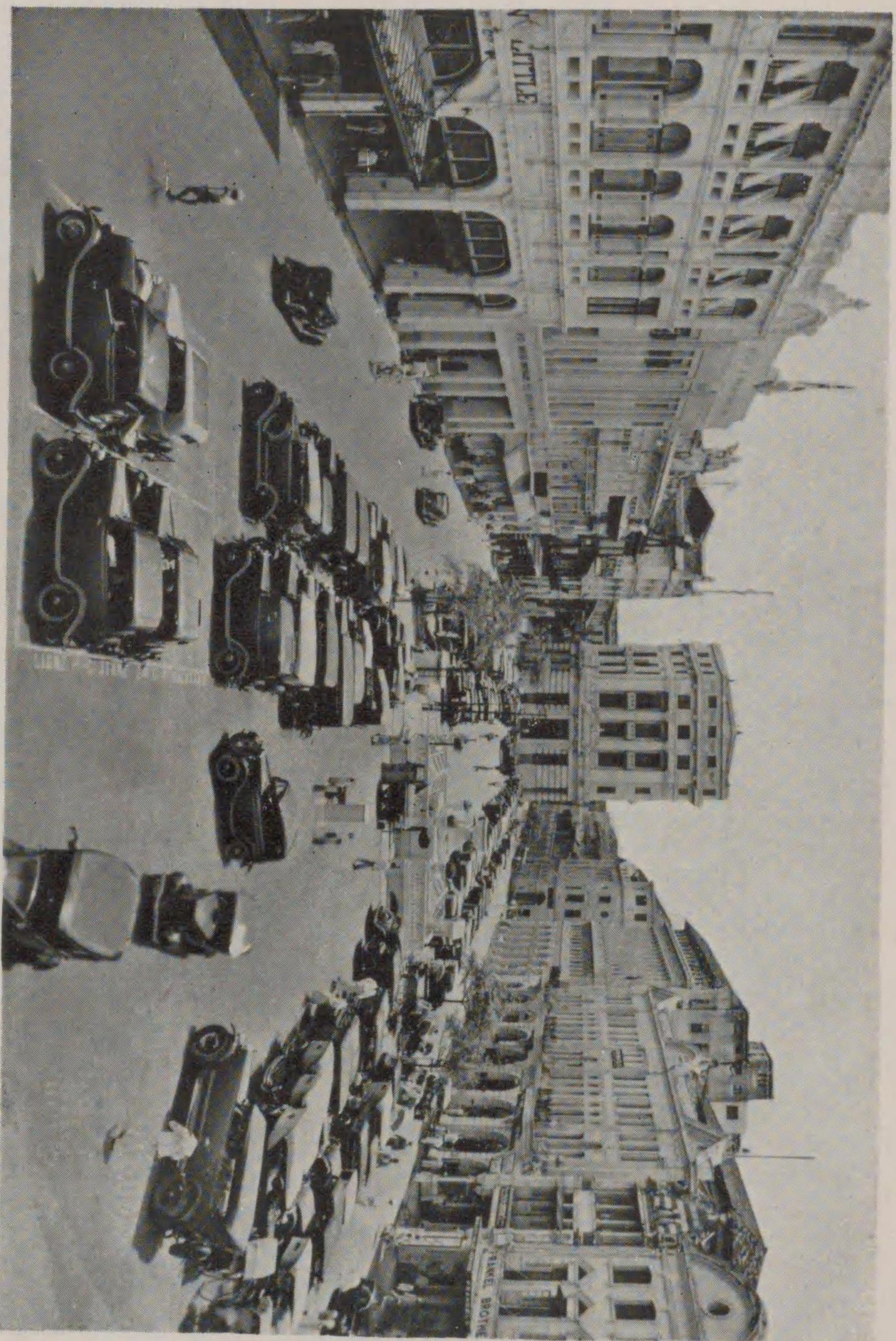
第一案。

これは約三時間かゝると思はれ度い。まづタンジョン・パガー埠頭の船から出發、大通りへ出る

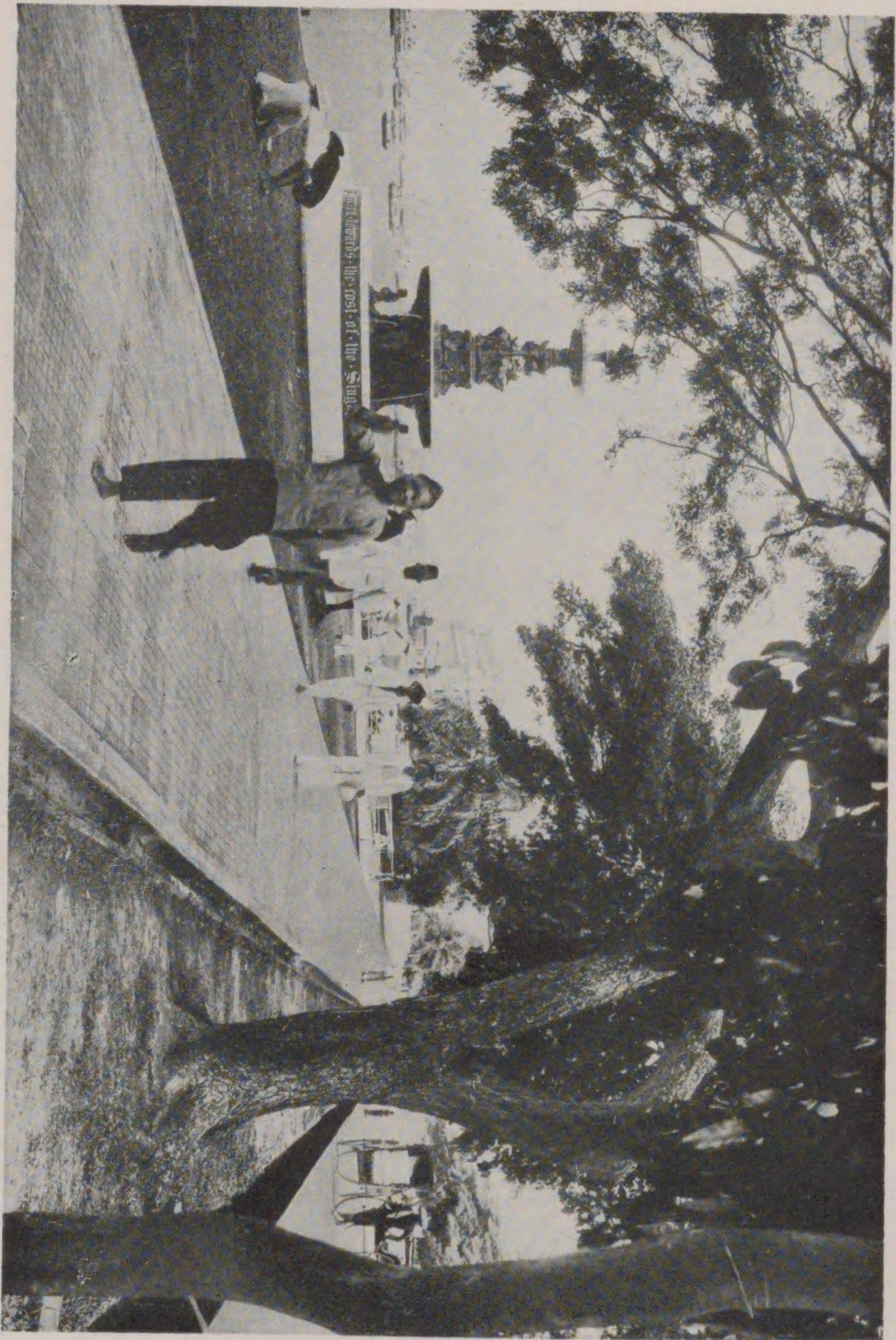
と、すぐ眼の前の新築の新嘉坡停車場を左に見てケツペル路を突き當つて左折し、ロビンソン路のトーマス・クック社前を東行して海岸に出ると間もなく右側にクリフォードピアの棧橋、その左側にユニオン・ビル、橋の袂に郵便本局、これについて左に曲れば郵船會社、正金銀行、臺灣銀行などや、ロビンソン、デオン・リツル、ホワイトアウエー等の百貨店が軒を並べるラフルス廣場だが、今は郵便局の横手をそのまゝ正面アンダーズンブリヂといふ橋を渡つて左向側にヴィクトリアホールと名づける市公會堂、さては高等法院などを望んでそのまゝ海岸よりの道を眞つすぐにゆく。このノート・ドライブといふ並木道、右側に無名戦士の墓、セノタフと呼ぶものが見え、左側にクリケット倶楽部の運動場を距て、白聖の市役所もある。

で、大凡五、六丁ほど海岸に沿ふてゆくと道は自然に左折してスタムフォードロードと呼ばれ、其の左に當地最古の教會堂、聖アンドリュース寺院、なほ行くとラフルス博物館が眞つ白なドームを左側に見せる。一寸下車され度い。

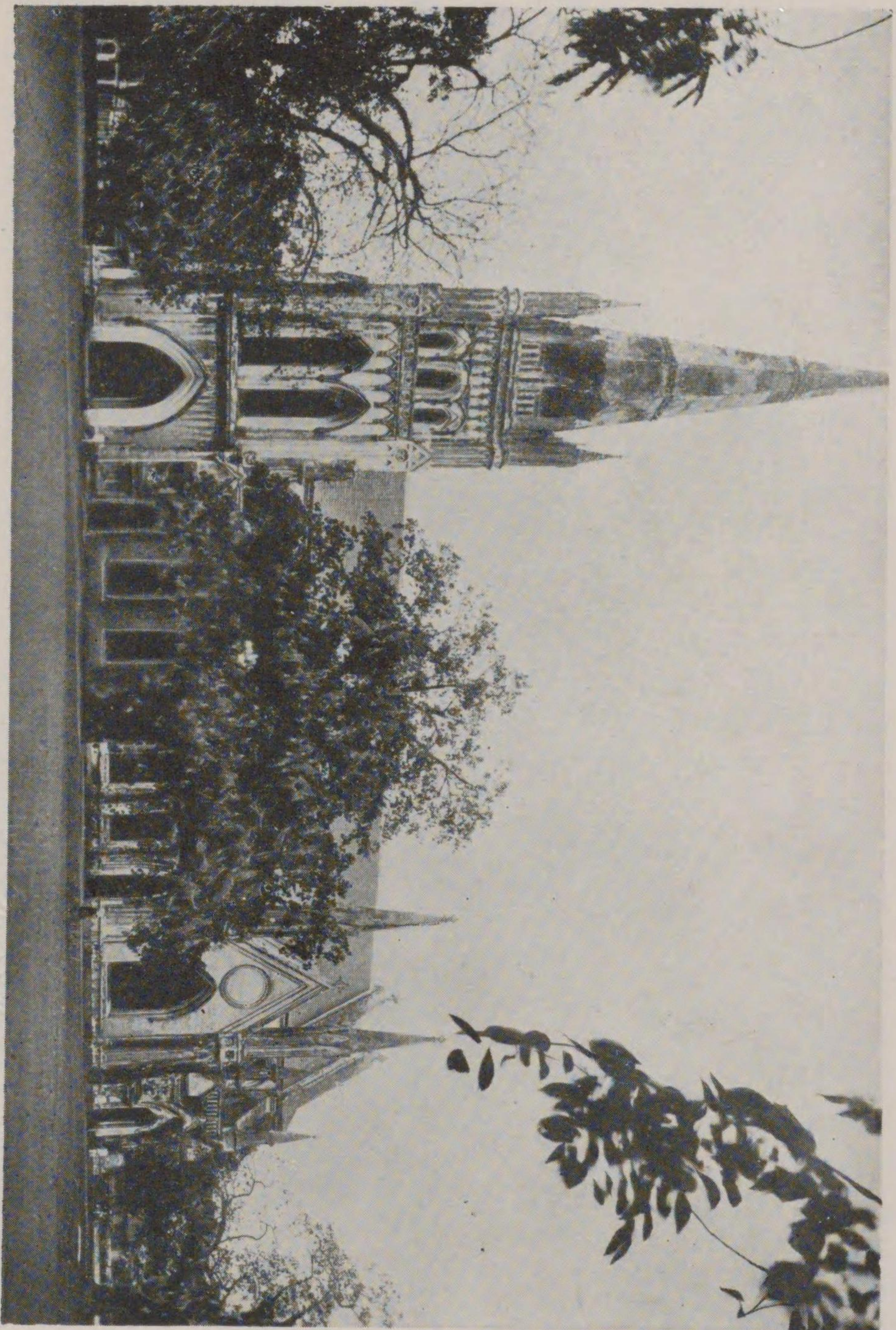
大急ぎで一巡しても話の種だけは收獲されやう。先きを急がれるなら三十分間でも一と通りの見物である。で、又その道をオーチャードロード眞つすぐに走つて行つて、右側に總督官邸の表門、時間が許したら門を入つて坂の上に御名刺受けがあるから表敬もよろしからう。オーチャード路を突き當つて左に折れ、また右へ、元の方角をゆくと突き當りが植物園。途中で南京豆とバナナを十仙程買ふて行くとよい。



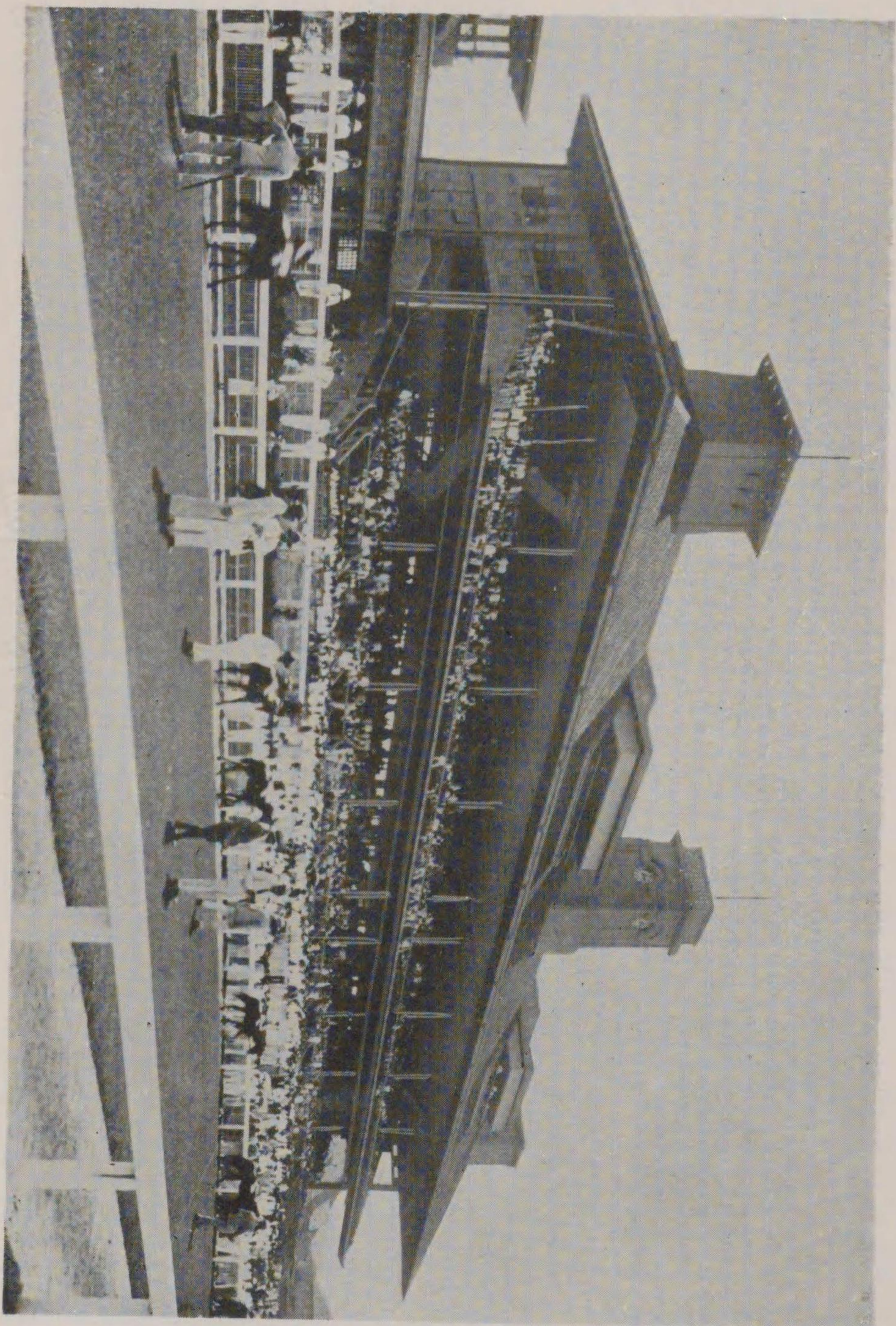
ラフルス廣場
(向て右側奥に、日本郵船會社、正金銀行
左側奥に大阪商船會社、臺灣銀行、華南銀行)



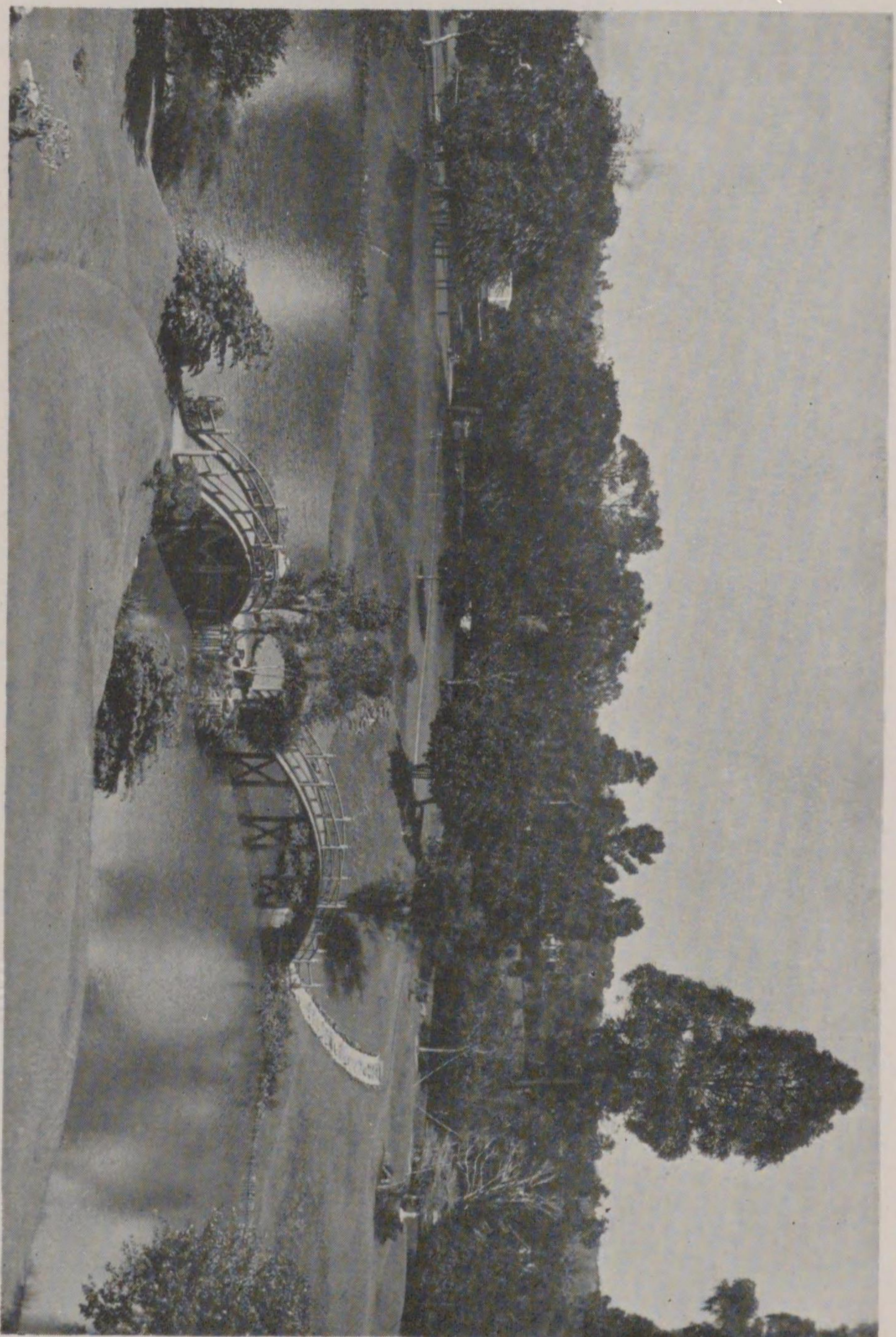
コンノート・ドライブ (東から西方を望む)



新嘉坡市最初の教會堂聖アンドリュー寺院



競馬場



ア
ル
カ
ラ
・
ガ
ー
デ
ン



無軌道電車

蘭の温室、野猿の群れ、それから一寸休憩にお茶屋キオスケもある。

植物園の裏門を出て、ラフルス高等學院の前からブキテイマ路の街道をデオホール方面に向けて少しゆくと競馬場、時間が限られてゐるから街道を途中から右へ這入つて貯水池、アイランド・ゴルフ倶楽部、いづれも五分停車位で我慢してトムスン路の太神宮様は左側の丘の上、はるかに禮拜してそのまゝ參道前を失禮乗り打ちは御免を蒙つて、左へ元競馬場裏、陳篤生病院クントクセンといふ慈惠院前からスラングーン路、これを東へ僅かゆくと左側に日本人倶楽部運動場、も少しゆくと有名なアルカフ・ガーデンの日本式庭園。時間次第で一寸下車されてもよいかと思ふ。

このスラングーン路を尙ゆけば日本人會經營の墓地も遠からず、こゝに客死した二葉亭四迷子はじめ、有縁無縁の先亡者英靈を守る釋教山西有寺がこれであるが、時間が無ければ割愛して、途中、馬來風景を賞しつゝカトンの濱邊に出で、南太平洋の水を一寸觀て引きかへす外あるまい。市内に入るに先だち、左側海岸に新嘉坡空港エアポート、右手に支那人の盛り場たる快樂世界ハッピーワールド、これは夜の歡樂境である。

ビーチ路を過ぎて海岸右側にラフルスホテル、間も無く先刻通つたコンノート・ドライブの美しい並木道まで来れば、あと十分間も走つて船へ戻る。

この行程、上手にゆけば二時間、多少マゴ／＼しても三時間。邦人自動車に交渉すれば五弗見當

ですむ見物である。

多少獵奇的であるが、船と市中心、邦人街たるミツドル路あたりの間を、大衆向き交通機關たる市内電車、或はオムニバスに乗つて見られるのも一興かも知れぬ。市内電車は無軌道、車輪はゴムタイヤで乗り心地は悪くなく、車の前方の一廓が一等席、一區三仙である。

第二案

これは三時間半乃至四時間位かゝる。

ケツペル路からロビンソン路、乃至ラフルス廣場を経て、或は、サウスブリヂ路あたり、支那人街を過ぎるもよからう。とに角、市中心を通りぬけたら一路、エヤポートの前をタンデオン・カトンの濱に出て、イースト・コースト路の海岸、タナメラの長汀白砂をブド村まで行き、左に折れて馬來村落の間を走りぬけ、ウル・ブドの古村を過ぎてゲラン路を戻り、右折してパヤ・レバリの村でスラングレン街道に入り、上り坂、下り坂、護謨植林の間を何哩か走つてポンゴールの海岸へ突き當るとこゝに當地唯一の動物園があつて、歸りは日本人墓地に御參詣となるが、この第二案は主としてドライブを目的とし、途中、農村生活の一部を見物といふわけと御承知あり度い。

第三案

これも四時間かゝるが、デヨホール行きであるから前以て着船時の旅券検査に係官まで届出でを要する。

市内の右顧左眄は、どの案も同じこと、市中心を通りぬけて或は邦人街ミツドル路から日本小學校、日本人會館あたりを経て、總督官邸裏の淨水池附近に旅人木を仰ぎ見つゝ、道をトムスン路の紅橋にとり、長驅、アイランド俱樂部を左に見て、當地唯一の處女林の中をドライブの後、ウッドランドから有名なデヨホール海峽の陸橋に出ると向ひ側はデヨホール・バル市である。

こゝでサルタン王宮、政廳、回教寺院などを巡訪し、歸りはブキテイマ路を眞ツすぐに十六哩走らせる。途中、右側に支那人經營の中學校や、ラフルス専門學校、左側には前章に述べたブキ・テイマ丘が見え、また處々に護謨園、鳳梨園なども見られる。市中心から直行でブキテイマ街道をデヨホール陸橋に到るにはまづ大凡正味三十分を要すると思はれ度い。従つて歸船の時間を考へくゝの見物なら、まづ一時間前にデヨホールを出發、歸路に就かれたがよい。少し餘悠があつたらブキ・テイマ路上、市中心から四哩半ほどのところ、乃ち、歸路、哩程標石の五哩を過ぎて僅か行つた邊から右に這入つてラフルス校前を械物園裏門に出で、園内を通りぬけて埠頭に出るもよい。大して廻り道で無いのである。

第四案

これは觀月行であつて、晝間、前記諸案のうち何れかを行かれ、又は適宜、市内買物などせられた後、尙、夕食後、所謂「喫風」^{マカンアンギン}に恰かも上弦の月といふわけであつたなら、オーチャード路から植物園^{コブランガ}を経て裏手の道をオランダ村にとり、ギヤツプ (The Gap) と名づけられる絶壁懸崖上の峠茶屋、前章述べたギヤツプ・ハウスに車を停め、こゝから前方マラツカ海峡にうつる月影を眺める。歸りはギヤツプを西へ降りてパシル・パンヂヤン村に出て、眞つすぐ埠頭に歸る。或はこのコースを逆に取るもよからう。

又、折から下弦の月とあらば市心をぬけてエーヤポート前をカトンの濱邊、イースト・コーストの海岸に沿ふてタナ・メラに出る。時間と財布の都合を確かめて或は玉川の別館に、まア、そのところよろしく熱慮斷行せられてよろしからう。

遊覽ところどころ

で、以上述べ來つた各遊覽個所であるが、大凡のところは添附の新嘉坡地圖でもおわかりになるだらうし、又、本書中、隨處に多少づゝの記事もあるが、尙、こゝに其のうち最も普通旅客の訪づれらるゝ地點について簡単に記してみると次のやうな工合である。

ヴィクトリア・メモリアル・ホール。

これは市の里程元標所在地點であり、前に申したやうに一番眼につき易い場所、是非その形をおぼえておいて頂き度い。と申すのは、又どんな事で迷兒になられ、とは言葉が過ぎるかな。

兎に角、シंगाポール河の河口、アンダースンブリヂの前、流れを距て、郵便本局と向ひ合ひ、前庭にクレオパトラのオベリスクとラフルス卿の銅像、海岸に近く緑の芝生には黒ン坊のひる寢の夢をのせ、脊後のフォート・カンニング丘の上には燈臺が不眠症のまばたきをしてゐるところ。ここを出發點とも歸着點ともすれば間違ひ無からう。

スゴラガンバル
博物館

海岸を東の方へ一キロほど行くと道は自然に左折してスタムフォードロード、右側にラフルス女學校と、Y・M・C・Aのテニスコート、左に博物館と圖書館がある。前は廣い芝生で、美しい街路樹が赤い花を映してゐるお濠を距て、ブラス・バサ路が見え、そのも一つ向ふの道は邦人街たるミツドルロードである。

この博物館は専門的に土人藝術でも研究する人達以外、あまり興味は無いかも知れないが、熱帯産の諸鳥、それから毒蛇^{コブラ}とか鱉^{ボウヤ}とか、とに角一と通りの陳列はある。まづ普通の旅客各位は三十分間もあつたら充分一とめぐりでお話の種だけになるだらう。

植^{コブン}物^{ンガ}園

これが英語では牡丹は咲かねどボタニカルガーデン、馬來語でコブン・ブンガ、即ち花園、コブンといふのはまづ庭園といふところ、ブンガは花である。

博物館を出てオーチャード路を眞つすぐに行く自動車で十分間位、入場料なども取らず、^{チキガ}門衛も居ない。そのまま乗り入れてゆくのである。

石の門を入ると兩側にカンナの花畑、すぐに左手に池が見えて白鳥が五六羽、叩く手の音に應じて岸に寄つて来る。せめて何かパン屑でも持つて来てやればよかつた、など、誰れも思ふ。池心には小さな島が一つあつてニボン椰子がこんもりと茂り、其の近くには一面に睡蓮の花が、赤く、紫に、黄に咲き亂れて水を被ふてゐる。銀座あたりで一尾數圓もする熱帯産の淡水魚が何十種、かづ知れず泳ぎ廻はつて、これにもパン屑でも投げてやり度い。この次ぎに来るときには必ず忘れまい、などと思ふ。

園内の一番高い丘には音樂堂があり、その附近には花壇がある。これは主に西洋花だが、丘の下の低地には羊齒や蘭などをあつめた温室、といふのも可笑しいが、小亭があつて馥郁たる芳香と陸離たる光彩とを枝條撓わにのせたボルネオ、スマトラあたりからの蘭の花鉢が處せまきまで押し並べられてゐる。ある、やごとなき御方様が曾てこゝに玉歩を運ばせ給ふて『まことに贅^{フランチャイガサ}澤なものである』と仰せられた、と、もれ傳へられてゐる。

も少し先きへゆくと園の西隅に近く一と叢のジャングルが伐り残されてあつて、こゝには無数の野猿が自然のまゝに棲んでゐるが、中に人馴れた奴は自動車の警笛に應じて道ばたまで出て來ること、奈良の鹿を思はせる。乃ち、かねて携へ來つたバナナ、南京豆の類を手づから與へて興じるによい。就中、生後間も無い仔猿を胸にしつかり抱きかゝへた母猿が、旅客の袂に——ズボンですな——すがつてバナナを乞ふのは一幅の畫、には、どうか知らぬが歸來、以て細君に示すには妙であらうから、周圍は少し暗いが二三枚パチパチとやつて來らるゝがよからう。

この裏手の四阿のうしろに細い徑が三町ほどジャングルの中を裏門へ通じてゐることを知つて人が新嘉坡人にも多く無いやうであるが、幾年月を経て散り敷いた落葉の上を踏んで、高い梢に名も知らぬ鳥の聲をきゝながら薄暗いジャングルの中を歩むのは一寸野趣がある。虎なんか出やしません。

但しまた、本當のジャングル気分を味ひ度いと思はれるなら、新嘉坡島内ではブキテイマの丘の背後あたりをゆくか、乃至、デヨホール街道を十二哩の標石から右へ這入つて、スンバワンからセクタに通じるマンガイ路にゆけばよい。但しこの邊は駐屯軍の實彈射撃演習地で、うっかり林の中へ這入つたら命がけである。勿論、あぶないところには立入禁止の掲示が出てゐるが、大體の気分だけなら枝路に這入らずとも一應のこと自動車で乗り入れられる程度のあたりで充分感得出來ると思ふ。嵐氣冷やかに頬を打ち、鬱蒼と繁つた千年の老樹は天日なほ暗く空をおほひ、遠く佛法僧の

美しい姿が陰顯し、猿が籐蔓を傳はつて梢から梢へ渡り、ターザンが象に乗つて。それほどでもな
し。

デオホール見物歸りに三十分間位の餘悠を取つておいて、御一見の價値もあらうか。

パシル・パンヂヤン

譯して長砂、こゝへは船から眞つすぐにゆかれるのもよいが、植物園からの歸りに序乍ら過ぎて
みよう。

ラテライト層の赤褐色ロームで、表土が絶へず豪雨で洗はれてゐるから、この邊は禿山だが、ど
ういふ因縁か、スペイン語でブオナ・ヴィスタ路といふ名の通りの丘の起伏と遠い紫色の山を右手
に眺めて峠を上り切るとマラツカ海峽の水が遙かに横はたつて見える。即ち前章にも述べたギヤツ
プこれであるが、時間の都合次第、其の所謂ギヤツプ・ハウスといふ小料亭で、庭前千丈の懸崖に
臨むあたり、香りも値段も相當高い珈琲でものみながら馬來興亡史など操りかへし思ふて感慨無量
になつてしまふもよからうし、乃至、國元に御留守の奥さまに一筆啓上の小憩も筆者に於て更に異
存は無い。どうぞ、呉々もよろしく。

コイラム・アエル
水源池

日本人倶楽部の前を三町ほど行つて、流れに沿ふて左折、ブキテイマ路の二哩石までゆくと、左
側は總督官邸裏に當り、こゝには旅人木の並木があつて繪ハガキで御馴染の水道の濾過池、右に墓
地の間をリンデンの並木道しばらく行つて小さい赤い橋、本書巻頭にかゝげた新嘉坡市紋章たる椰
子樹下の獅子像を欄干に飾つてあるので知名の「紅橋」^{ジュンバクシヤ}、これから先きがトムスン路で其の五哩と
六哩の間に水源池が二つあることは前章にも述べたが、村山貯水池の模型のやうな小さなもので、
戀人同志の散歩に極めて好適、また甚だ調法なことにその右手の丘の上には新嘉坡太神宮が鎮座ま
しましてゐるから、後日、高砂やアに及ばるゝにも思ひ出多かるべきランデ・ヴーにてありける、
が、これは主として素通連者^{ストレンヂヤ}の旅客各位には何と無駄にして有害無益なことを申上げてしまつたこ
とではある。

アルカフ園

アラブ人で大金持、アルカフ氏といふのが日本人庭園師を聘して造らしめた純日本式の庭。園内
には三笠山あり瓢箪池あり、太鼓橋あり稻荷祠ありといふわけで、數年前迄こゝに開業してゐた料
亭「喜樂」の時代ほどのことは今無いが、兎も角新嘉坡名物の一たることを失はぬ散策地である。

カトンの濱

市心から四哩ばかり、新嘉坡空港を右に見て坦々たるグロヴ路を行つた海岸、こゝがタンデオ
ン・カトンの濱、譯して「龜の岬」といふところ、住宅地として、又、シーヴューホテル、玉川別
館などの所在地として、更にロキシイ映畫館、カトン公園游泳場などの遊び場の名に知られ、特に
その椰子林の月は世界的に有名である。

町はづれを海岸に沿ふてゆくイーストコースト路。シグラップの濱ひろくと干した魚網、馬來
漁夫の船唄と藻鹽やく磯の香と、乃至、時間があつたら玉川別館の日本座敷で生干しの鰯のト鹽
でも焼いて貰つて月の出を待ちながら旅日記でもつけるとしたなら、これで眼耳鼻舌身意、すべて
南國風情を満喫して了つて、もうあとの旅がいやにおなりになるかも知れぬ。

チャンギの濱

そのタナメラの海岸を更に突き當るまでドライブするとブド村、こゝで左に曲つて突き當つて又
右にゆくとチャンギの川口に出る。このあたりは椰子の葉いよ／＼青く、濱の眞砂殊に白くて、金
波銀波の少し沖合にプロ・テツコンの島が大きく横たはり、乃ちデオホール水道の東口に當るが、
小さな發動機をつけた屋形船を賃して河口を出で、月明の夜、清涼の曉、この邊で魚釣りに興じる
人達が少なく無い。よき案内者があつたら三・四時間をそんなことに割いたら面白からうが、一日
一晚の寄港では何んともなるまい。また更に、プロ・テツコンの島を望むところ、満潮には裾な
かば隠れる花崗岩のみより成る小島が二三本の青い樹をのせて浮いてゐる。家族づれ半日の清遊には
新嘉坡中でこんなよい處は多く無い。簡単な釣道具一式と兵糧の用意、魔法瓶のたぐひよろしく一
包にしてチャンギの棧橋で支那人船頭にかけて半日借りて一弗五十仙見當の傳馬船、友達を誘
つて四五人の清遊には實に持つて來いである。但し、チャンギの附近は海軍根據地々帯で、そのプ
ロ・テツコン島には十八吋の巨砲が嚴としてデオホール海峡の口を扼し、砲口な／＼めに天を仰いで
ゐると聞くから、君子あほ向きに近寄らず、その邊大いに敬遠して然るべきであらうか、といふ人
もゐる。

動物園

新嘉坡に官立又は公立の動物園が無いといふことは一つの悲劇で無ければ即ち喜劇だ。何れにし
ても観光旅客どなたもこの案内書中、たゞ一つ案内とせらるゝところであらう。

日本人倶楽部の前を東北の方角へのびてゆくスラングーン路を追ふて共同墓地の前を過ぎ、パヤ・
レバの村を経て走行七哩半、スラングーン村の入口まで來ると左に小さな教會堂に沿ふて岐路があ
る。この邊、兩側は見渡す限りの護謨林、二つ三つ峠を越えたと十一哩の標石の僅か手前に新嘉坡
動物園といふ立札が眼につく。乃ち、ポンゴール村の入口で、村は同名の岬、タンデオン・ポンゴ
ールに位置し、デオホール水道の東口、セレタの空軍基地と、チャンギの要塞、それから海峡の關

門たるプロ・ウビン島の恰度眞中に突き出てゐるから、申すまでも無く新嘉坡軍港の中心で、昨年までは此處に邦人經營の釣魚場、兼、料亭の清涼館といふのがあり、廣い生け洲に何百といふ生魚を放養して客の需めるまゝに釣り上げて其の場で料理して食膳に供するといふ一名所であつて、畏れ多くも秩父宮様、高松宮様を初め奉り、御寄港の各殿下方、一度は必ずこゝに御案内申上げて御興じ遊ばさるゝを拜したものであるが、今は取り拂はれてしまつたのは残念である。

動物園とはいふものゝ、實は私立の、まづ動物仲繼所といふべきものであつて、各地から各地動物園へ行く動物を暫時こゝに飼育しておく、といふ程度であるから時には珍獸が何十頭と見られるかと思ふと、さつぱり閑靜なこともある。虎、大蛇、オラン・ウータン、キング・コブラ、鰐、一向珍奇で無いが子供さん達には喜ばれる。獅子や象は今申す如く恰度居合はせることもあり全く姿を見せぬこともある。で、相當の落膽おしやと莫迦々々しさを覺悟の上で、おいでになるなら御出かけなさゝと申上げておく。

デヨホール・バル

バルといふのは新といふ意味、舊といふときはラマといふ。であるから此處は和譯して新デオホール市。つまりデヨホール王國の首府であつて、新嘉坡市中心から約十七哩、例の有名なデヨホール水道北岸に沿ひ陸橋の向ふ側に市を成す人口二二九四四人（昭和十一年末調）の小都會である。

かくの如く新嘉坡からは走行三十分間の近距離ではあるが兎も角も外國であり、獨立の王國であるさうで、馬來人、英國人、支那人など當地の土人又は土人待遇のものは別として、われ等日本人などは矢張り一々入國の爲めの旅券査證が必要、といふ法令の出來たのは三、四年、何んでも滿洲事變以後のことであつた。

で、旅客各位もデヨホール観光御希望であつたら着船の際旅券検査の折、その係官に申出られて、許可を受けた旅券を御携帯の上、デヨホールバル市に着後、一時其の旅券を移民官に預け、一と廻はり御見物の後、警察署へ出頭して返して貰ふのである。これは當地在住の邦人も皆同じ手続きであるから、突然思ひ立つてデヨホール行き、といふわけには參らぬので甚だ不便であるが止むを得ない。左様の理由で時にデヨホール行きの御伴が出來兼ねても、夢にも在留同胞不親切なりなど、仰せられぬやう御斷りしておく。

まづ途中のドライブは新來の客には兎も角の風景であらう。護謨園も沿道に見られるし、陸橋を渡れば足一とたびは大陸の土を踏んだといふ話の種、この海峡の手前側に二三の馬來水上家屋も見られる。

王宮拜觀はデヨホール日本人會へでも豫じめ斡旋方を電話でたのんで置けばよからう、その寶物殿、州王の繼嗣たるトンク・マコタ殿下私有の動物園、近ごろ出來た日本式庭園、それから回教寺院、馬來墓地、一と通り拜見で一時間あまりかゝるだらうと思ふ。

時間に餘悠があつたら邦人經營の二葉といふ生洲料理、蟹料理、魚釣り、水泳貸ボートなどもある。

よく話に出る熱帯産業のセナイ護謨園、三五公司のクライ植林地、さてはデヨホール・バル市から東方更に三十哩のあたり、コタ・ティンギの瀧など、いづれも本書によりて案内せらるべき一飯の旅客のことであるまいと思ふから、こゝでは言及せぬが、時間の都合次第、たとへば早朝から晝すぎまでを割き得て、他の観光を後日に期する考へならば容易にこれ等の各地をも訪づれ得やう。セナイ護謨園見學の序でに新嘉坡市七十萬住民の飲料水源たるグノン・プライ貯水池を見るもよからうし、或は東してコタ・ティンギの瀧に興ぜんとならば途中、マワイ護謨園、速水護謨園をも訪ねらるべきであり、何れも州内屈指の良園である。

バトパハの鐵山見學、マラツカの舊市懷古等諸案は何れも一日の滞在では駄目である。虎狩り、鰐狩りに至つては勿論のこと、御承知を願つておく。

夜の歡樂境

夜の新嘉坡といふものが、いかに張り合ひの無い存在であるかといふことは既に前章で一應御斷りした筈であるが、大體、こゝは地理的に東西南洋の物資集散の市場として、又、従つて労働者や資本家が仕事待つ間の溜り場と言ふたやうな使命の下に、唯もう雑然と發育してしまつた都會であり、はじめから遊山觀光などいふ高尚優美な御話とは極めて御縁が遠いので、まことに歎かはいふことではあるが夜分の歡樂などいふ儀に相成ると、どだい註文が無理なのである。

と申して、ではその暑苦しい船室で、頭の上の甲板に絶え間無き轟々の音を立て、上下左右前後のブリキ板をふるはせつゞける夜荷役のウキンチを子守歌に、寝つかれぬ狭いベッドで小人閑居してゐる、などは頗る厚生的で無い、といふたら、せめて月三更や、涼しくなりにけるまで兎も角も土を踏んで、何か観て、何か喰べ度い、といふ御尤も千萬の御かけ合ひなら、まア、やはり映畫館あたりへ御案内して、歸りに多少獵奇的に馬來の珍果や、名物の支那粥でも御土産話しにいかゞ、といふところであらう。

映畫館も數は少ない。内容も貧弱で、主として英米の低級ものばかり、歐洲物は殆んど來ない。これは經營者が猶太人だからだ、といふ説もあり、見物が見物だからといふのも一理屈、いづれにしても教養の高い我々には甚だ以てつまらん晝ばかりである。

それでも所謂閑つぶしだ、といふので時にこれを用ゐるには前章申し述べた博物館の少し手前、海岸よりの角にネオンサインを耀やしてゐるキャピトル劇場、それから、其のオーチャード路を一哩ほど行つた左側のパヴィイリオン劇場、も一つ、海岸のラフルスホテル前にアルハンブラ座といふのがあつた。何れも小屋は相當のもので配給も早いのが上映するものは俗受けをねらつたものばかりと

苦言を呈するファンもある。

其他にはタンデオン・カトンにロキシイ劇場、ゲーラン路にリッツ劇場、ノースブリヂ路にロイヤル座、いづれも二流と考へてゐる人が多いだらうがロイヤル座の如きは特に印度映畫といつたやうな、他でもあまり見られぬものをやつてゐたり、海岸のアルハンブラ劇場に隣りするマルボロ座といふのも主としてタミール劇。とに角、平凡な低級な英米物など見るよりもエキゾチックな南印度のトーキーなど、わけがわかつてもよく、珍糞漢なら尙更面白いなど、つむじ曲りの悪趣味を並べらるゝ御方々ならば宜しくいま申上げたやうなイカ物を召し上げるのも結構であらう。

多くの映畫館は平日は午後六時十五分第一回開演で、約二時間位で追ひ出される。第二回を九時十五分過ぎからはじめるからである。其他、マチネーといふのは別で、特定の日に午後からやつてゐること他の都會の通りと御承知あり度い。

英語やタミール語の映畫なんか可笑しくつて、といふ大人君子は宜しくジャラン・ブツサル新世^{ニユトリ}界、或はタンデオン・カトンへ行く途中のグローヴ路に新らしく出来た快樂世界^{ハッピーワールド}、乃至、埠頭から程遠からぬキム・セン路の大世界^{グレートワールド}あたりの支那芝居、支那映畫、などに興ぜらるゝもよろしからう。前の二つは市中心から近く東方にあるが、最後のは埠頭前の新嘉坡停車場横を左に曲つて中央病院と刑務所との間を一哩ほど行つたところ、何れも相當の遊び場、盛り場で、キヤバレーもあり、拳闘のステーチヤ、怪しげな骨董品賣店、大小さまざまの支那料理屋などが、庭もせに、みちもせに、

押し並んでゐる。先づ震災前の淺草の奥山といった風景、だから、相當インチキもあり、香具師とか源氏師とか餘り筆者等の如き高品性にして低血壓な殿方には何の意味か解らぬやうな名前の先生方も徘徊致してゐるさうな。

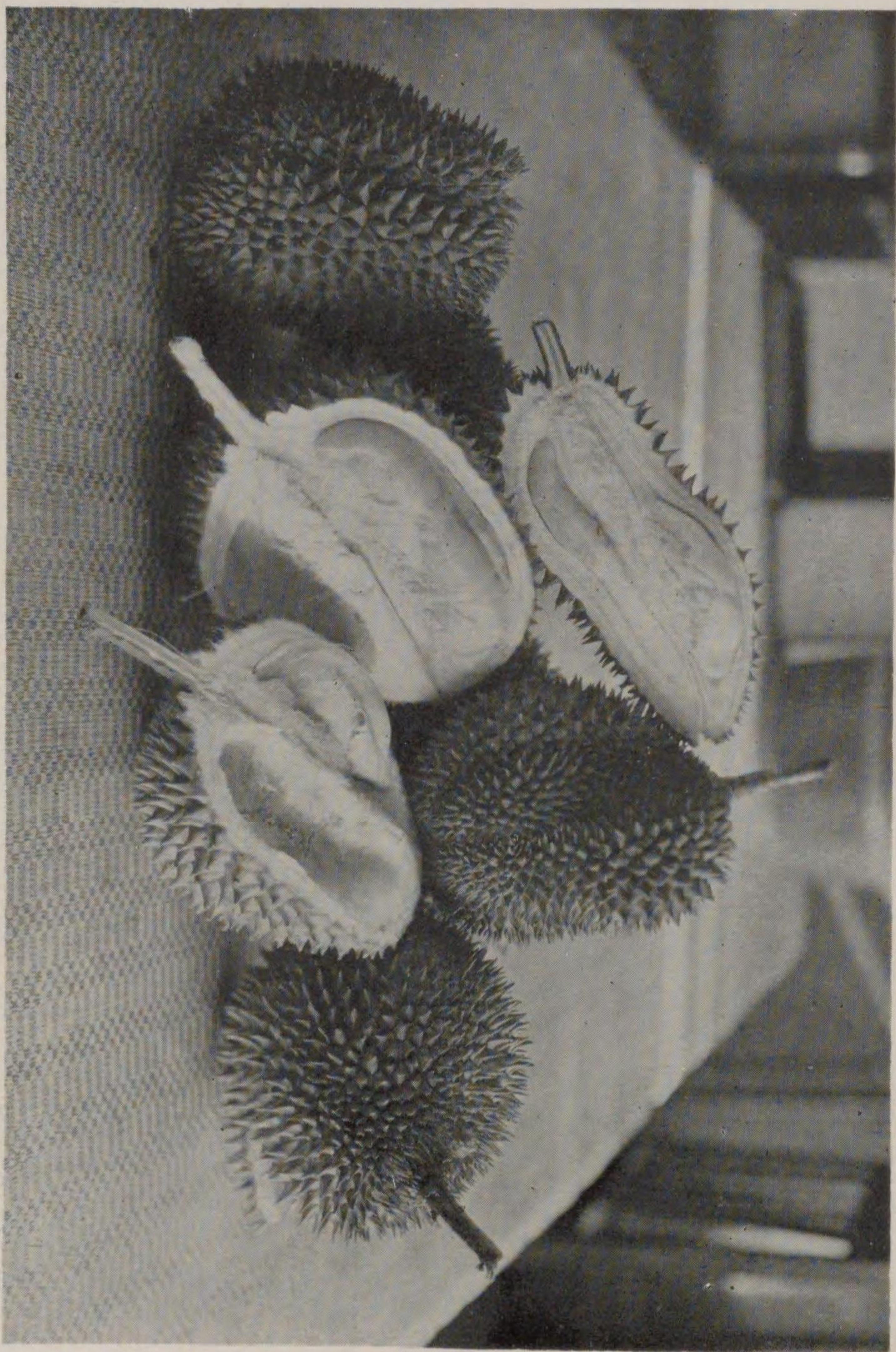
ダンサーは多くは女の子で、と申したら何んとか諸君言ひ度いだらうが、實はあの踊つてゐる中には男の子のダンサーも居るとか、居ないとか。白人、混血人、支那人、暹羅人いろ／＼の壁の花嬢どもがずらりと陳列してゐるところ聊か壯觀であるが、腋臭の匂ひとヒマラヤ・ブーケと、シューマイと白檀油の香りが國際的に交錯して渦を卷くのは閉口だ、などゝぬかす野郎どもは畢竟這箇の消息を解得せず、また家庭圓滿で内心困つてゐる不憫なやからだらう、などゝいふ説もある。

一と通り映畫を見て、一弗だけステップを踏んで、あと、あても無く時計を一寸出してみる頃ともなれば賢愚を問はず、まづ、多少おなかが空く。

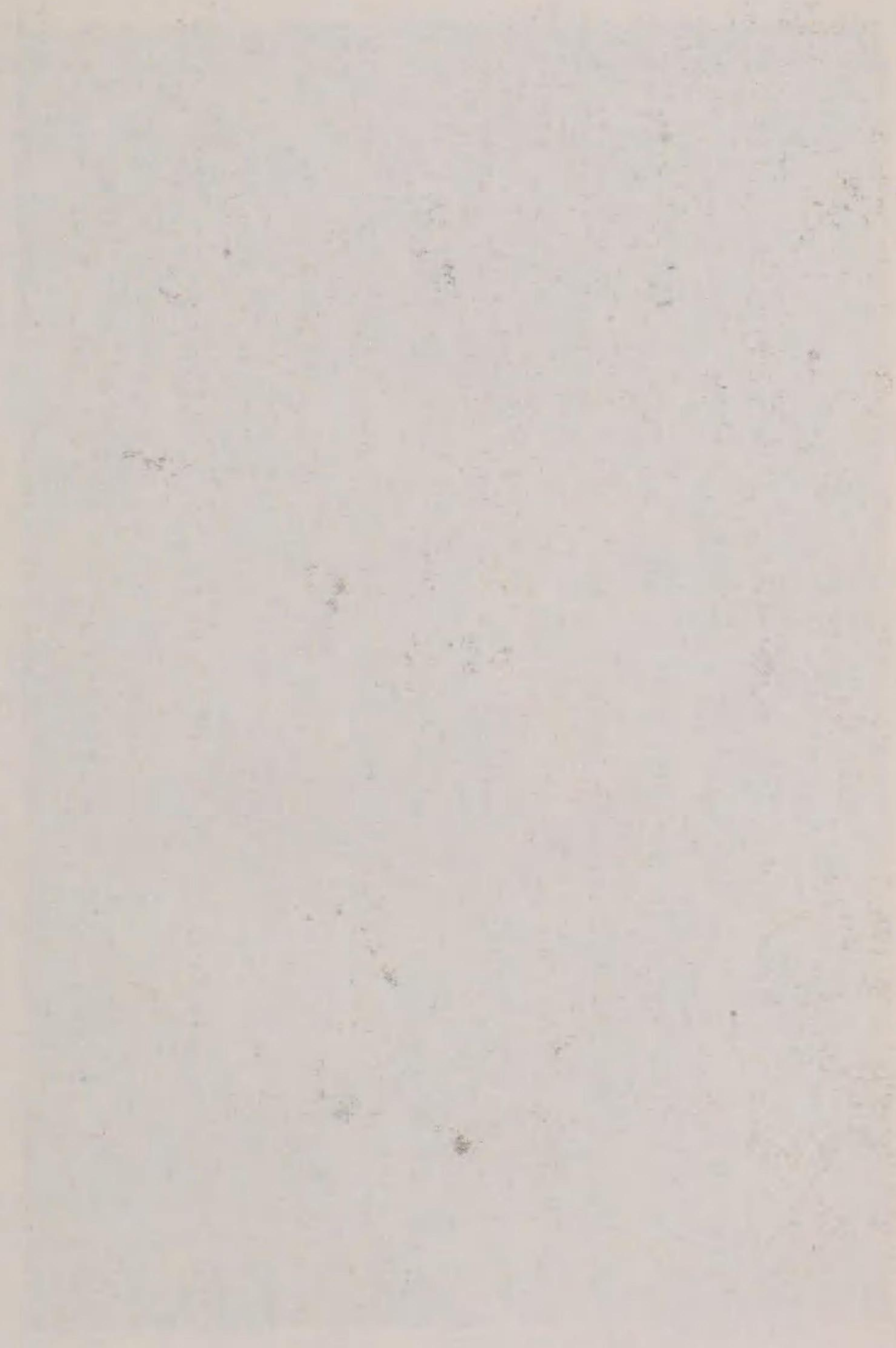
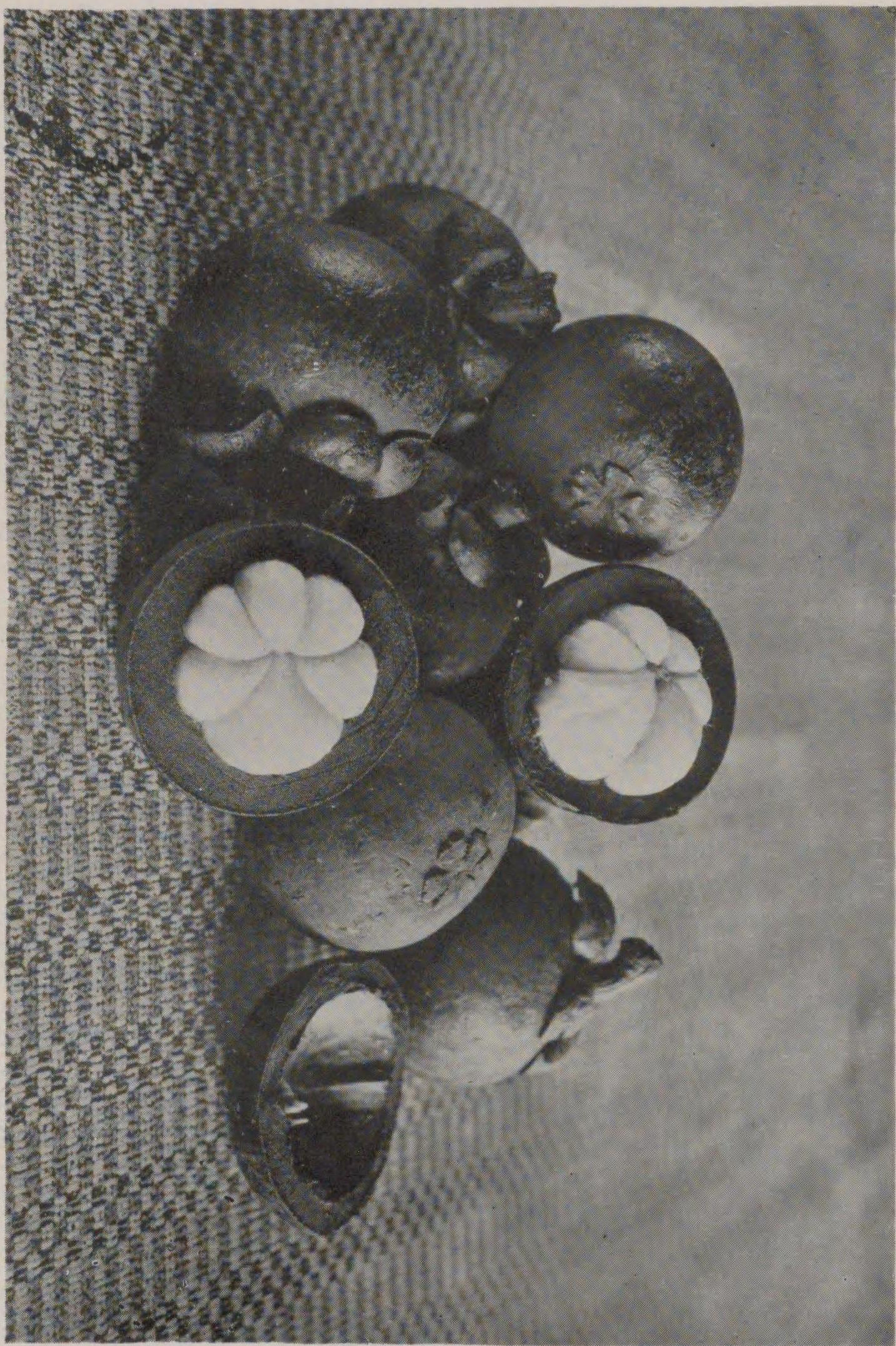
で、何か少し變つたものを、と仰言ると、恰度その季節ならイカモノの大王でドリアンといふ南洋專屬の立役者、こやつを一度やらざる限り南洋を説く勿れ、であるが、寔に恐れ入つた珍味で、其のまた匂ひといふのが大凡感慨無量の御趣向である。それに果物の女王様といふマンゴスチーン、これは天下の醍醐味であり、至上の美寶で、且、萬人向きである點、大いに禮讚すべきものであらう。以上の二つの珍果は、其他凡百の南洋産果物の群を抜いて名聲天下に高いが、其他にも人々の

御嗜好に應じ、或はサラワクの産のバインアップル、瓜哇、スマトラ邊から來るブア・スリカヤ、孟買を原産地と誇るマンゴ、それから有りふれたものながらパパヤ、バナナの如きも兎も角こゝで召し上る味は新宿や澁谷の道玄坂あたりで叩いて賣つてゐる小笠原島や臺灣などから千噸いくらで青いまゝ送つて來て椽の下だの石室の中などで熟化させた與太物とは格式が異ふから一度はお試みあるがよからう。それでも土地の人に言はせると人間様の召し上るバナナは、おのづから其の最上等品數種に限るので、例へばピーサン・マス（黄金バナナ）やピーサン・スス（牛乳バナナ）と、有りふれたピーサン・イヂヤウ（青バナナ）とは一斤三十圓の玉露と一貫目三圓の番茶位違ふ。ピーサン・イヂヤウなどは蓋しお猿さんや豚の飼葉ださうだ。よろしく其のピーサン・マスあたりを一つ召し上つて頂き度い。一寸辛子をつけてチーズ一片をはさむのが通である。

馬來へ御いになつて何か獵奇的な、安直にして意味深長なものを、と仰言やる喰道樂居士に、是非とお奨め致すのは支那のお粥と腸づめであらう。前者は夜分おそく屋臺店をかついで妙な賣り聲で「アープチョン。ユイサンチョ」てナことを（さう聽こえるから仕方が無い、どんな字を書くか知らない）竹の節で造つた簡単な拍子木の伴奏でカンカラカン、キツカンキツカンと雜し立てながら、どんぶり一杯五仙から上等は十仙位で御注文の眼の前で調理してくれるが、大體、支那料理だの油繪なんつてもものは臺所を見ては決心がにぶるものだ、命には別條無しと確信して文句を言はずに一トロやつてみるがよろしい。まづ我國の夜なき蕎麥、鍋焼うどん、と申すところ、これは成る



ス
ー
チ
ス
エ
ク
ム



ほど珍でげス、うめえ〜』と首尾克く召し上り終つたら内證でお教え申さうが、いま大人の御意に召した其のお粥のおつゆ、おいしいおだしは全體何んだと思し召す。味の素なら、あんなに長いことグズ〜煮てゐたら「もとの味」に逆戻りしてしまふだらうし、昆布で無く、鰹節で無し、はてナ、いふのだが、種を明かせば、これ即ち、ヘビぢやよ。ウワバミだ。驚ろいたか胴蛇。といふ話は實は出所不明のデマで、やはり何んかでせうなア、とぼかしておく方がよいかも知れぬ。

ラクチョンといふのは支那の腸づめ、主として豚のあぶら身をつめてあるが、これは一寸油でい
ためて辛子醬油で喰ふとよい。胡瓜を生まのまゝ荒つぽくそいで添へて出します。

も一つ是非、と申上げるのは馬來名物の肉の串焼、サツテといふもの。これは竹の串或は椰子の葉心に雞や牛や羊の肉などをこま切れにして刺し重ね、これに椰子の油を塗つて火で焼くが、焼けるのを待つて傍らのたれへ突つ込んだら横喰はへにかぶりつく。たれは甘いはや辛いのや、とり〜さまざまであるが、中には劇薬ネコイラスに近い位の恐ろしい辛い奴もあるから御用心あるべく、總じて馬來料理は滅法界に辛いから初心の御方々、あまり御無理をなさらぬやうに願つておく。

馬來料理のチキンサラダも一寸よろしい。特に其のサラダがよい。即ち土語でサンバルと稱するが、出來上りいろ〜あつて何れも結構、チキンサラダは多く屋臺店のを賞味する。これが二階へ上り込んで注文して喰ふチキンサラダと相成るとお値段も一皿五十仙と六十仙。五十仙のチキンは牛肉で六十仙のは羊肉のチキン、こんなことに一々驚ろいてゐて下さつては困る。あと、まだもつ

と大變な奴が出てくるのである。即ち名物「マンコノケー」だ。そんな六づかしい顔をなさるのなら教えて上げまい。御信心のともからだけ一と通り謹聴さるゝがよい。

これは夜の歡樂ぢや無くて早天拂曉の夢を破る賣聲であるが、確かに「アー、マンコノケー」である。止むを得ない。

多くは薄手白色の湯呑やうの瀬戸焼——實際の話である——の椀に、我國で申さうならお葬式で出す、例の鹽釜といふやうな白いお菓子、道明寺か米の粉か、いろ／＼あらうが甘味のある、ふつくりしたお饅頭の皮のやうなもの、乃至、鹿兒島名物の「カルカン」といふもの御存知か、つまりあれを詰めて茶椀ごと蒸かした奴であるが一個一仙、勿論いれものは返すのだ。

馬來語でマンコは茶椀、ケーといふのはお菓子のこと、實は「クキ」といふのだが、寢ぼけづらの朝まだき、枕に通ふよび聲は、是非に及ばず「アー、マンコノケー」である。

こいつを一丁たべぬことには新嘉坡見物は完璧でない。よろしいかな。

みやげもの

で、かくの如くにしてまづ一應見物もすませ、通を振り廻はすネタも仕入れた上は、そこはまた人情然らしむるところ、遣ひ残りの巾着の御都合次第で、何か記念品、かさばらぬ物で、見ばえがして安上り、といふおみやげ物を、歸つて細君に贈る、また仁ならずや、と史記に出てゐる通り、これは實に家庭美談であり人倫道德の本旨に叶つてゐるから、以下、新嘉坡みやげ一と通りを御紹介申上げるであらう。

みやげ物に大凡三種あつて、手はかゝるが金のかゝらぬ物、金目の品だが顎で指圖さへすれば手に這入るもの、乃至、大いに手もかゝり更に金もかゝる奴に至つては限りがない。まづ一番安直にして歸來相當に利き目のあるものから並べてゆく。

筆者の友人で、上り大名の下り乞食、と申したら怒るだらうが、在歐三年、しこたま買ひ込み、仕入れて來たので、トランクは一杯だし、といふ男、金は無いが智恵があるので考へ付いたのが植物標本。前章に一寸申述べたが少し手をかけると結構よいおみやげが出来るのである。

一番面白いのは市中見物のところで御案内申上げた總督官邸裏手の淨水池前からトムスン路へ出るところの墓場の間の菩提樹リンデンの並木。こゝらで適當頃合の葉を四五十枚むしり取つて歸る。誰れも文句は申しません。

葉柄をつけたまゝがよろしい。お船が出帆したらこの葉を船室の手洗鉢に水をたつぷり入れて全部浸しておく。で、毎日一回、寢しなに水をかへて一週間、まづ上海近くなる頃、葉の肉は全部下

ロドロに解け落ちて、あと美しい葉柄、葉脈の筋だけが——即ち葉のスケルトンだが——白く晒されて残る。手間もひまも、元手もかゝらぬおみやげで、しかも菩提樹の葉、以て爺さまや婆様に献ずれば伏し拜んで随喜疑なし、有り難かりけることどもであり、歸りの船の航海中聊か退屈凌ぎをかねて、大した學問になる。

但しこれでは餘りロハ過ぎて勿體無いと思し召したら、お序でに菩提樹の實のお珠數などを添へたらいかゞ。これはアラブストリートあたりのボンベイ人の店にもあり、安心なのは矢張りミツドル路邦人街のみやげ物商店に就いて求められたらよろしからう。百八煩惱をズラリと絲につないで輪にした奴が一弗見當であるが、歸つてから十八個づゝに分けるから手首にかける御珠數が六つ出来る。これに例の菩提樹の葉の透し彫り一枚を添へて有り難がらせて一人前銀十八仙。

これは勿論護謨の葉でも同様であつて、葉は可及的若い無瑕な奴を撰ぶが、菩提樹の葉なら一週間で出来るけれど護謨の葉だと一ヶ月以上かかる。護謨の實は何處にでも落ちてゐる。又、郷里の小學校あたりにも御寄附の教材といふなら護謨樹から製品まで一式小型の標本箱に収めた奴が、ミツドル路あたりの邦人みやげ物屋さんで二弗か三弗で手に這入らう。

動物標本でおみやげとなると、小は孔雀の羽根一枚二十仙位から、虎の皮、象の剝製となつて何百弗もかゝらう。アトラス・アタクス蛾をはじめ、馬來地方産の蝶、蛾、其他の昆蟲から、蝸(さそり)、鰐の卵、鼈甲龜、鹿の角、見る限りのもの、考へつくまゝの品、いづれも持ち歸へれば相當珍らしいおみやげである。途中、手のかゝるのを承知なら熱帯産の淡水魚などもよからう。生きた動物を求めるなら、ロチョー路へ行かれると鰐の子や、大蛇や、猿や、鸚鵡、小鳥類から熱帯魚、何んでもある。其他、ニューブリッヂ路の先の南天酒樓前あたりに二三軒支那人の小動物屋もあり、又、ロビンソン路は南部商會向側の市場で各種淡水魚の陳列即賣をやつてゐるからついでに見らるゝもよからう。

筆者等のところへは、随分、類は友をよんで變な男が折々訪ねて来るが、先達て見えたお人は庭園内をしきりに歩き廻つては何か捜してゐるから、何が欲しいんだね、と聞けばカメレオンの生きた奴だ、といふ。あんなものを生捕つたところで藝をするわけでも無く、面白くも可笑しくも無いぢやないか、酔興な奴もゐるものだ、と思つたら、あれは中々あれで日本では珍奇なもので、よい値になるさうな。さうあらう。カメレオンの様な奴は相當多からうが、本物はあまり見まいテ。若し御入用ならつかまへておきます。

自分で搜がし廻るのは時間も惜しい、第一面倒臭い、といふ先生方、まあ何んでもよいのぢや、

手頃の品を友人先輩十軒分ほどなア、といふ次第なら、すぐ考へ付くのはマラツカ・ケーン、乃ち籐ロケンのステツキであらう。これは百年來、新嘉坡が名産地といふことになつてゐる。ミツドル路にも専門の邦人商店が二三軒ならず並んでゐるが安いところで四、五弗見當、逸品と來ると三、四十弗、立派なものがあります。

鱈皮製品、乃至、蜥蜴皮細工なども亦當地みやげの大宗であつて、内地鞣しは多くタンニン酸(植物性)鞣し、ローカル製のものクローム(鑛物性)鞣しであるが、勿論、前者の方が遙かに上等である。つまり生皮の鹽漬けを一度内地へ加工に送つて鞣してから當地に還して來た品、それなら内地で買つたら安いだらうといふのは素人考へで、これは恰度、印度の原棉を無税で一時内地に輸入して大阪あたりでメリヤスやサロンに織り上げて輸出すると、メード・イン・ニッポンでも更めて持ち歸るとき税がかかるのと同様、ボンズの意味で一時内地工場へ持ち込んだのであるから製品をそこでそのまま小賣は出來ないと御承知あり度い。やはり當地産の品である以上、加工云々は別として外國品として持ちかへるわけである。

銀座や道頓堀で美人の胸に抱かれ、乃至、課長様の重要書類入れとあつて偉彩を放つ、あの鱈皮靴、其他、紙入れ、弗入れ、バンドの類、小は二、三弗から百弗以上の品もあり、奥様のお留守番御褒美にといふなら三十弗、四十弗見當の鱈皮ハンドバック、少し安値の蜥蜴皮ハンドバック乃

至十二、三弗見當の蜥蜴皮の御草履なども喜ばれやう。

或は鱈皮の鞣した奴をそのまま皮で持ち歸られるとすばれ十吋巾物で八、九弗見當、十四吋巾物で十二、三見弗當と思はれ度い。

所謂、鼈甲龜(壁掛け用)、極樂鳥(床の間用)等の和洋室共に向く室内裝飾製品、それから少しグロダが鱈、蛇、蜥蜴の剝製、前に申した鹿の角、これ等はまづ二、三弗から十五弗見當。買ひ求める時には一應考へてしまふが、あとになつてから、矢張り欲しいといふので十の八九は、君甚だ相すまんが、先日案内して頂いたとき見た鼈甲龜、一つたのむ、と言つてよこされるが例で、手がかゝつて仕様が無い。欲しいと思つたら思ひ切つて其時買つておかへりなさい。ね。

土人用の刀劍クリス、武器、或は吹矢とか鎗、弓の類、眼が利けばよいが、惡徳な商人にかゝると骨董品は現今では名古屋製の熱河離宮の古瓦とか、大阪産の爪哇古代勇士愛用の正宗とか、廣島で削いだ牛皮製のエチオピアの獅子の皮なんていふ珍品も手に入るさうだから、まづ安全第一として知名の邦人商店を訪ねられるが得策であらう。

御婦人向きのおみやげとして、レースは喜ばれるらしい。アラブストリートの印度人の店、ハイ

ストリートに孟買人などには片言の日本語もわかる奴がある。うっかり「こりや安い」なんかと言はれぬやう切に御自重を禱つてやまぬものである。

爪哇更紗といふもの、安いのはニツボン製、獨乙製、それでも知らぬが佛といふたとへもあり、乃至、内地では手に這入らないのだから買つておかへりもよからう。サロンと稱するものは多少短かく、カイン・パンヂヤンと稱する幾分長い奴なら三つに裁つて一本半づゝ取れば帯の片側が二本ある。黒繻子と腹合はせにすると一寸御趣向であらう。

捺染で大量製産の獨乙物だと一本一弗から二弗、本場は爪哇のジオクヂヤあたりで一線一劃を蠟筆と特殊の染料で畫がいてゆく所謂バチ (Batik) なら安くても十何弗、二十弗以上だらう。使へば使ふほど、洗濯すればするほど其の鮮麗な色が愈々冴えて美しく、其の地色は益々白くぬけて来て、手ざはり羽二重の如くになつて来るから古い物ほどよい、といふ人もある。質の流れを二弗で買つて紐育から來た世界一週觀光船のお客さんに五十弗で譲つてやつた、と誇らかに話してゐるのを聞いたこともある。

郷土色ある安直なおみやげに椰子細工もある。或は鹿の角、山羊の角、いろ／＼に細工した煙草盆、菓子鉢、いづれも安いのは二十仙から一弗見當、少し荷は嵩ばるが田舎向きには惜し氣が無く、

どうせ御自分で擔いで歸るわけでも無いから此等の品とりまぜて十弗か二十弗、籠につめて船へ届けておいて貰ふと御歸宅の後相當御役に立つだらう。

繪はがきも安つばい、寫眞アルバムも智恵が無さすぎる、と仰つしやる御方には手つ取り早く本書をお奨めする。おみやげになり、教育になり、多少なりとも日本人倶楽部の雑收入にもなれば社會事業への御寄與ともなる。かゝる良書を子弟後輩に附與することは殊にお人がらも憚ばれて床しい限りである。十部ほど御求め御かへり如何、と敢てお推奨申上げておく。但し講釋師、見て來たやうな嘘を吐き、といふ次第で口から出放題の法螺をお吹きになるのには聊か邪魔になりますで、寧ろ初めから斯様の書をおみにならぬに如かず、まして御持ち歸りになつて御土産話の逆襲材料などになり、思はぬ尻をこちらへおもち越し下さつても御接待の限りで無いこと、豫めおわびを申上げておきませう。

其他、南洋みやげとして内地の人々に喜ばれる品々に、砂糖 (白ザラメ一斤五仙位から)、珈琲 (一磅七十仙見當)、紅茶 (一磅一弗五十仙見當、パインアップル罐詰 (一罐十仙位から)、罐詰めのカレー粉などもあり、又、種々の香料、殊に沈香なども入手し得られやう。即ち土語でカユ・ガルとよび、良質のものは一斤數十弗を稱するが漢法醫はこれを貴重強心劑として用ゐ、また佛家では其の片末を焚香として珍重する。尙、當地方は元より東西兩洋の文化と物質が交錯集散する要衝に

當つてゐるので、その固有産物のほかに随分思ひがけない遠隔の地からの珍貨なども市中で見出すことがあつて、第一、前述の極樂鳥の剝製だの、象牙細工、爪哇更紗、砂糖、沈香など、いづれも新嘉坡や近隣馬來地方の所産では無くて、たゞ、こゝで特に容易に手に入る品といふ次第なのであることは勿論であるから、それなら濠洲産の駝鳥の卵も、オパールも、翡翠^{ひすい}も、各種の寶石や寫眞機などまでが當地みやげとして一應御紹介の要があるかも知れぬ。實際、これらの品々みな遠く其の原産地で直接御求めあらば知らず、まづ大凡、すこぶる格安に當地で手に這入る、といふのは一つは當地が免税港といふ點、或は植民地の常として不斷に人の出入移動が多く、自然、大は土地不動産の賣買から小は手廻はり品、装身具などの集散、流行を追ふ人情と新奇を好む植民地氣分もあり、どんな品でも當方面に持ち込めば必ず賣れるといふ一方、どんな品でも新嘉坡の質屋を搜がし廻れば必ず手に這入る、と申した人もゐる位、掘り出しもの、骨董品、俗に申す泥棒市といふやうな所は適當な案内者無くして訪ふべくもあるまいが、時間が許せば質屋あさり、オークション・シヨップなどに獵奇の眼を耀やかすのも旅の一興であらうか。

それから最後に寶石であるが、昔セイロン島のコロポ港、或は佛蘭西のマルセイユ港、などが所謂寶石を買ふところとして久しく名聲が高かつたのに代つて、いつの間にか新嘉坡が其の役を買つて出てゐるらしい。では以下數行、そのお話を申上げるのも萬更無駄であるまい。

五六年前までは客船の往復寄港の都度、必ず何人かの印度人寶石賣りが甲板上に店をあけて話し上手に「寶石」を賣りつけてゐたものであるが、あまり眼にあまるやうな惡棘非道を敢てするので、今は斷乎としてこれは全禁せられ、乃ち、だまされ度い御方々は宜敷上陸して贖物をつかんでおいでなさい、と相成つた次第である。

先づ第一に申上げておき度いことは、世の中、殊に新嘉坡の如き國際都市に於て、また此の後恐らくは二度とふたゝび御最眞に預かるべくも無い行雲流水の旅の御方に、ゼニにさへなれば親の死骸でも賣らうといふやうな勢ひのインチキ寶石屋などが、何んの因縁あつてか「格安」だの「掘り出し物」だのを割愛すべき道理あらむや、といふ點である。こんなわかり切つたことで髯の生えた大先生様方が寄港毎にコロリ／＼としてやられるのを見てゐると、義憤を感じる前に愛想が盡きることもある。

或は營業妨害で暗夜の四ツ辻を要心せねばならぬやうな仕儀に立ち至るかも知れぬが、以下少しく、極内々で御心得のため一應申上げるが、よくお話に出るセイロンダイヤ、乃至、ホワイト・サファイヤ等と稱するものゝ中で兎も角も本物、贋造で無く合成で無い眞石の場合、これは多くは白色の風信子石、俗にザイコン、又はジルコンと稱するもので、セイロン島の所産、特に其のマチュラ坑あたりから出るものや、暹羅から出る最良質無色のものは餘ほど注意してみてもダイヤモンドとの區別がつかぬ。少しく専門的に申さうなら比重はダイヤよりも僅かに大で四、〇乃至四、五位

(ダイヤモンドは三、五少し上である)、硬度が七・五位だから此の二つの點でダイヤとは鑑別出来やうが、その燦然たる金剛光澤と屈折率二・〇に近い光學性とは、やゝもすれば硬度の検査など忘れさせてしまふ位、X線分光學の所謂、單色特性線(つまり光線の輝線スペクトルに相當する)で調べてみてダイヤモンドには決して含んでおらぬ筈のハフニウム(Hf. 72, 178.6)の特有な色、乃ち波長を検出でもしないことには誰れか烏の雌雄どころか、双兒の兄弟、菟蕪の裏表を論ずるに近い位に本物と贋物とが區別し難いのもある。いや、實はそれほどでも無いが、まづこの位威嚇しておかぬと諸君引つかゝる虞れあり、現に何人も被害者があり、今だに氣が付かぬ大人も居られるとか。

但しまた、それを承知で何かお考へがあらば、まさかに一合いくらでも無いが勝手知つた在留邦人に案内して貰へばアラブストリート邊の印度人の店で、まづ一カラット當り二十仙から三十仙見當なら相當に光る奴が買へる。淡橙色、藍色、いろ／＼美しいのもある。

それから、決して贋物が無いといふ安心な石にオパールがある。安い奴はカラット當り十仙、十五仙、火の強い良石だと随分カラット一弗以上もする。濠洲の所産で、こゝでは邦人中にもこれを自ら截つてゐる人もあるが婦人用の帶止などによい。

ダイヤモンドは、御自身よくおわかりになるか、乃至は餘ほど確かな案内者無くして御買ひ上げ御無用が先づ安全かも知れぬ。眼が利いて運がよくば内地で買ふ半値で手に這入るなど、聞くが、もつと運がよければ海岸あたりでお拾ろひになるかも知れません。

無事なところは、ムーンストーン、トルマリン、それに前申し述べたザircon、オパール、總じて一カラット十仙、二十仙程度のものなら何もおなぐさみ、一掴み買つてお歸へりになつて、勿體らしく一つゞ天鷲絨の小箱でもいれて洋行みやげで田舎のお知り合ひ連中にもおくばりなさい。尙、因みに念を押しておきますが、寶石の重量一カラットは御承知の如く〇・二グラムで、即ち、五カラットが一・〇グラム、ごまかさねやう願ひます。

贋物、元より御承知のチエコ・スロヴキヤ製、鉛硝子、ボヘミヤガラス、フリントガラス、エトセトラの美しい奴、大きさは一カラットでも、五カラットでも、まづ百粒で二弗位、嘘の吐ける御方は口から出まかせに、これは小生、或る事情あつて、なんてのは、まアおやめなさい、だが、これもアラブ街あたりの印度人の店にあります。

では大凡これで一應の御見物も、おみやげ物の御買上げも済み、御忘れ物もないやうならば、やがて御乗船出帆の時間にほどもあるまい。つかの間の短かい御滯泊ではあつたが袖ふり合ふも他生の御縁、折々は思ひ出して頂き度い新嘉坡で、同人齊しく前途愈々御多幸を禱つております。さらば。

新嘉坡日本人會
同日本人俱樂部

役員及職員名簿

地方日本人會所在地

新嘉坡日本人會

昭和十三年度

一、會長	大內 恒	
一、副會長	照屋 全昌	
一、會計監督	梅澤源次郎	
一、評議員會議長	檜尾七太郎	
一、理事	事 二十三名	
安藤 公三	本田 光徳	原田 幸雄
石田 忠治	市原 章則	小室 健夫
檜尾七太郎	金田 武治	越野榮治郎
牧山 竹松	前川 浩通	牧野 紫郎
中山 義信	西村竹四郎	大内 恒
大村 廉	須賀川太郎	杉山 鉦造
照屋 全昌	高橋 末吉	梅澤源次郎
若林 榮造	永福 虎	山村 四郎

一、評議員 贊 十二名

五艘 秀雄	城野 仁三	吳竹 吉信
三宅惣太郎	松本 有司	宮崎 狷介
灘波 守治	中塚保次郎	竹本 雄藏
谷澤 竜次	植田喜代治	吉原 憲良
有坂 利一	天野 達	馬場小太郎
江尻 修平	福田 太一	本間 清
林田 重雄	飯塚 茂	南部 辰造
長尾 正平	中川 市男	大島 義里
笠 直三郎	佐竹 俊雄	下田檜之助
鈴木 義也	田尾嘉三郎	楯 朝二郎
渡邊 格	山下千代志	山本 政八
吉井牛太郎	保田 級一	

一、部制職掌及委員
 教育部——小學校、夜學校、少年團ノ監理其
 他教育ニ關スル事項

(長)永福 虎 石田 忠治 原田 幸雄
 越野榮治郎
 社會部——各種社會問題ノ解決並ニ實行
 (紛議ノ解決、救濟並ニ慈善墓地監理等)
 (長)須賀川太郎 牧山 竹松 牧野 紫郎
 高橋 末吉
 外事部——對外關係事項
 (長)小室 健夫 若林 榮造 安藤 公三
 會計部——會計並ニ財産管理ニ關スル事項
 (長)梅澤源次郎 大村 廉 中山 義信
 庶務部——人事、社交、俱樂部關係其他前記
 各部ニ屬セザル事項
 (長)本田 光徳 市原 章則 前川 浩通
 高橋 末吉 杉山 鉦造
 一、學務委員
 永福 虎 安藤 公三 須賀川太郎
 照屋 全昌 梅澤源次郎 中塚保次郎

石田 忠治 鈴木 了三
 一、夜學校監督
 山村 四郎 鈴木 了三
 一、校 醫
 石田 忠治 山本 政八 田城 一
 吉田 政市
 一、少年團
 理事長 大内 恒
 理事 市原 章則
 同 中山 義信
 同 加藤 徳十
 同 小澤 善兵衛
 理事團長 鈴木 了三
 隊長 有田 乙吉(青年健兒)
 同 葛田 三雄(少年健兒)
 同 石井 肇(幼年健兒)
 一、職員

A 新嘉坡日本小學校
 No. 155, Waterloo Street, Singapore.

訓導兼校長 鈴木 了三
 訓 導 伊澤 ハル 有田 乙吉
 山縣獅子夫 脇谷 清三 太田黒又男
 松永 三男 上野 一馬 石井 肇
 上田 書雄 河野 毅 佐野 英子
 笹岡 房子
 天本 矩人 (コーラランポ分校勤務)
 英語教師 ミス・オムロット
 夜 學 校
 英語教師 太田黒又男 和田 昌三
 C 新嘉坡日本人會事務所
 No. 107, Selegie Road, Singapore.
 書記長 小澤善兵衛
 書記 和田 昌三 百瀬 悌
 山田幸之助

各地日本人會案内

◎シヨホール日本人會
 The Johore Japanese Society,
 55, Jalan Ibrahim, Johore Bahru,
 Johore.
 ◎バトパハ日本人會
 The Batu Pahat Japanese Society,
 Batu Pahat, Johore.
 ◎マラツカ日本人會
 The Malacca Japanese Society,
 Malacca.
 ◎ペラ州日本人會
 The Perak Japanese Association,
 144, Brewster Road, Ipoh,
 Perak, F.M.S.
 ◎彼南日本人會
 The Japanese Society, Penang,
 54, Penang Road, Penang. S. S.
 ◎ネグリスミラン州日本人會

The Negri Sembilan Japanese Association,
 202, Temian Road, Seremban, F.M.S.
 ◎セランゴール日本人會
 The Japanese Association of
 Selangor,
 107, Petaling Street, Kuala Lumpur,
 F. M. S.

新嘉坡日本人俱樂部

役員 (昭和十三年度)
 部長 石田忠治
 副部長 杉山鉦造
 會計主任 村田久二
 庶務主任 岩島省一
 理事 木下直
 同 窪田直
 同 松本有司

職員 (昭和十三年度)
 同 日本人會々長
 同 顧問 大井市男
 同 同 安藤恒三
 同 同 林重雄
 同 同 高橋末吉
 幹事 鈴木木
 書記 吉岡英章
 同 (集金係) 山田幸之助
 ◎各部擔當委員
 撞球部委員 (長) 窪田勝年
 村上健一
 永田兼授
 吉井牛太郎

運動場委員

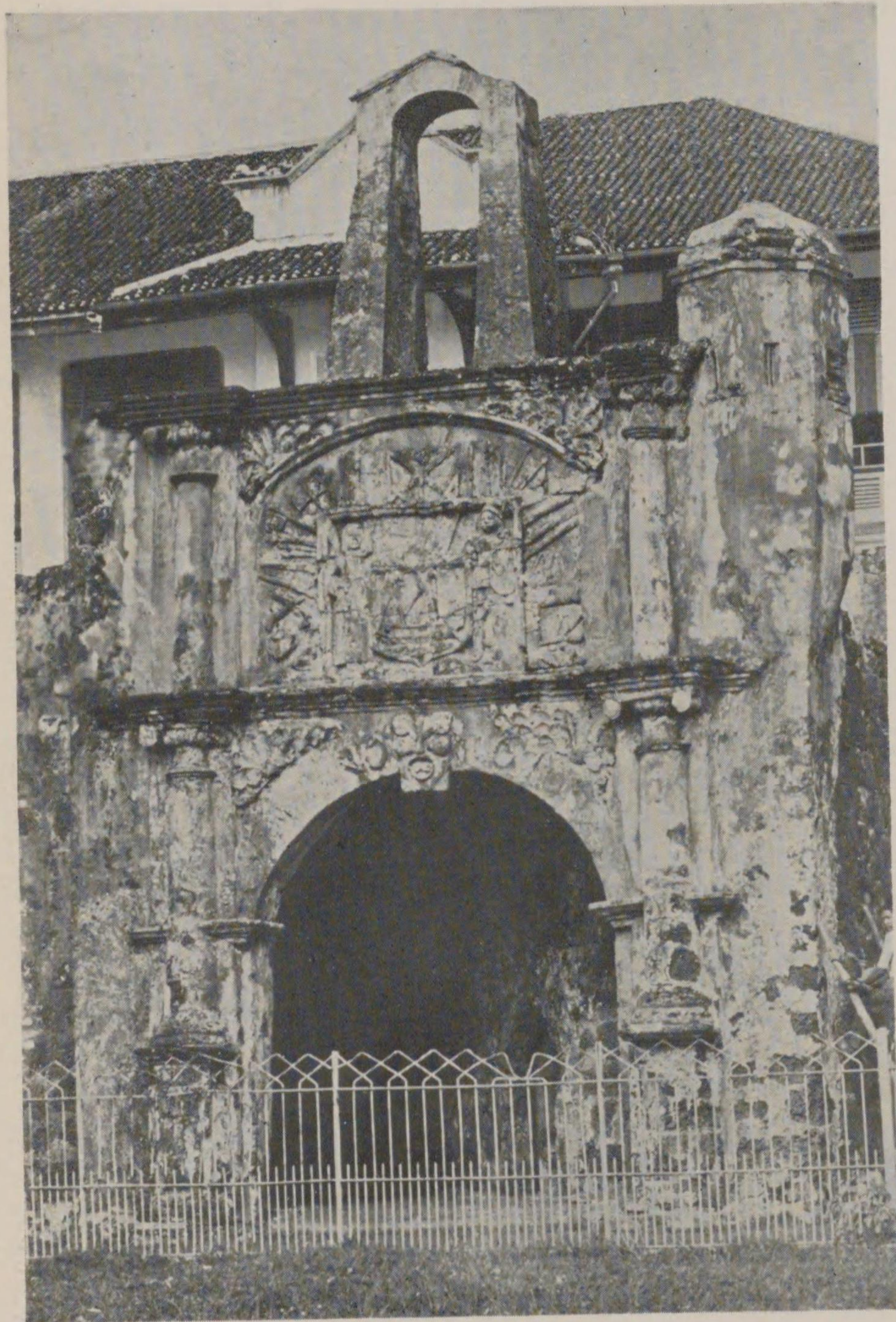
(長) 木下直
 東 泰一
 石井 肇
 宮田 喜
 奧川 正剛
 魚住 謹
 吉井 太郎
 庭球部委員 (長) 中川市男
 相澤 鷹二
 東 生
 桐 辰夫
 小林 清
 村上 辰夫
 村 上
 松平 康
 吉井 太郎

野球部委員

(長) 石津憲賀
 木下 直
 奧川 正剛
 大崎 實
 有田 乙吉
 林 不二雄
 英 謙
 小室 謙治
 木村 二郎
 越野 榮治
 中村 清次郎
 宮田 良多
 上 山進
 大島 志夫
 鮫島 一
 吉井 太郎

羽球部委員

(長) 松本有司
 池谷 芳雄
 西川 和夫
 島田 保衛
 卓球部委員 (長) 桐生清一
 松田 清
 太田 黒又
 脇谷 清三
 陸上競技部委員 (長) 穂積大助
 有田 乙吉
 林 不二雄
 石井 肇
 岩島 省
 木下 直

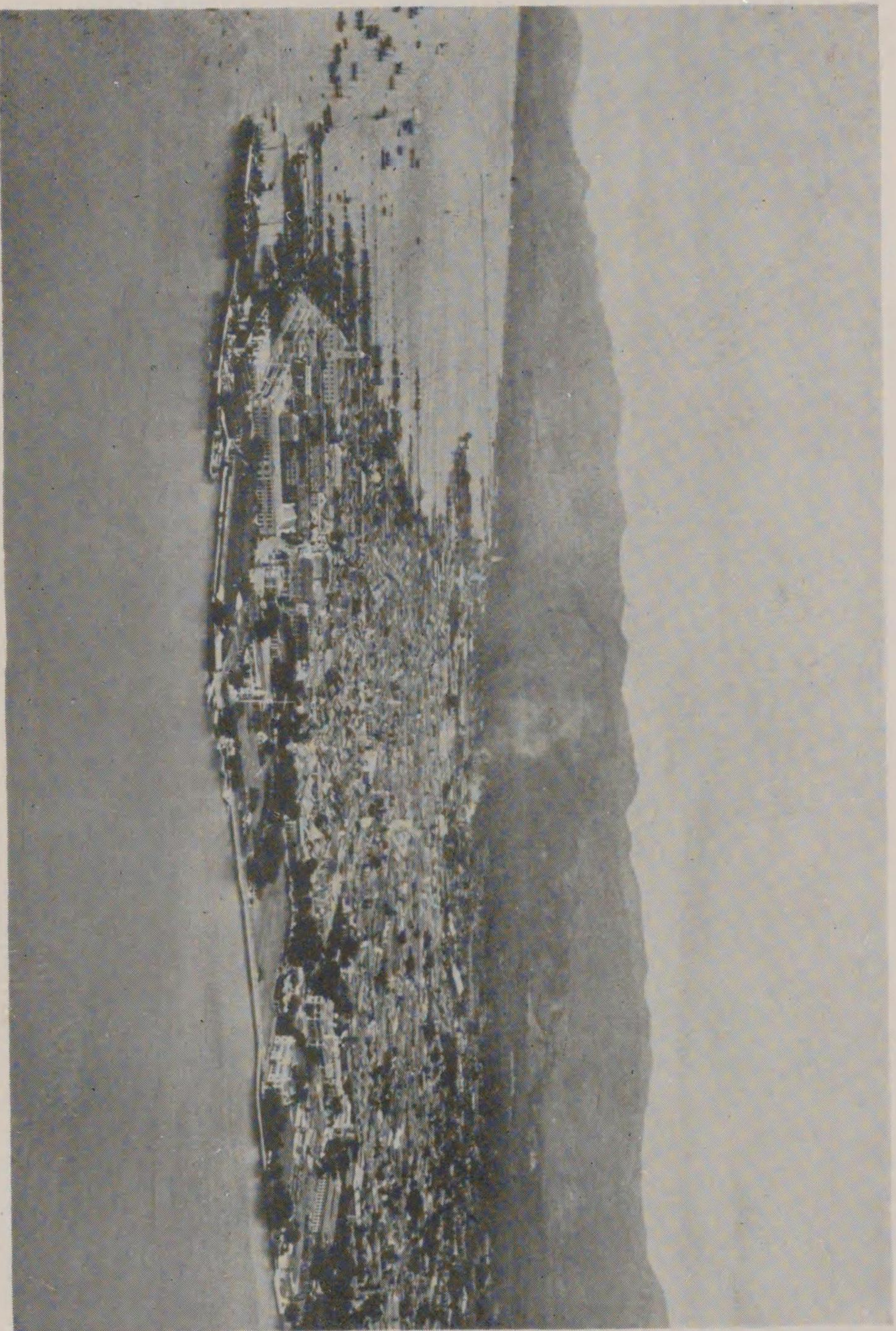


マラッカ古砦

金	林	(長)永	柔道部委員	協	上	大	奥	宮	木	(長)太	水泳部委員	上	大	奥	中	宮
子	田	福		谷	山	島	川	田	村	田	山	村	川	川	村	田
量	重			清		義	正	良	二	又			正	次	良	
作	雄	紳		三	進	里	剛	喜	郎	男		進	廉	剛	郎	喜

(長)佐	藤	山	田	大	町	越	堀	(長)魚	弓道部委員	吉	上	杉	有	(長)石	劍道部委員	小
彰	子	縣	尾	石	野	野	江	住	田	田	藤	田	乙	川	澤	善
男	夫	獅	嘉	金	秀	榮	晴	謹	清	書	四	吉	史	郎	兵	衛
		三	郎	造	司	郎	行	爾	助	雄	郎	郎	郎			

露	檉	(長)吉	圍碁部委員	山	上	志	岡	木	加	(長)岩	文藝部委員	富	中	木	木	石
無	尾	岡		縣	野	賀	本	村	藤	島	永	井	下	谷	田	田
文	七	利		獅	一	四	英	二	德	省	數	次	直	德	元	元
雄	郎	起		子	夫	馬	郎	夫	郎	十	一	馬	郎	藏	一	一



パナマ港大観

マラツカ案内

海峽植民地の一つであるマラツカ港であるが市内人口四二六〇〇人（昭和十二年度）に過ぎぬ小都會、尤も三植民地中、その面積では新嘉坡の三倍近い六四〇平方哩も占めてゐるくせに總人口合計二〇二八二八人（昭和十二年度）といふから、歴史的には廣く世に聞こへてゐるマラツカも今は大した存在とは申せぬ地方港の一つになつてしまつたわけである。

新嘉坡から約一二〇哩、所謂、馬拉加海峽の中段、北緯二度一六、東經一〇二度一三分といふから、赤道の北方一四〇哩あたりの、矢張り暑かるべき邊にある。水が浅いので大船の碇泊に適せず、郵船會社の歐洲航船も近年こゝへは寄港せぬことになつた位であるが、新嘉坡からは或は沿岸航路の汽船、又は列車による不斷の連絡があつて觀光旅行には事缺かぬ上に、元來、馬來半島に於ける歐洲人最初の貿易港であり、東洋に於ける葡萄牙、和蘭、英吉利の三國が數百年に汎つて覇權爭奪をくりかへした地、また、我國への切支丹傳來と深い關係もあつて、遺跡舊墟の見るべきもの多く、洵に史興横溢の處であるから、旅客の故らに杖をこゝにひく者も少くない。「故らに」である。序でに立寄ることは先づ無いところだ。

今から五百六十年ほど前、西曆一三七七年の頃、瓜哇のマヂヤパイト王國（Majapahit）の軍

師が遠くボルネオ、スマトラを攻略した餘勢を以て馬來の地を侵襲した経緯、そのため新嘉坡は全島血潮に染んで山川草木うたゝ荒涼となり、其の最後の王イスカンドル・シヤアが恨みを吞んで辛く戰場を逃がれ、海路を西してサカイ族の郷土、こゝ馬拉加の地に第二の建國をした、といふ話は本書の第一章馬來文化史に詳述しておいたが、その馬拉加といふ地名は當時この海岸一面に菴摩勒（アンマロク）といふ植物が密生繁茂してゐて、これは學名 *Phyllanthus Emblica* と稱し、英人は俗に *Tipsy* ともし又の名 *Malaka* としふに出づといふ説、とに角、當時左様な南溟の一蠻境が十五世紀の初め頃から約二〇〇年、葡萄牙の勢力が急に著るしく衰運に傾いて、和蘭がこれに代る頃までの間、名實ともに歐洲文化の東漸基地として殷賑を極めたわけであり、その和蘭の馬拉加領有約一五〇年の間、漸次景氣が悪くなり、西暦一八二四年に英領になつた後、いよ／＼見込みが無く、遂には一時この地を放棄するといふ決議さへ出来たのをラフス卿の進言で辛く沙汰止みになつたといふほどに振はなくなつてしまひ、其後全く昔日の俤は無く、今では在留邦人數も百名内外に止まり、マラツカ日本人會々員數も僅かに正會員四九名、家族會員四三名、合計九二名といふ寂しさである。

市内には葡萄牙、和蘭時代の古寺遺跡廢墟等、今尙澤山のこつてゐて頻りに遊子斷腸の思ひをそそるが、其の主なるものは次の各所であらう。

聖ポール寺院、

これは馬拉加の征服者アルブケルケの建立で、馬來文化史で述べた西暦一五二一年七月十八隻の戦艦より成る葡萄牙艦隊を率ゐて當地を攻略して幾千の無辜の民を殺戮した罪亡ぼしに敗敵サルタン・ベンダハラから奪ひ取つた金銀財寶のうち、ほんの僅かを濫々吐き出して建てたわけであるが、爾後三百年の星霜風雨を経て今は見るかげもなく荒廢し數基の墓碑徒らに雜草の蔭に埋もれてゐるのを見るのみである。聖フランシス・サヴィエル僧正の遺骸は、其の終焉の地たる支那の上川島からこゝへ齎し歸つて埋葬されたのであつたが一五五三年にゴアに移されて、あと其の舊墓所を記念する銅の碑銘が置いてある。

又、此の寺内には西暦一五九八年二月、日本に於て傳道の歸途、新嘉坡で客死したジェスイット派の僧正、ビショップ・ピーターの石碑も立つてゐる。

クライスト・チャーチ。

これは和蘭領有時代、一七五三年の建立で其の屋根瓦が和蘭式であるのが珍らしい。

聖ヂヨン城砦。

市の東端、聖ヂヨン丘の上に立つてゐる荒城で、和蘭人によつて築かれたものうち今尙残つて

ゐる唯一の砦の趾である。其の備砲が海面の方に向けて無くて、内地陸上に向けてあるのを見ると當時これは外敵の海を渡り襲ひ来るに備へたもので無く、内亂による土人の侵入を恐れてゐたのだと見へるが、この丘上からの展望はすこぶる絶佳で、是非一度は杖をひくべき所であらう。

支那人墳墓。

古い支那寺で Sam Po Kong といふのがあり、其の裏手に Tin Kap といふ支那人の墓があつ有名である。蓋し約四〇〇年前のもので碑面に『明帝』といふ二字が辛ふじて判讀出来るが、傳へ聞くところ、當時の支那移民統治官であつたらうといふ。

和蘭總督府。

今でも昔のまゝに Stadt-Haus と稱してゐて、内に當時の和蘭式武器、什具などを陳列して一般の觀覽を許してゐるが、恰度、臺灣安平のゼーランヂヤ城、プロビンシヤ城の遺跡に臨んだやうな感がする。これは波止場に近く、小さな丘の麓、橋梁に面してゐて直ちにそれと判じ得る一種異様の古建築である。

城門。

右手に海岸をながめながら丘の麓を三四町周ると、そこに和蘭人の築造した城門があつて、二百年の昔を語り顔に寂しく涙びゆく舊市を守つてゐる。

馬拉加を尋ねるには前述の如く汽車も船もあるが、汽車でゆけば新嘉坡を朝と夕、夫々七時に發車する急行に乗つて夕方の五時十分、或は未明四時四十五分といふに着車する。乃ち、走行、まづ十時間であるが、新嘉坡へ歸るにも朝の九時半發と夜の十時半發の急行二列車があり往復とも夜汽車の旅を忍べば、土、日曜かけての遊行も出来るわけで、汽車賃は片道銀十二弗二十八仙、寢臺が銀四弗となつてゐる。

それと、船で行くとすれば新嘉坡からは毎週四回、月、水、木、土曜日、また馬拉加からは毎週四回、月、火、木、金曜日が出帆日である。

まづ馬拉加はこの位で次は彼南の案内である。

ペナン案内

馬來の土名はプロ・ペナン、蓋し、プロは島といふ意味、ペナンは檳榔樹、名詮自稱で全島檳榔樹で被はれてゐる。

公稱は Prince of Wales Island として周廻四十三哩の小島、其の都市を George Town と申して昭和十二年度の市内人口總數一六五四一人、まづ新嘉坡の半分位の面積で、乃ち一一〇平方哩の島に、新嘉坡市の約四分の一の都市があると思つてよい。

ペナンの島の向側、乃ち馬來半島であるが約二九〇平方哩ほどの地積がペナン植民地の管下になつてゐて Province Wellesley と稱しこゝに住む人口一四八四〇五人（昭和十二年度）を合して、ペナン植民地の總人口は三五四三九九人といふことになつてゐる。つまりその内、二〇五九九四人がペナン島の總人口、又その四〇五八三人が市外のお百姓さんといふわけである。

北緯五度二四分、東經一〇〇度二一分、といふから恰度マラッカ海峽の北端、馬來半島ケダ州の海岸で、新嘉坡から約三九〇哩距たつてゐるが、島は丘陵多く、一番高いのは海拔二七〇〇呎もあり、氣候は新嘉坡よりも暑く、乾燥してゐる。

船の碇泊するところは島の東北に位置する前述のジョージ・タウンといふ都市、これが申すまでも無くペナン植民地の首府で、住民の大部分、乃ち約六割三分ほどが支那人、次で馬來人が總人口の二割見當、印度人が一割四分位、残りの大凡百分の三内外が白人、混血人、其他各國人といふわけで、在留邦人の數は約三〇〇人、ペナン日本人會昭和十三年度會員總數は二百十六名と報ぜられてゐる。

ペナン植民地は昔は暹羅の屬國ケダ州領であつたのを一七八六年、英國の東印度會社が年金六〇〇〇圓——六千萬圓ぢや無い、唯の六千圓である——を納れる約束でケダ州から買収し、次で十年ほどして對岸のウエルスレー州一圓も手に入れてしまつたもの、賣りも賣つたり、買ひも買つたり、今から大凡百三、四十年前、恰度我國では人皇百十九代光格天皇の御宇、寛政の末から享和、文化といふ頃で、十一代將軍家齊の治世、正に天下泰平から大變の兆がそろ／＼醸されつゝあつた時代の話である。

かくして西曆一八二六年には此地を英領海峽植民地本廳所在地とし、新嘉坡、馬拉加の兩地と共に其の總督の管下に置いたのであるが、後十年にして總督府を新嘉坡に移し、つまり英國の海峽植民政治本據は馬拉加よりペナンへ、更に新嘉坡へと三度遷つたわけであるが、今は新嘉坡の興隆と共に、また昔日の如き殷盛を示さないけれど尙貿易年額三億弗を超えてゐる一主要海港である。

ペナン港の滞泊は長くて七、八時間、多くて半日位であるから歐羅巴行の通過客は大急ぎで市内外一巡觀光としないと時間が足るまい。尤も遊覽個所もあまり多くは無いやうである。

時間の都合次第であるが、市中見物は割愛しても新嘉坡と大差も無いし、或は歸船の途中三十分も餘裕をもたせておけば、など、いふ考へなら、思ひ切つて直ちにペナンヒルへ鐵道により、又は自動車で登攀すると結構であらう。丘の頂きには Grand Hotel と云ふのがある。又、或は島廻り、

これは約四十三哩であるから二時間も見ておけば怪奇な南島の海岸を一周出来る。

おとなしく市内外の観光だけで満足する諸客なら、見るところは三、四個所より無いから、ゆつくりである。乃ち、

極樂寺。

これは本當の名は黒水寺、馬來語で Ayer Itam 寺、アエルは水、イタムは黒色の意味であるが、埠頭から約四哩、電車で三十分間走れば途中の南島風物を楽しみ観乍ら、すぐに極樂へ着く仕かけになつてゐる。

別に驚くほどの結構でも無く、阿彌陀經に出てゐるやうな有り難かりける次第でもないが、當地に寄港して此のお寺に極樂參りをせぬといふやうな量見ではお話にならぬ。曾て東郷さんも乃木さんも參詣されたところ、其の署名が扁額に装して一室に掲げてあるのも見落さぬやう、

蛇寺觀音。

スネーク・テムブルといふ名で知られてゐる觀音堂、本堂から前庭、ところせまきまで大小無数の蛇がゐるので一寸グロであるが、支那人の女の子に言はせると頗るエロだとの事、元來、はじめは女の子の良縁願かけのお寺であつたとも傳へられ、いろ／＼怪奇な傳説もあるやうだ。お人によつては見度くもあり、見度くも無い蛇寺ながら、やはり一つ思ひ切つて見て來ることせう。

植物園。

これは時間が惜しかつたら割愛しても悔み無き凡園、新嘉坡のを見て來た以上、行つてみるもよし、見ぬ人も多い。小高い丘の山腹にあつて天然の景色を利用し、又、園内に小瀑布などあつて風致を添へてゐる。

Khoo Kongsi House

これは昔ながらの支那人商館がそのまゝに保存されてゐるもので一見の價値があらう。
回教寺院。

Captain Kling 街、Acheen 街に回教の寺院があるが、これ亦、時間の都合次第で途中下車かも知れぬ。

ペナン市内外の見物、あら／＼右の如くであるが、尙、念の爲め當地で離船され暫時滞在とか、或は暹羅方面などへ旅行さるる諸客のために多少の旅行案内に及ぶとすれば左の様な諸項も差當りの御参考とならうか。

盤谷行鐵道。

ペナンの對岸、馬來半島の Prai 驛から盤谷へ毎週二回、兩地互發の急行列車が通つてゐて、其

の金曜日午前九時四十分ペナン發車のものは食堂車、寢臺車も連絡されてゐるし、途中乗りかへも不要、駛走三十四時間で土曜日の午後八時にはバンコックに着く。又、も一つの急行は食堂車、寢臺車の連結あることは前と同様乍ら、途中 Padang Besar 驛で乗換へがある點、ちと面倒であるが、これはペナンを月曜日の午前九時四十分發車して火曜日の午後八時バンコック着となるものである。

蘭貢、甲谷陀行汽船。

郵船會社の甲谷陀航路船によらず、新嘉坡又はペナンから英印汽船會社、乃ち俗にB・Iと呼ぶ白二引きの煙突の船、これでゆけば新嘉坡發が毎木曜日、ペナン出帆は土曜日の早朝である、

新嘉坡へ。

ペナン、新嘉坡間は一日二回兩地互發の急行列車あること前述の如くである他、海峡汽船會社の沿岸航路船が不斷に來往して些かも不便が無い。唯、郵船會社の歐洲航船が復航ペナンに寄港せぬのが長途の旅客には物足りぬ觀もあらう。

市内には

Eastern & Oriental Hotel (322)
Runnymede Hotel (543)
New Springtide Hotel (60)
Pritchard's Restaurant (335)

などの諸ホテル及び食堂があり、又、ペナン・ヒルには前述のクラグ・ホテルがあるが、邦人經營のものとしては

松屋旅館
朝日館
日本ホテル
ブリチツシュ・ホテル

などいふものがあるが、何れも市の中心商業地ビーチ街にあつて買物にも觀光にも至便である。支那商店は主としてキヤムベル街に集中してゐるが、まづ買物はこの二街を一巡りすれば間に合はふ。

旅券査證局、移民局は King Edward Place に一つの廳舎内にあつて關係事務を取り扱ひ、其の電話番号は、九一九番である。

ペナン市には我國の領事館は無い。

これでまづ三海峽植民地の事情一般、大凡述べ終つたつもりであるが、何分この小冊子であり、充分詳細に御案内出来ぬことを遺憾と存じ、これでも多少の御役に立つたら編輯同人の欣倖これに過ぎぬものであることをも、一度申上げて筆を擱くであらう。

馬來日用語百句集

元よりも言靈コトクマノサキハフクニ乃幸延國と呼ばれる有り難いところに生れて来た我等である。何を好んで異狄の言葉など學ぶの要あらむや。といふのも一ト理屈であるが、其の尊い神ながらの大和言葉、敷島の道などに一向たしなみの無い馬來人や印度人、白人や支那人を對手の御當地へ来ては、寔に心外千萬ながら矢張り暫し節を屈して蠻界の言葉を用ゐるの他あるまい、是非に及ばぬ次第である。チエスト！

で。以下少しばかり。

實はこの邊で少々編輯同人日ごろのウンチクなるものを若干傾けてみせ度いのであるが、紙數に限りあり、ウンチクにも亦限りがあるので思ふまゝにならぬのは残念である。

但し、わが日本語は其の父系語のあるものがウラル・アルタイ語から出てゐるといふこと、又母系の言葉中に澤山のマライ語が這入つて來てゐる事實だけ位は再認識しておき度いと思ふ。それは必ずしも、アダム、イヴのイヴがチュートン語のウキープ、乃至ワイブの語源であり、英語でイヴニング、或はワイフといふやうに轉訛したと同じやうに、馬來語の、例へば「喰べる」マカレン、「喰べもの」マカナレンから我が「臺所」マカナイといふ言葉が生れたといふ如き穿鑿は春の日永のまたの機會にゆづるとしても兎に角、我等日常、何氣なく用ゐてゐる俗語中、一體全體何んの意味やらわけのわからぬ言葉が多くは外來語、特に馬來語源から來てゐるらしいことは否めまい。勿論、和蘭語、葡萄牙語、西班牙語や佛蘭西語なども近世二三百年の間に澤山這入つて來てゐて、ビードロ、ギヤマン、カツパ(上衣)、シャツポ(帽子)あたりから何百何十の外國語をそのまま接收利用し來つたわれ等の父祖である。それ以前に支那語や馬來語がどれほど這入つて來ても毫も驚かすに、どしどし貫つておいたに相違無く、しかも我等の語學に於ける天才なる、觀るほどの文化、聽くほどの言葉をすぐにそのまゝ馴化してしまつて忽ちわが藥籠中の秘材としてしまふこと、例へば和蘭語の日曜日ゾーレンダグをドンタクとして用に供するに止まらず、更に土曜日を半ドンと稱するに至る抜け目無さ、モガ、モボ、乃至、別珍ベチン足袋、ス・フの友——はてな？——などいふ新熟字さへ創作する國民なのだ、神代以來まことに因縁淺からざる馬來語が知らず／＼の間に我等の言葉に這入つて來てゐたつて何も不思議はあるま

す。

御高説拜聴しまして、豫じめすつかり感服仕つたが、第一、その「すつかり」が馬來語だ。用事は濟んだかね？ と問へば馬來人は「すつかり濟んだ」と答へるであらう。馬來語のスダといふ言葉、ナンテといふ助動詞、この二つは便利だ、前者は動詞を過去型となし、後者は未來型、喰べる、喰べた、喰べよう、まことに簡單、すべて此の調子でよい。

スダは又、單獨にこれを用ゐて「よろしい」の意味に、それからナンテは命令法に用ゆると「一寸待て」になる。

大體この邊で使つてゐる馬來語なんでものは本場のアラビヤ語に對しては不肖の豚兒であつて、文法も糸瓜も無い唯やたらに入要な言葉を重ねてゆくだけの事、遍へに羞かむこと無くブロークンで片付けてしまふに限るので、日本あたりに來る觀光外客が太平洋横斷二週間足らずの間に速成のテニオハ抜き「オレンヂの皮を剥いてください」と言ふところを、ミカン、キモノ、サヨナラとやつてのける頓智で間に合ふといふものだ。

先づ船を降りて自動車だが、蟻の甘きに寄るが如く

「自動車、要るか？」と來るだらう。

「幾らだね？」と聞けば、

「二時間、三弗」と答へるかも知れぬ。

「高いぞ。二弗半でよからう」

ステインガは半分といふこと。ウキスキーとソーダを半々（で無くとも）混ぜた奴、英語で Beer といふのは其のエチモロジイを知らぬが、こゝでは Stingah とよぶ。覚えてゐてよい言葉の一つであらうぞよ。

市中見物に、これだけは知つておくべし、といふ言葉を百ばかり並べてみやう。發音は小六づかしい話を抜きにして東京辯のペランメー式實用一方の假名遣ひで、多少心もとないところは似よりのヘボン式ローマ字を併記しておく。元來、語學の研究ぢや無い。間に合ひさへすれば乃ち足る、時折は間に合はなくとも無理に間に合はせてしまふ心臓力でゆくのすぞ。えゝかな。

(近似發音)

(參考)

- 一つ サト Satu
- 二つ ドア Dua
- 三つ テイガ Tigah
- 四つ アンパ Ampa(t)
- 五つ リマ Lima

- 六つ アナム Anam
- 七つ トッヂユ Tujoh
- 八つ ラパン Lapan
- 九つ スミラン S'm (b) ilan
- 十 ス、プロ S'puloh
- 十一 ス、ブラス S'blas
- 十二 ドッアブラス Dua Blas
- 十三 チィガブラス Tiga Blas
- 十四 アンパブラス Ampa Blas
- 十五 リマブラス Lima Blas
- 二十 ドッアプロ
- 三十 ティガプロ
- 三十五 ティガプロリマ
- 五十六 リマプロアナム

- 八十七 ラパンプロトヂユ
- 九十八 スミランプロラパン
- 百 ス、ラトス S'ratus
- 二百 ドッアラトス
- 三百六十五 ティガラトスアナムプロリマ
- 千 ス、リブ S'rib

- 五個 リマ、ビジ Lima Biji
- 六弗 アナム、リングィ Anam Ringi(t)
- 二十五仙 ドッアプロリマ、セン 25 Sen
- 呉れ給へ カシ Kasi

といふ字を動詞に附けてよく使う。
 見ろ テンゴ Tenggo
 見せてくれ カシテンゴ

返す(歸る) バレ Baleh
 返へせ(歸へせ) カシバレ
 理解する タウ Tau
 言つてきかせろ カシタウ
 喰べる マカン Makan
 喰はせる カシマカン
 飲む ミノム Minom
 飲ませろ カシミノム
 減ずる コーラン Kohlan
 割引しろ カシコーラン
 値段が高いから少し^{ハルガ}負ける^{シキコーラン}といふときは、カシコーランでもよいし、
 負ける タワル Tawar
 負ける カシ、タワル
 といふ方がピンと来る。
 値段 ハルガ Harga

高い マハル Mahal
 安い ムラ M'ra
 もつと ラギ Lagi
 もつと安い ラギムラ
 もつと安い奴 ラギムラプニャ Lagi-M'ra Pnyra
 要らぬ タ・マウ Ta-Mau
 買はぬ ティダ・ブリ Tida-Buri

馬來語では肯定を Ya (Saya の略語)と言ひ、否定は Tida (特に約して單に Ta)で表はす。

然り ヤー
 否 ティダ
 である。従つて
 要らぬ ティダ マウ
 知る タウ Tau
 知らぬ タ・タウ Ta-Tau

よろしい	バイ	Bai
悪るい	タ・バイ	Ta-Bai
可能	ボレ	Boleh
不可能	タ・ボレ	Ta-Boleh

喰べられない タボレ・マカン
 喰べ度くない タマウ・マカン

といふ調子で四通八達である。存外面白い言葉でせう。ね？ では、も少し、「も少し」は、ラギ、シキ Lagi Siki (t) と云ふ。ラギが「一層」とか「尙これ以上」の意味である。

もう此れ以上飲めぬ。 タマウ・ラギ・ミノム
 もう何も喰べ度く無い。 タマウ・マカン・アパアパ・ラギ

アパアパとは何物も、といふ意味、アパは何 (what) の意味だから
 何が欲しい？ アパマウ？ Apa mau?

これがアパアパと重なると Whatever の意味で、馬來語では凡て複数型は名詞を二つ重ねるか、又は數詞で判断させる。これは日本語とよく似てゐて

人	オラン	Oran(g)
三人の人	ティガ・オラン	Tiga Orang
人々	オラン・オラン	Orang-Orang

となる。

だから日本語で我等日常使用して毫も怪しまぬが何とも意味のわからぬ重ね言葉、たとへば、

着物がボロボロだ、
 キチキチで這入らない。
 キラキラ光る。

ゴソゴソやつてる。

などいふ形容詞又は副詞は何れもそのまゝ馬來語でも同意味の言葉であつて、破れはてた布は即ちカイン・ボロボロと稱するし、キチキチは恐らくキチルキチルで小さいといふ意味、キラキラ亦そのまゝの形容詞、ゴソゴソは摩擦する、こする、といふ意味なのである。

布	カイン	Kain
着物	バヂユ	Baju

腰巻(馬來人の)	サロン	Saron(g)
上衣(馬來人の)	カバヤ	Kabaya
帽子(馬來人の)	ソンコ	Sonko
靴	カソ	Kaso(k)

小さい、といふことをキチ Kichi(1) としふことは前申す通り、それで大きいといふのは、プサルといふ。形容詞は凡て名詞の次に來ること佛蘭西式だから

小さな荷物	バランキチ	Barang Kichi(1)
大きな船	カパルブッサル	Kapal Bissar
白人	オランポテ	Oran(g) Poteh
赤い家	ルマ メラ	Ruma Mera

ルマは多分英語の Room から來たのかも知れない。で、病氣のことをサキといふのも英語の Sick が語源らしい。

病院	ルマ サキ	Ruma Sacki
それから		
學校	スコーラ	Skola

も勿論歐洲語から來たものである。

美術館、博物館、圖書館などのことをスコラ・ガンバル Skola Gambal としふが、ガンバルは元來繪のことで、寫眞屋さんの店を

トコ・ガンバル Toko Gambal

トコといふのは店であるが多少立派な奴、乾物屋や小雜貨店はケダイ (K'dari) としふ。どうも甚だ漫然たる書き方で實用向きで無いやうだ、その上、かくの如く出放題に筆を進めてゐては限りが無い。あとは最も普通にお役に立ちさうな言葉を五六十並べておくことに致さう。

先づ代名詞。

これは馬來語では一人稱と三人稱は常に不安無く使つてよいが、二人稱は多く其の本名とか職名を用ゐたが安全である。小六づかしい尊卑の別を間違へて殿様をつかまへて「おめへ」などと呼びかけたり、乞食の子に「あなたさま」も妙なものだ。

即ち、		
私	サヤ	Saya
	私達	Kita
彼	ディヤ	Dia
	彼等	Diaya

は安心して使へるからよしが、

汝	アワ	Awā
貴君	アンカウ	Angkau
てめえ	ルー	Lu

などは一切、やめて

運びやん	サイズ	Sais
巡査	マタマタ	Mata Mata
門番	チャガ	Jaga
小使	タンベ	Tamby
給仕	ペオン	Peon
ボーイ	ボーイ	Boy
旦那	トワン	Tuan
奥さん	メン	Mem
お嬢さん	メッシイ	Messi
學校先生	グル	Gru

校長さん	グル・ブサル	Gru Bissar
お医者さん	ドクトル	Doktor
齒醫者さん	トカン・ギギ	Tokkan Gigi

トツカン (Tokkan) と *an* のは總て技術者乃至工作者と *an* ことで、Tokka が交換すると *an* 意味 *an* は名詞や動詞から動因の名詞を作る接尾語である。乃ちこれを

年齢	トア	Tua
旦那	トアン	Tuan
老人	オラン・トア	Oaring Tua

の例に見られ度く、或は

喰ふ	マカン	Makan
食べもの	マカナン	Makanan

といふ一例も前に述べたと思ふ。だから、

コツク	トツカン・マサ	(Masa 煮る)
大工	トツカン・カユ	(Kayu 木)
藥屋	トツカン・オバ	(Oba(t) 藥)

鍛冶屋 トツカン・ブシ (Bsi 鐵)
鋳屋 トツカン・マス (Mas 黄金)

などいふ調子である。

庭師のことは Tokkan Kobin といふが、多くは略して單にコブン、南洋へ來ると誰れでも乾兒こがえの一人位は飼つてゐる次第だ。

これ等の代名詞に動詞を直結して、どしどし使用して憚らないのが馬來語

私は行く サヤ・プギ Saya Pegi

我等歸らんと欲す キタ・マウ・ブレ Kita Mau Bareh

お嬢さん、あなたは何を求むるや? メツシ・アプ・マウ

彼氏それを知るや? ディヤ・タウ・カ・イト

イト (Itu) は「それ」、イニ (Ini) が「これ」、シニ (Sini) は「此處」、シヤパン (Siapa) は「誰れ」の意味であるから、

誰れだ? シヤパ・イト? Siapa itu

これは幾らだ? ブラパ・イニ? Brapa ini

こゝへ來い マリ・シニ Mari Sini

何處へゆく? マナ・プギ? Mana Pegi?

といふ工合に使ふ。「何處」はマナ (Mana) である。

名詞。

早速御入用かと思ふ名詞を少し並べると、

今日 イニ・ハリ 今晚 イニ・マラム

昨日 スマラン

明日 ベソ 明朝 ベソ・パギ

明後日 ルサ

朝 パギ 毎朝 パギ・パギ

午後 パタン

夜 マラム 先晩 イト・マラム

即刻 スカラン

時 チヤム 時計 チヤム

一寸の間 シキ・チヤム

時間を言ふには、幾點鐘といふ工合、打つといふ字を使つて

五時 プコル・リマ P'kol Lima

八時半 プコル・ラパン・スティンガ

といふ調子。今何時かネと問ふには

プコル・ブラパ? P'kol Brapa?

でよい。おながが空いたら

料理屋 ルマ・マカン Runa Makan

支那料理 マカン・チナ

日本料理 マカン・ジボン

洋食 マカン・オラン・ポテ (白人食)

これでわかる。宿屋ならホテルの名を言ふか、或はルマ・テドル。Tedol は寝る事だ。

日本旅館 ルマ・テドル・ジボン

船 カパル。 埠頭 デエティ

船へ歸り度い。サヤ・マウ・バレカ・カパル

其他、覚え度ければ

犬 (アンジン)。 猫(クチン)。

象 (ガジャ)。 水牛(ケルバウ)。

馬 (クダ)。 豚(バビ)。

猿 (モニエ)。 鰐(ボアヤ)。

蜥蜴(ビヤワ)。 蛇(ウラ)。

鳥 (ブロン)。 雞(アヤム)。

鳩 (プナイ)。 魚(イカン)。

それから馬來語では御飯のことをナシ (Nasi) と呼び、お茶はテー (Teh) である。又、お菓子
はクキ (Kuei)、魚は前記の如くイカン (Ikan) だから、そこで、腹を空かしてお寺の坊さんを訪
ねたら折悪しく留守だつたといふお話。

人はオラン 魚はイカン 飯はナシ

お茶のミノムテー 菓子をクキけり。

Minom とSふのは飲むといふこと、水飲むと覺えるがよいです。也。

人 (オラン)。
白人(オラン・ポテ)。
男 (ヂヤンタン)。
女(ブロンパン)。
夫 (ラキ)。
妻(ビニ)。
子供(ムダ)。
友達(カワン)。
名稱(ナマ)。
種族(バンサ)。

太陽(マタ・ハリ)。
涙(マタ・アエル)。
眼 (マタ)。
探偵(マタ・グラプ)。
眼鏡(チリメン・マタ)。
硝子(チリメン)。

月 (ブラン)。
雨(ウヂヤン)。
風 (アンギン)。
散歩(マカン・アンギン)。
花 (ブンガ)。
果實(ブア)。
海 (ラウ)。
海賊(オラン・ラウ)。

水 (アエル)。
氷(アエル・バト)。
石 (バト)。
哩標(バト)。
五哩(バト・リマ)。

陸 (タナ)。
川(スンガイ)。
島 (プロ)。
岬(タンヂオン)。
山 (グノン)。
丘(ブキ)。
都市(コタ)。
部落(カムポン)。
家 (ルマ)。
道(ヂヤラン)。
木 (カユ)。
草(ダウン)。

此の道は何處へ出るか カマナ・ヂヤラン・イニ?
それから動詞を少しばかり。
歩む(ヂヤラン) 行く(プギ)。
來る(ダタン) 歸る(バレ)。
在る(アダ) 無い(タダ)。
買ふ(ブリ) 賣る(ヂョアル)。

書く	(トリス)	切る	(ポトン)
縛る	(イカ)	包む	(ボンコス)
好む	(スカ)	嫌ふ	(タダ・スカ)
入る	(マソ)	出る	(クルアル)
止る	(ブレンテイ)	待つ	(トンゴ)
捕へる	(タンカプ)	捜す	(チャリ)
盗む	(チュリ)	逃げる	(ラリ)
寝る	(テドル)	言ふ	(チャカプ)
使用する	(パケ)	持参する	(アンビル)
手渡する	(バワ)	與へる	(カシ)
伴れて来る	(パンギル)	終る	(ハビス)

右等の動詞は皆所謂 Infinitive の形であつて、そのまゝ命令法に用ゐ、これにスダ或はナンテイを前置すると過去型、未來型となること、前に述べた通りである。

形容詞として常用のものは、

白い (ポテ) 黒い (イタム)

青い	(イヂヤウ)	赤い	(メラ)
黄色い	(クニン)	汚ない	(コツトル)
美しい	(チャンテ)	眞つすぐ	(トロース)
眞正の	(ブツトル)	嘘偽の	(ボホン)
大きい	(ブツサル)	小さい	(キチル)
多い	(バニヤ)	少ない	(シキ)
良い	(バイ)	不良の	(タ・バイ)
高價の	(マハル)	安値の	(ムラ)
新らしい	(バル)	古い	(ラマ)
遠い	(ヂヤオ)	近い	(デツカ)
長い	(パンヂヤン)	短い	(ペンデ)
熱い	(パナス)	冷たい	(スヂユ)
同じ	(サマ)	異つた	(ライン)

など、又、副詞は

早く	(ラツカス)	遅く	(プランプラン)
未だ	(ブロム)	未だ寝ない	(ブロム・テドル)

上	(アツタス)	下	(バワ)
前	(デパン)	後	(ブラカン)
右	(カナン)	左	(キリ)

斯の様な (イニ・マチャム) あの様な(イト・マチャム)

この位で間に合ふと思ふ。形容詞も副詞も凡て主詞の後に來ること佛蘭西語に似てゐるが、ブロムといふ字は、ブロム・ダタン(未だ來らず)の如くに使ふこと前例の通りである。ブロム・ディタ・ダタンとは言はない。

右述べただけで凡そ二百五、六十の單語片句を御紹介してゐるが、實は筆者等短かくも數年、或は十數年以上も馬來の地に居るくせに、此の上あまり多くの馬來語を知りもせぬし、又、必要ともせぬので、あとは頓智と蒭蕘問答で結構間に合はしてゐるわけなのである。又、新嘉坡の馬來語は元來一種の信號であつて七六づかしい文法などに拘泥せぬから、新語も合理的に創作して一向あやしまない。前に申した通り、氷は石になつた水といふわけでアエル・バトと稱し、飛行機は空飛ぶ船と考へてカパール・トロバン、阿呆は脳味噌が足るまいから二階は留守といふのでカパラ・コソンといふ調子、Kaparaは頭のこと、大將のこともカパラ、うちのカパラのカパラはコソン、なると歌もある。村長がカパラ・カムボン、船長がカバラ・カパール、あゝ、やゝこしい。いや大儀大

儀。

朝夕の挨拶は時と所と對手を問はず一律にタベ (Tabeh) で済ませてしまふ。御丁寧に申せば、タベ・トアン (旦那御機嫌よう) タベ・メン (奥様今晚は) と對手の尊稱を添へる。勿論、さよならもタベであり、お休みなさいもタベだ。

スラマ (Samat) といふ言葉もよく聞くがこれは「お静かに」といふところ。

スラマ・ヂヤラン・ヤ 氣をつけて行きなヨ。

スラマ・テドル・ヤ 變な夢など見るでねえだヨ。

などいふのが矢張りあるんでござアます。

では、この最後に申述べた二句をさゝげて、以て編輯同人、心からの御挨拶と致し、御安航を禱り上げつゝ亂筆の稿を閉ぢることに致さう。ごめん。

(終)

主要参考文献一覽

臺灣總督府官房外務部編

南洋年鑑(第三版)

外務省通商局編

在外各地在留邦人職業別人口表

南洋協會編

南洋(南洋協會雜誌)

臺灣總督府官房外務部編

南支那及南洋調查輯

南洋及日本人社編

南洋の五十年

西村竹四郎著

在南三十五年

大内恒著(東京帝國大學理學部。動物學會)

馬來半島の動物。(一、二)

新嘉坡日本人會編

會報(第二十三號)

在外指定新嘉坡日本小學校編

學校要覽

ANNUAL DEPARTMENTAL REPORTS OF STRAITS SETTLEMENTS.

ANNUAL DEPARTMENTAL REPORTS OF FEDERATED MALAY STATES.

BLUE BOOK, (Annual), Straits Settlements Government.

DOMINION OFFICE AND COLONIAL OFFICE LIST.

F. M. S. GOVERNMENT YEAR BOOK AND MANUAL OF STATISTICS.

HANDBOOK TO BRITISH MALAYA. Capt. R. L. German,

GOVERNMENT GAZETTE, STRAITS SETTLEMENTS.

GOVERNMENT GAZETTE, FEDERATED MALAY STATES.
 MALAYAN STATISTICS.
 SINGAPORE AND MALAYAN DIRECTORY.
 MALAYA. R. O. Winstedt,
 MALAYAN YEAR BOOK (1936, 1937)
 SINGAPORE. Singapore Rotary Club,
 BRITISH MALAYA FOREIGN IMPORTS AND EXPORTS (Annual).
 SINGAPORE GUIDE. Wilks,

執筆者紹介 (イロハ順)

交通、通信、旅行案内。

日本郵船株式會社新嘉坡支店

(編輯長) 岩 島 省 一

通 貨。

橫濱正金銀行新嘉坡支店

村 田 久 二

動物分布。衛生。統計。文化史。

新嘉坡日本人會長

(監修) 大 内 恒

貿易。産業。

新嘉坡、岡本公司

岡 本 英 夫

在南邦人活動狀況。みやげ物。

新嘉坡、加藤洋行

加 藤 德 十

文化史。植物分布。地理。地勢。歴史。教育。

新嘉坡、日本小學校訓導

上野 一馬
同 山縣獅子夫

人種。人口。新聞。馬來語。

新嘉坡日報社

(校正) 木村 二郎

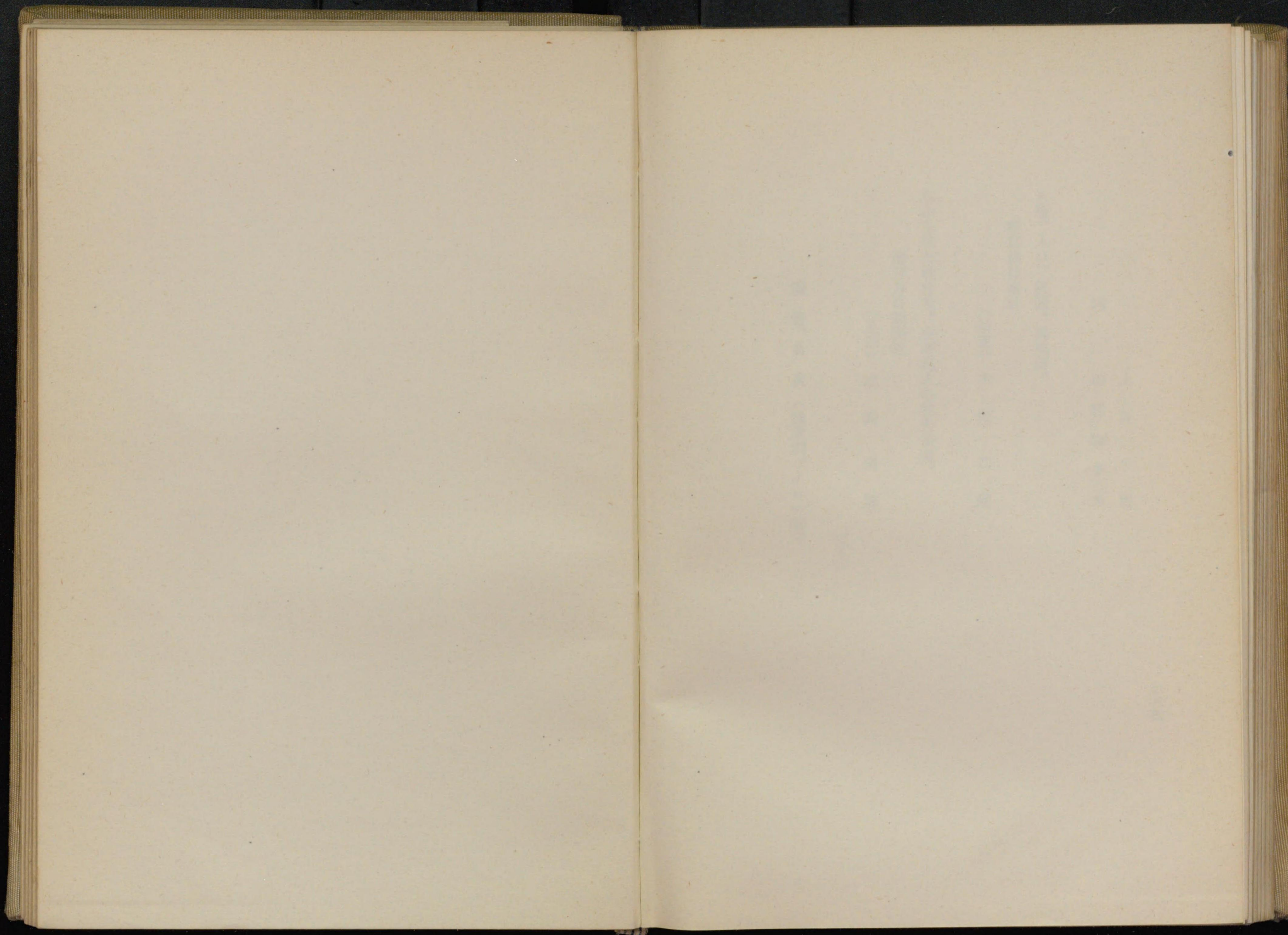
空から見た新嘉坡。在南邦人の三大事業。

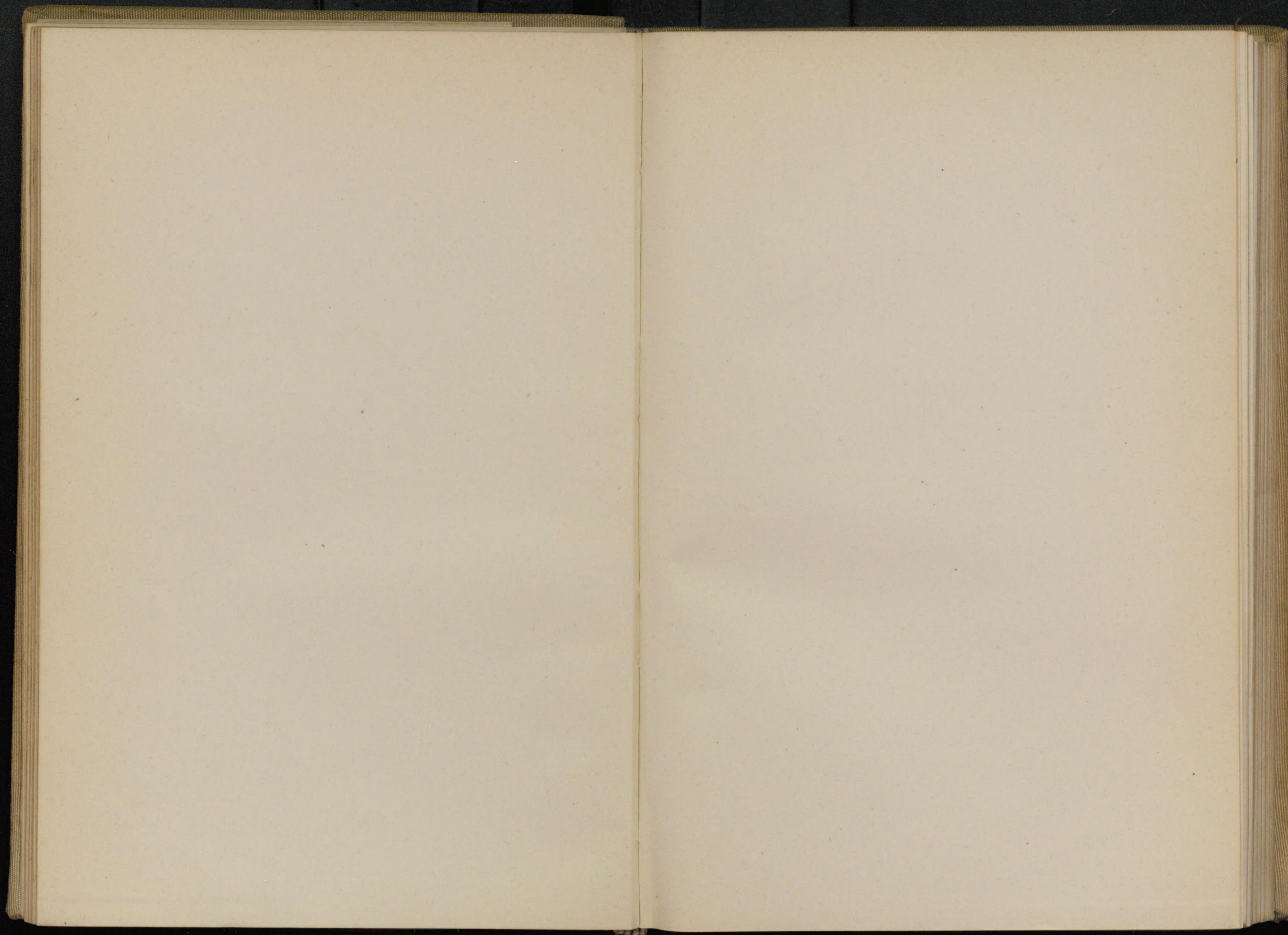
南洋日日新聞社

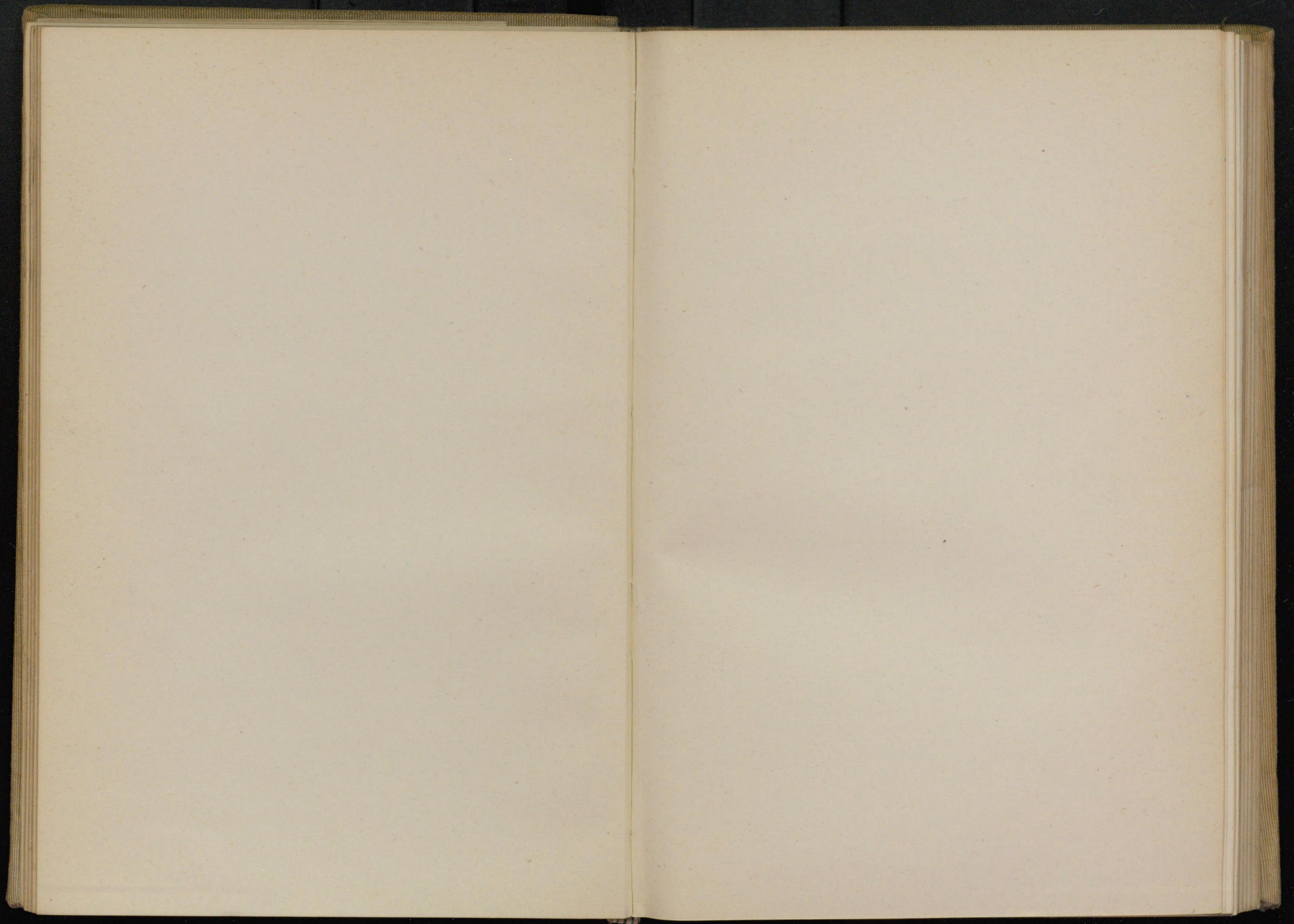
(正誤) 志賀 四郎

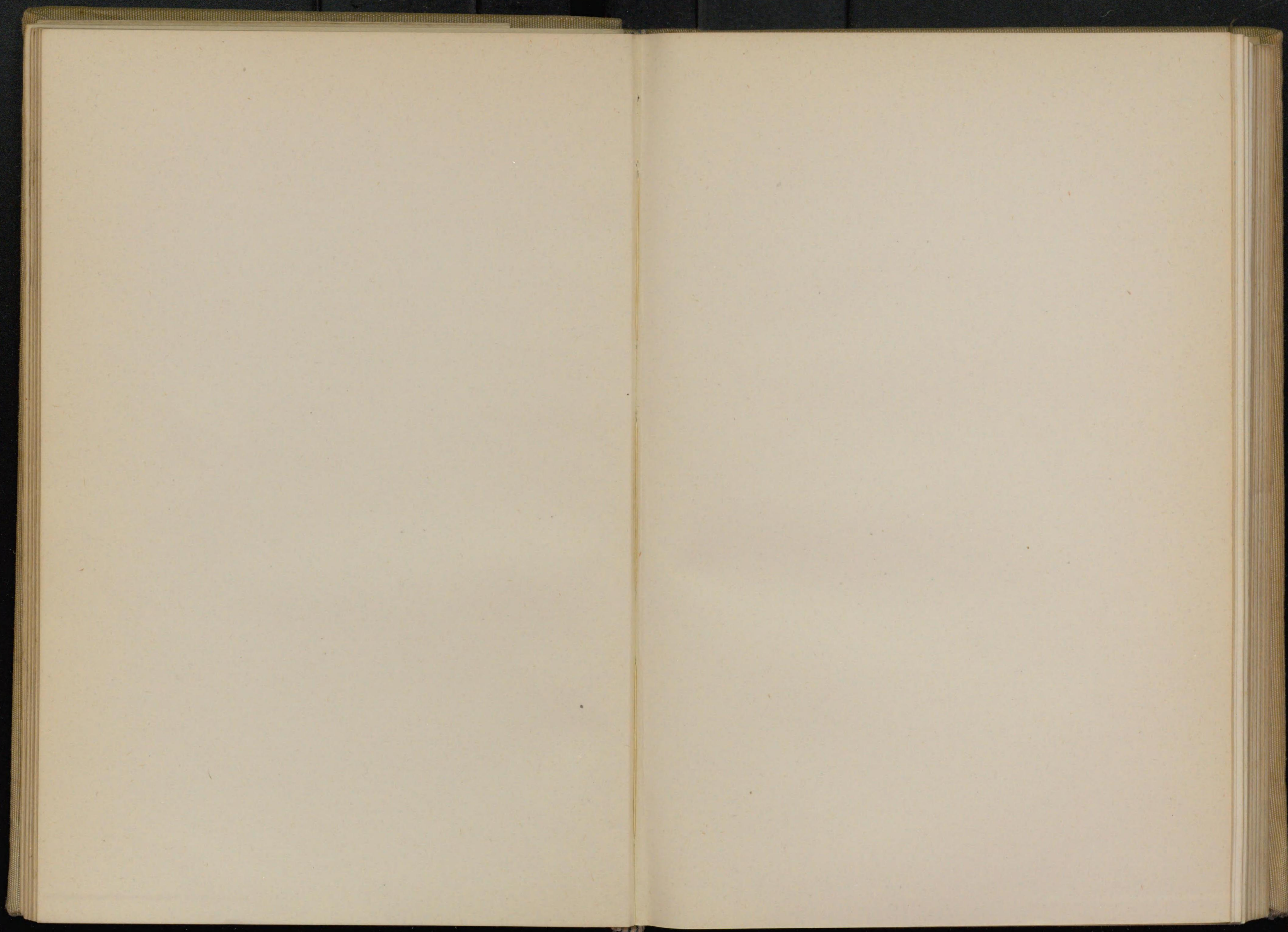
(以上)

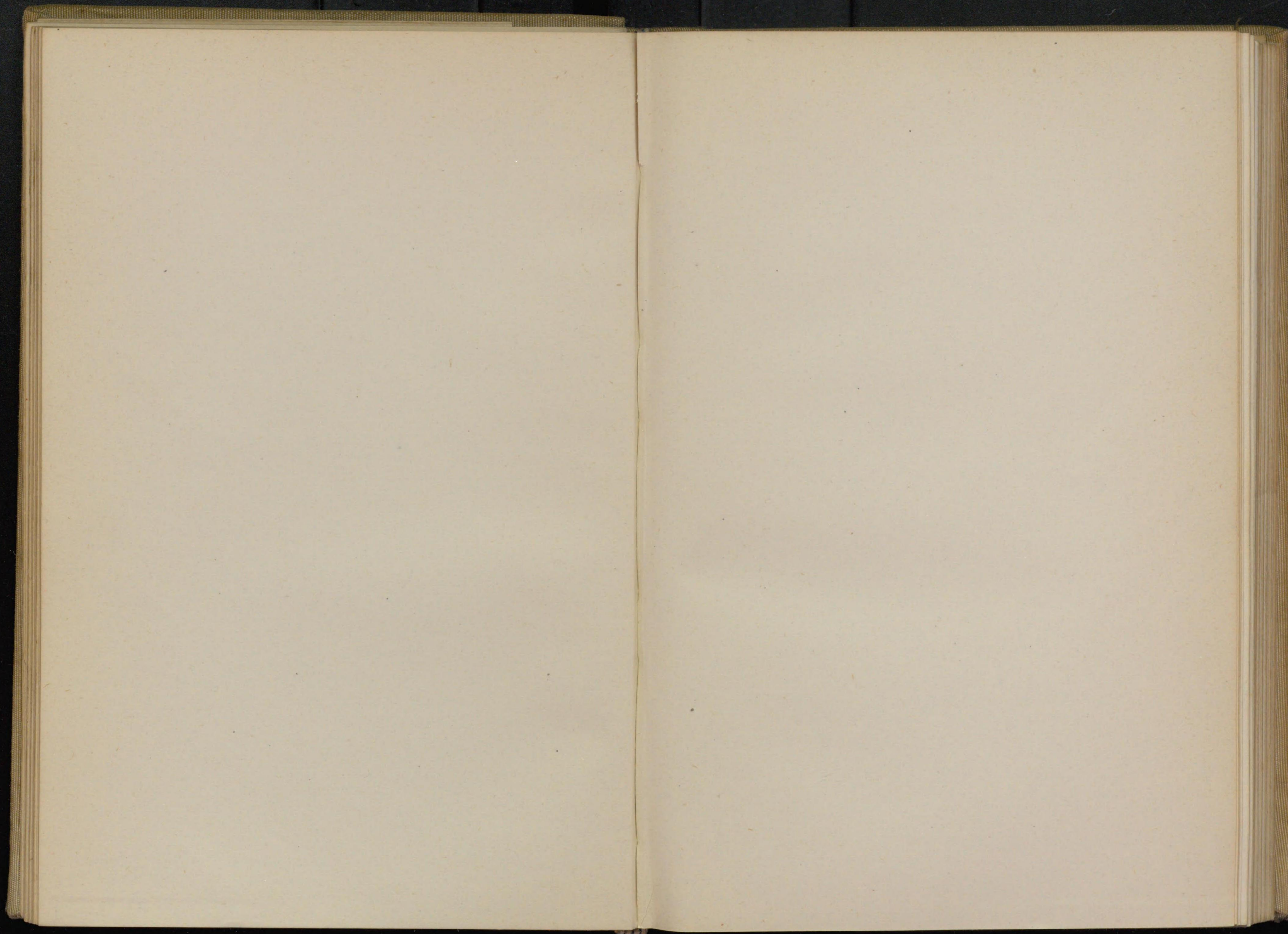
廣告。目次 (職業別。イロハ順)

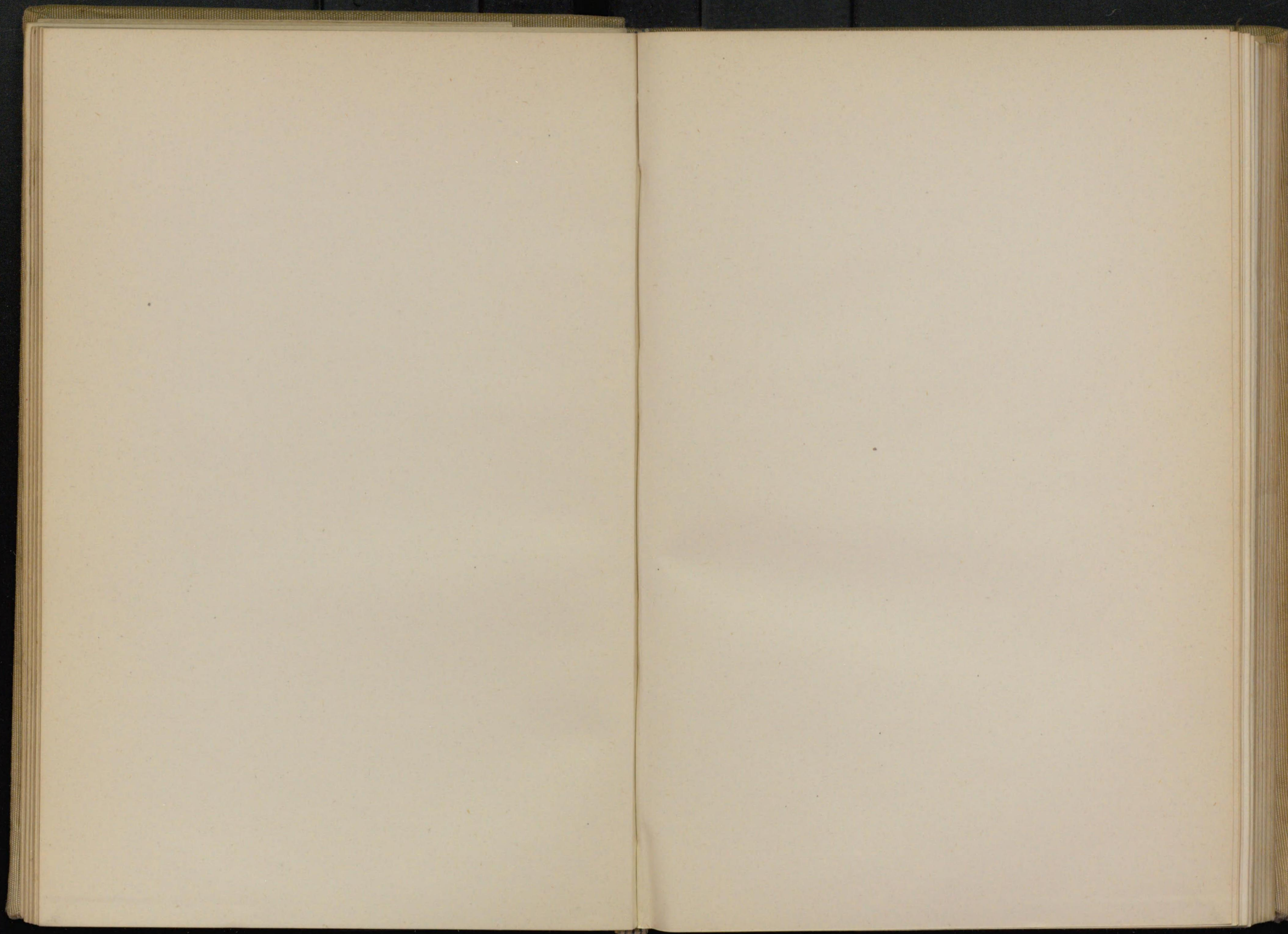


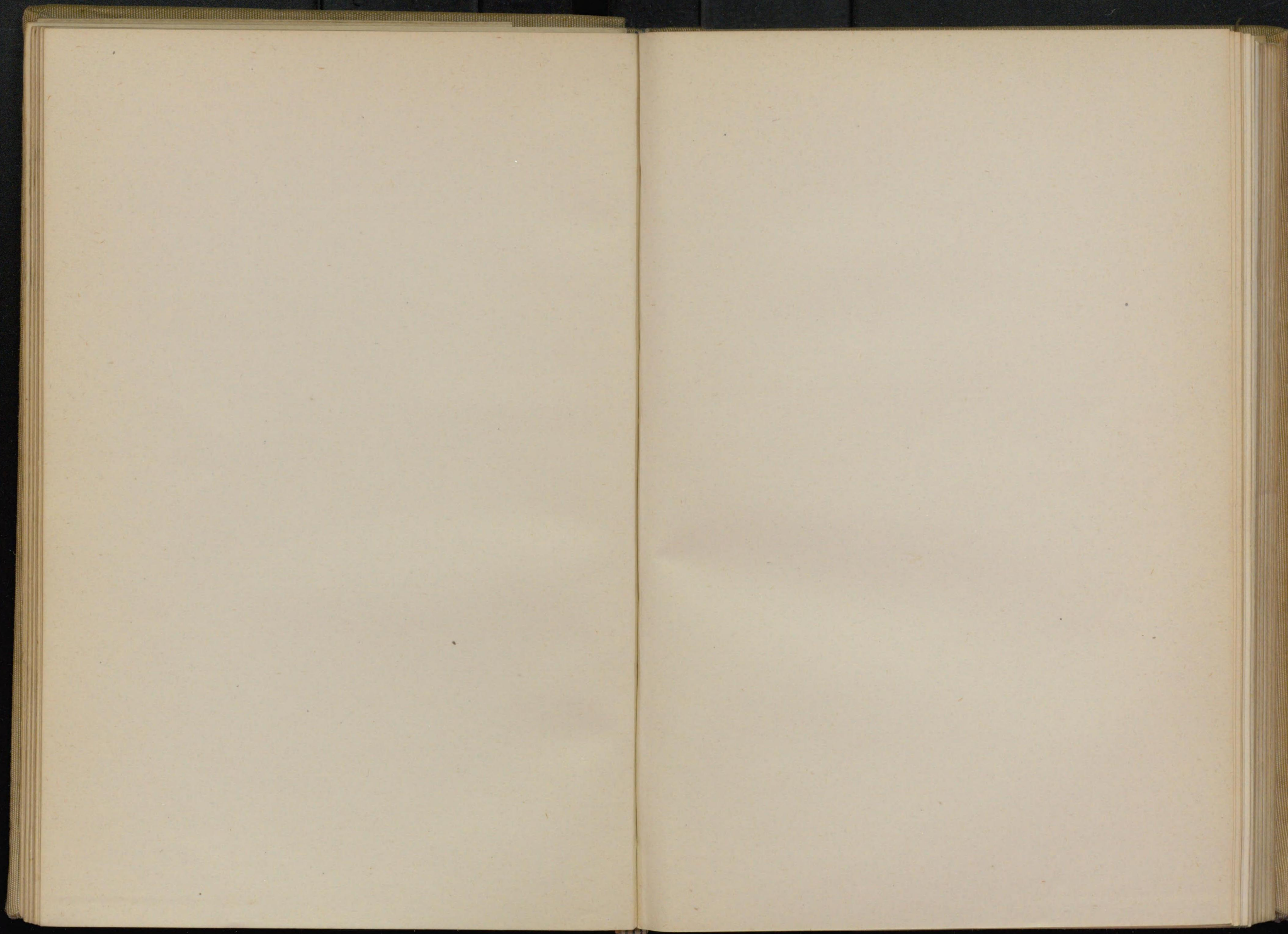


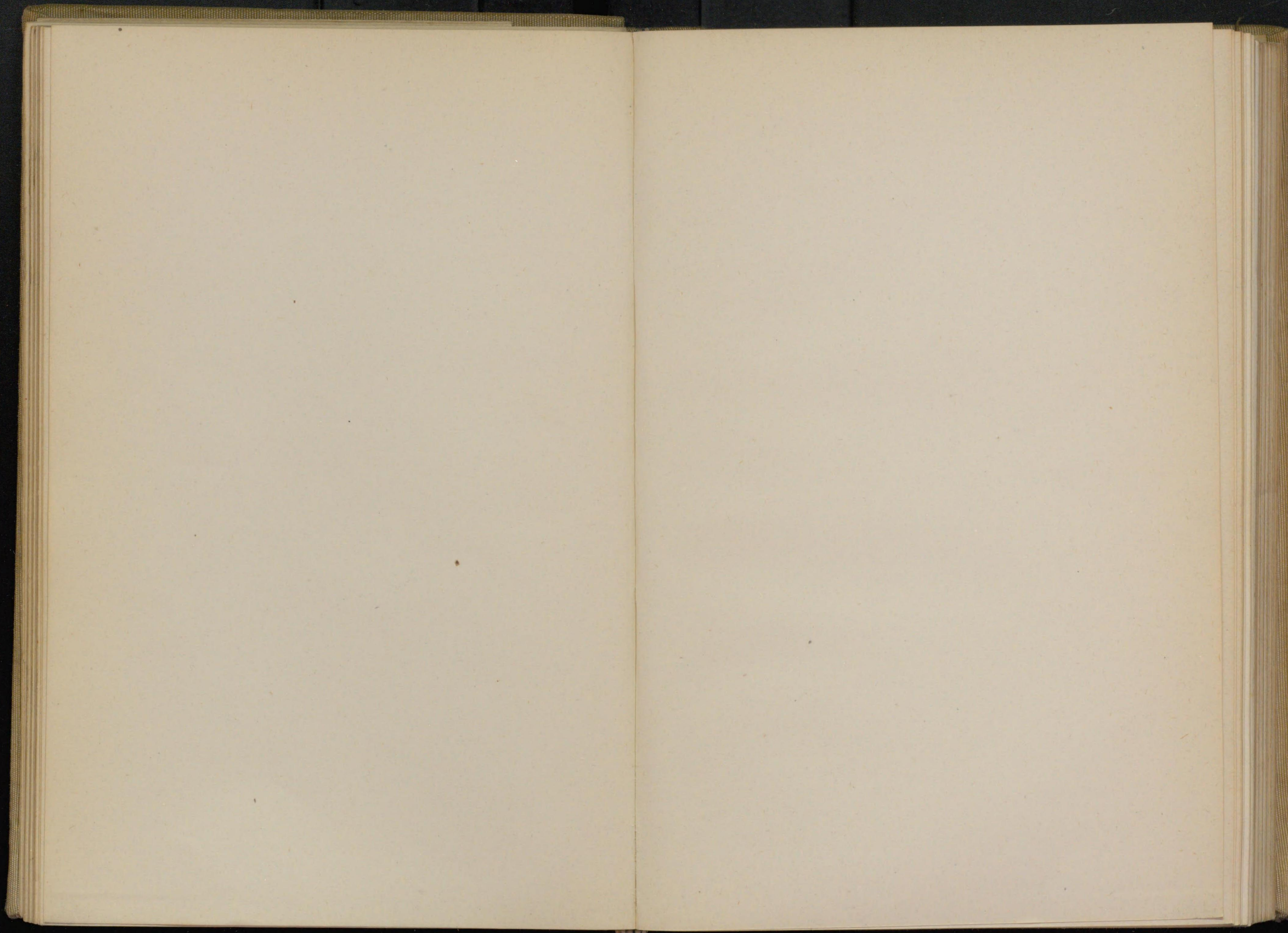


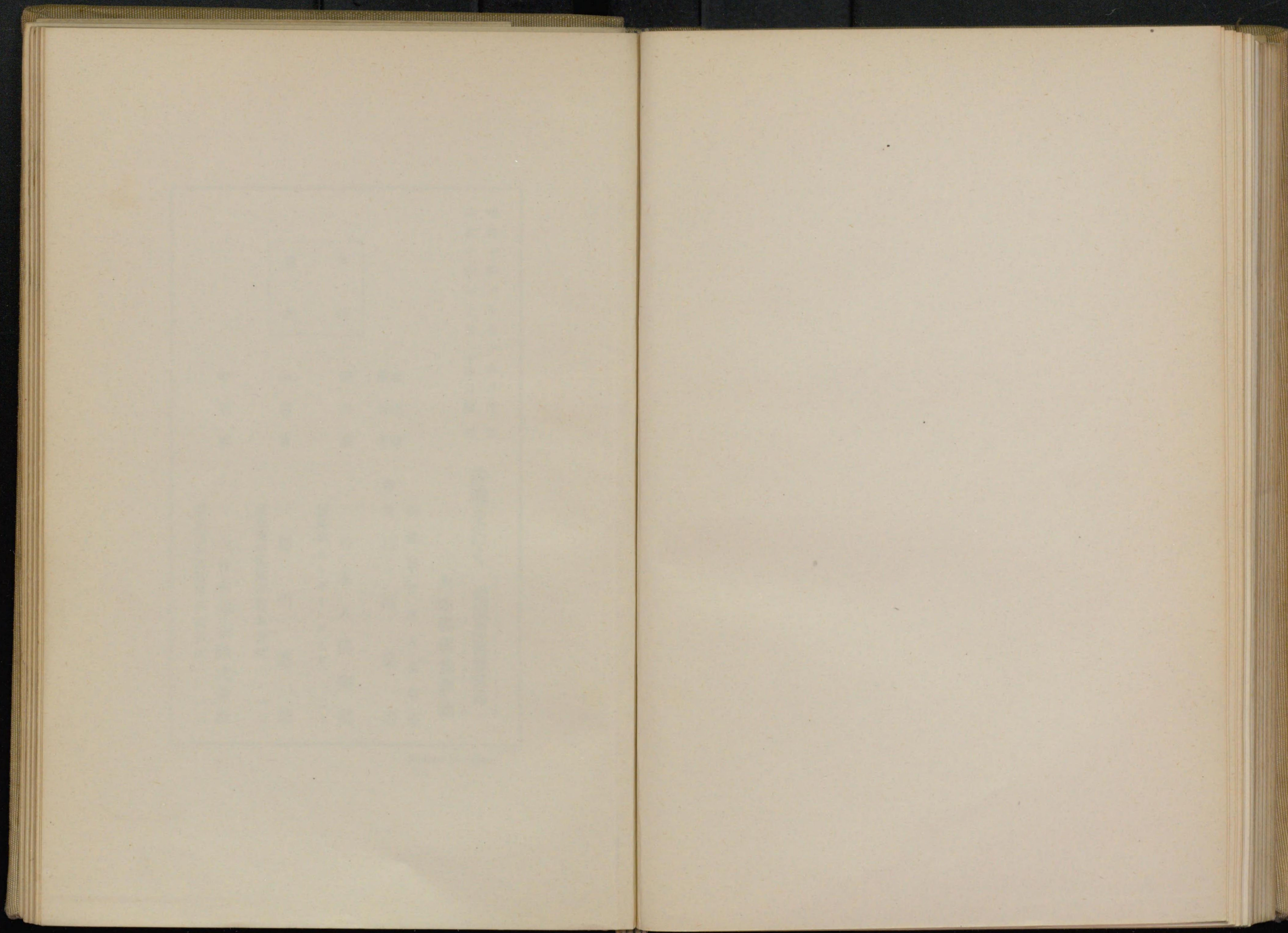












昭和十四年十月十八日印刷
昭和十四年十月二十四日發行

赤道を行く

定價星貨銀貳弗

内地特價金參圓

新嘉坡 日本人俱樂部
部長 石田忠治

日本人俱樂部

新嘉坡セルギイ・ロード、一〇七

杉山退助

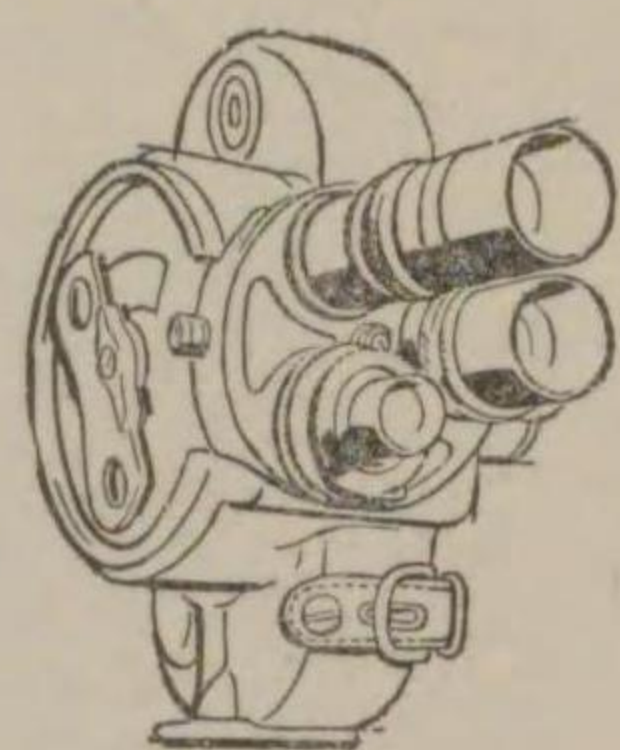
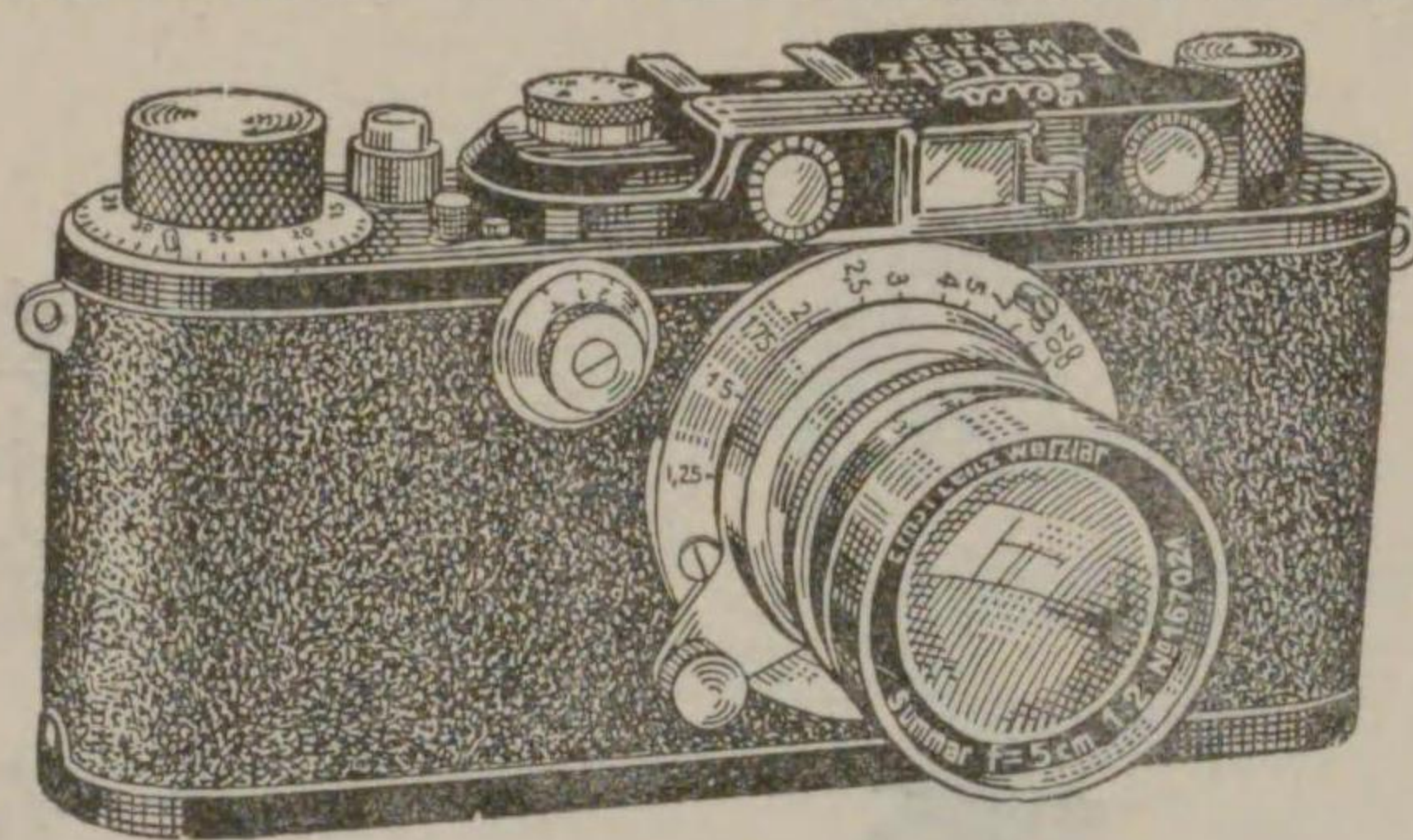
東京市牛込區市谷加賀町一ノ一二

大日本印刷株式會社

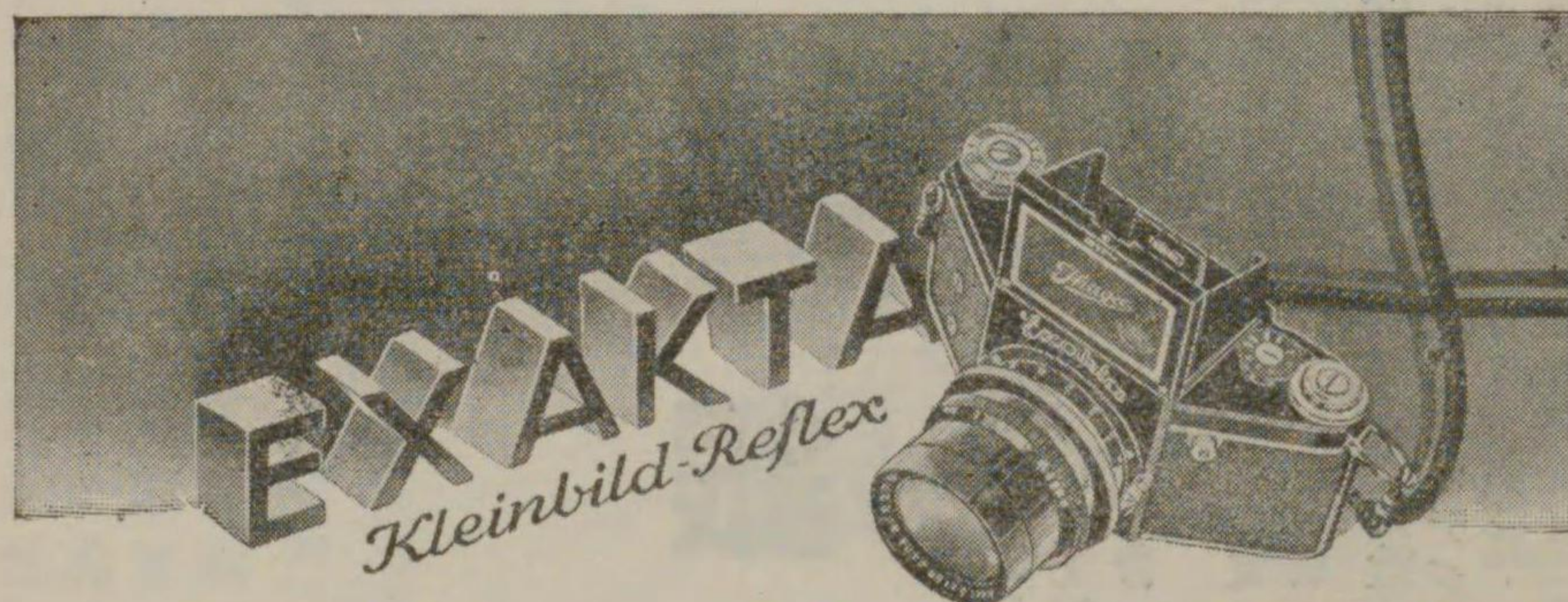
東京市牛込區市谷加賀町一ノ一二

不許
複製

發行所
發行所
印刷者
印刷所



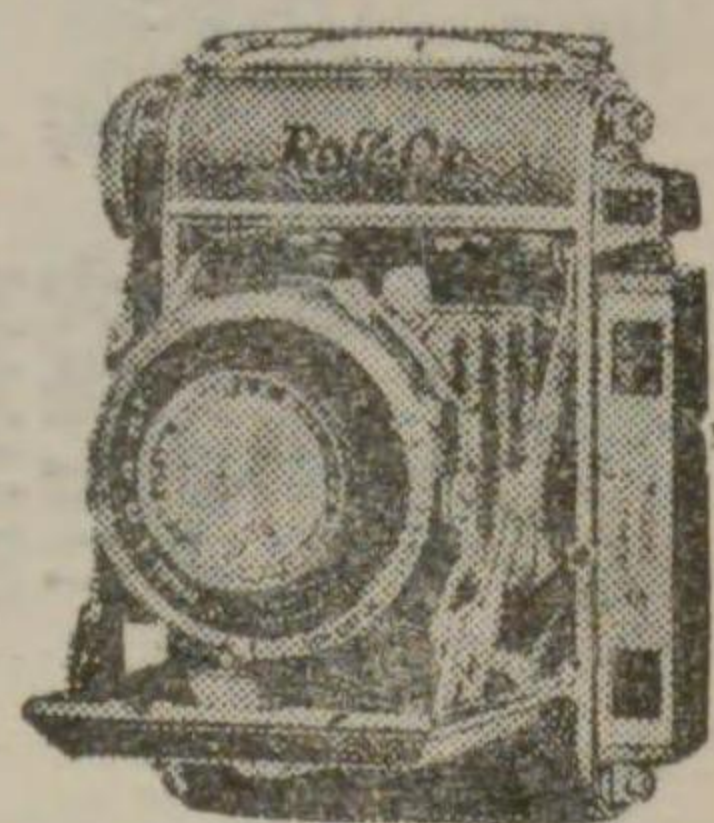
ライカ。コンタックス
 最新型小型カメラ。レ
 フレックスカメラ。
 8-16 ミリ活動寫眞器。双
 眼鏡ハ無稅港タル當
 地ガ最モ格安デス。
 何時モ最新流行型取
 揃ヘテ居マスカラ是
 非一度御來店下サイ。
 ライカ。シネフィルム。
 現像、焼付、引伸ハ迅
 速丁寧ニテ弊店ノ最
 モ得意トスル所デス。



A. P. S. 商會

109 North Bridge Road,
 SINGAPORE

(英國教會前) 電話 6550



資本金 壹億圓也 (全額拂込済)
 積立金 壹億二千七百拾五萬圓也

橫濱正金銀行

新嘉坡支店

新嘉坡ラフルスプレース十八號
 Cable address: "SHOKINGINK"

電話

支配人席 六〇四九
 營業部 五九二一
 買辦 五九二三
 店長 六四七二
 宅 七八四二

本店

橫濱

東京・丸ノ内・神戸・大阪・門司・長崎・名古屋・小樽・倫敦・巴里・漢堡・伯林・
 紐育・桑港・ロスアンゼルス・シヤトル・布哇・リオデジヤネイロ・シドニ
 ー・アレキサンドリヤ・マニラ・孟買・カルカッタ・蘭貢・カラチ・バタビヤ・
 スラバヤ・スマラン・盤谷・香港・廣東・上海・海口・青島・天津・北京・營口・
 大連・奉天・新京・哈爾濱

本店

臺北

東京、橫濱、大阪、神戸、大連、上海、漢口、香港、廣東、
 福州、汕頭、厦門、マニラ、バタビヤ、スマラン、スラ
 バヤ、孟買、倫敦、紐育、基隆、臺中、臺南、新竹、嘉義、
 高雄、彰化、宜蘭、淡水、桃園、南投、屏東、臺東、花蓮
 港、澎湖島



株式會社 臺灣銀行

No. 31, Raffles Place, Singapore, S. S.

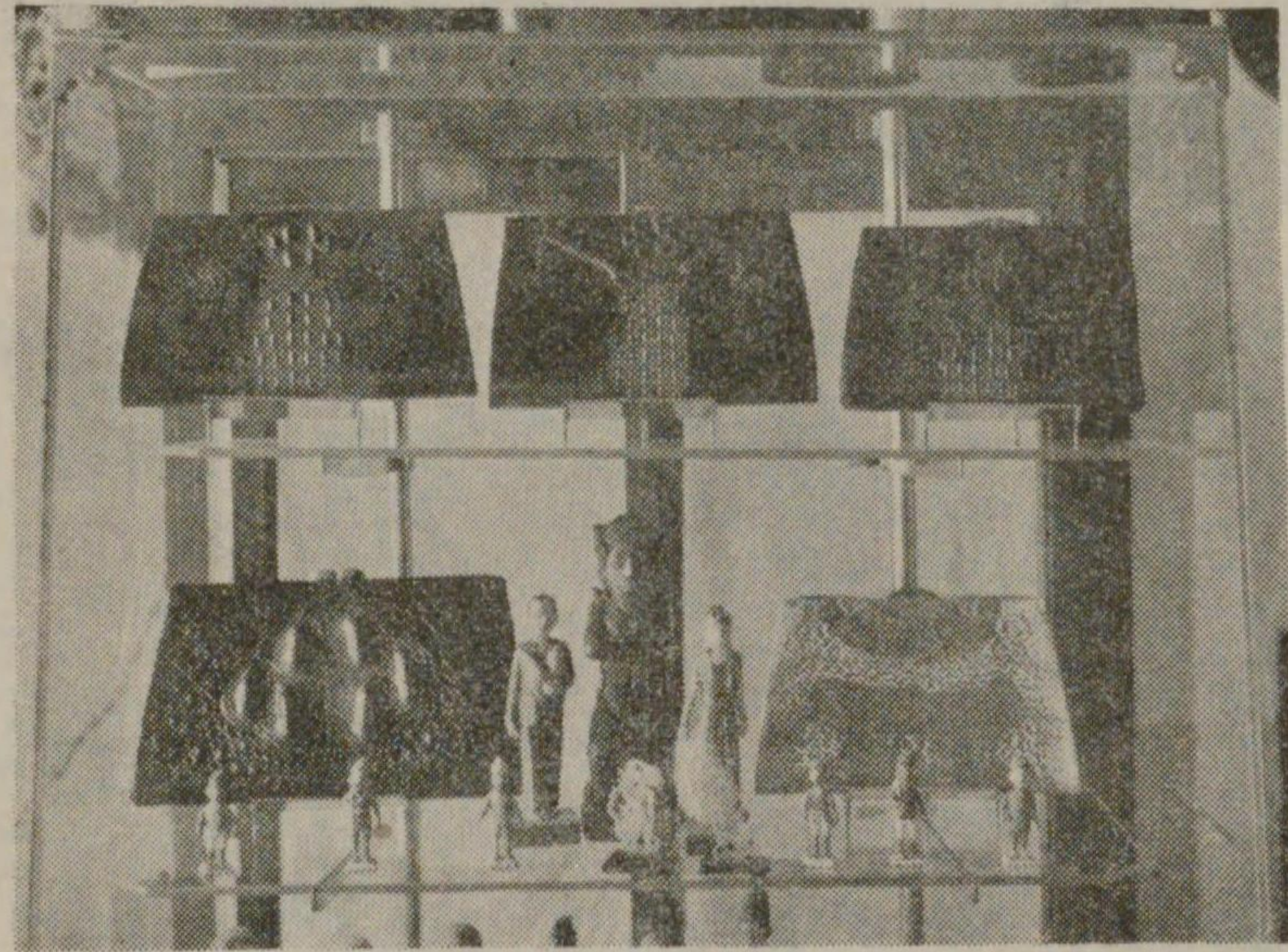
電信略語 "TAIWANGINK" Singapore.

電話

營業部 五三九一
 支配人席 三一九四
 買辦 六九五七

NARAYA & Co. No. 125 Middle Road, SINGAPORE

博
物
標
本

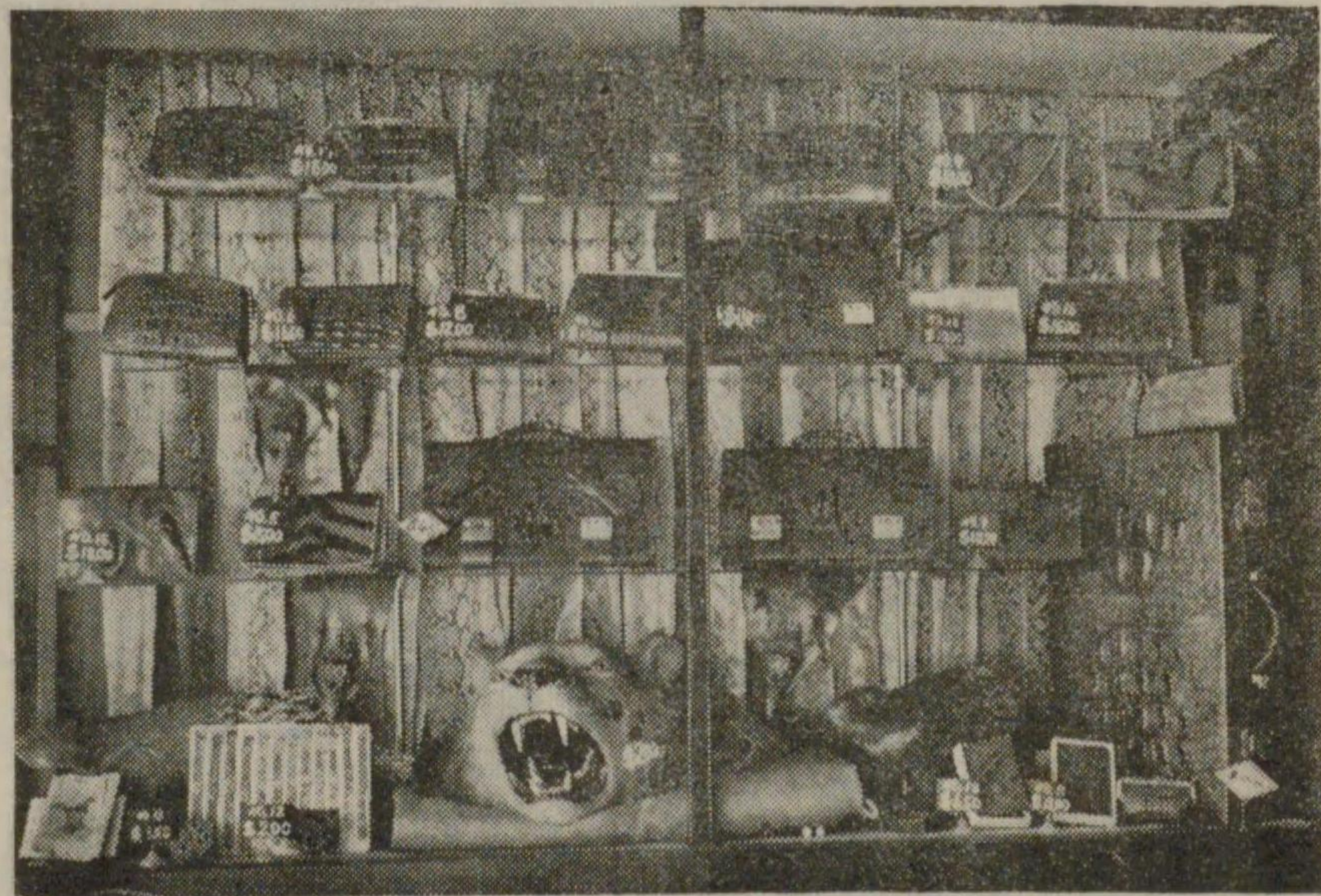


南
洋
土
產

店商屋良奈

號五十二百路ルドツミ坡嘉新

新嘉坡ミッドル路一三〇號



ワ
ニ
ヤ

鱷、トカゲ、鼈甲剥製、ハンドバッグ、弗入レ、ヤシ細工

WANIYA SPECIALISTS IN CROCODILE GOODS WORK.
No. 130, Middle Road, SINGAPORE.
WE ARE WAITING FOR YOUR CALL.

會 株
社 式

華
南
銀
行

一
般
銀
行
業
務
迅
速
叮
寧
二
取
扱
申
上
候

支 本
店 店

新 臺
嘉 北
坡 市

No. 31, Raffles Place,
SINGAPORE
TEL. NO. 3165.

Maison Ogaki

How Nice
PERMANENT
WAVE.....



GUARANTEED
6 MONTHS

PHONE 2776

63 Stamford Road, SINGAPORE.

メーソンオザキへ
デンワ 二、七、七、六、六

ウエーブとセットは!!

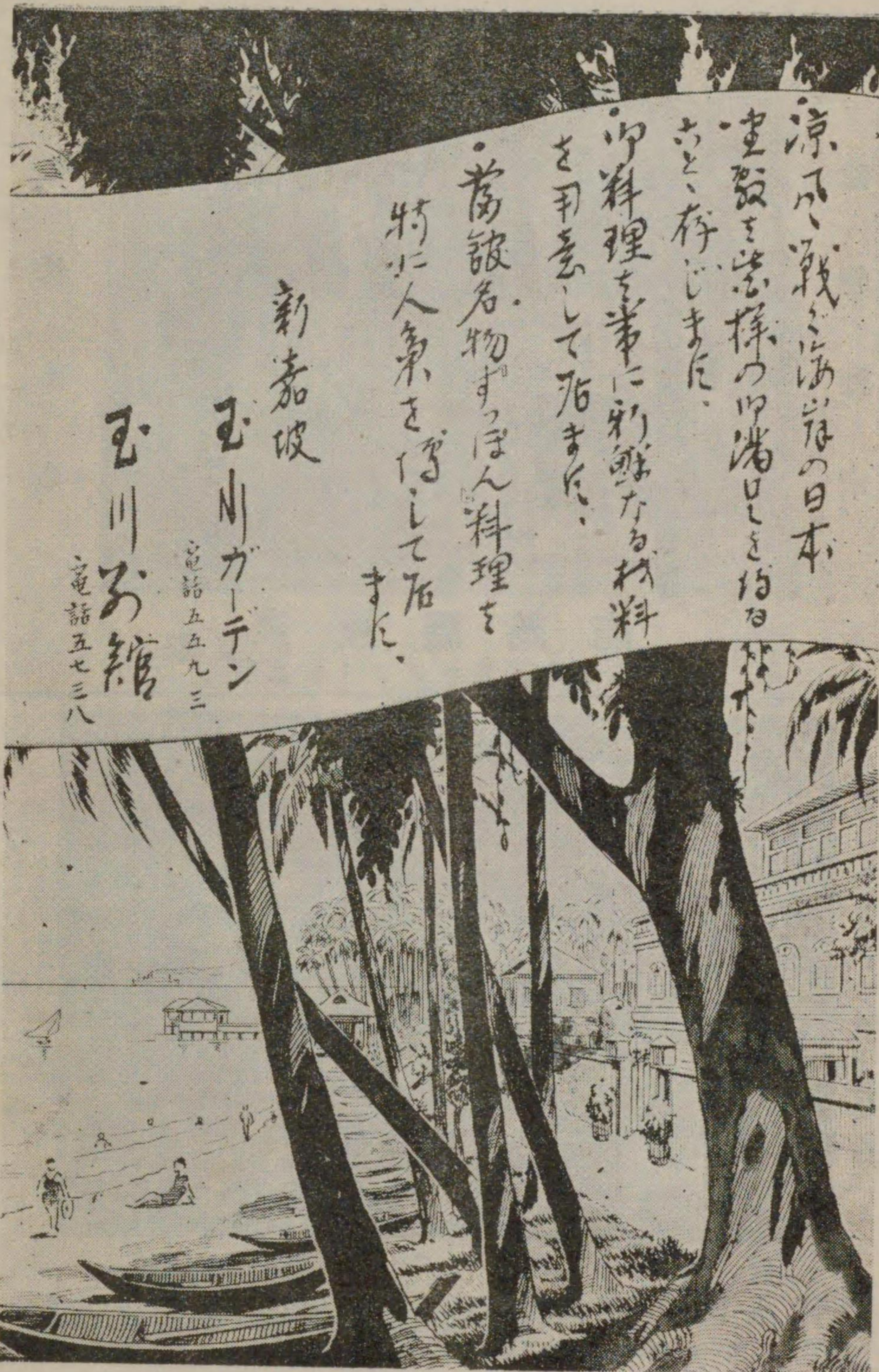
新

喜

樂

新
嘉
坡

デンワ 三、七、六、六、番



涼風、戦後の海沿いの日本
を散々と歩いたのや濡りしと灼日
おと、存じました。
即料理を常に新鮮なる材料
を用意して居ました。
當該名物ずっほん料理を
特に人衆を傳して居
ました。

新嘉坡

玉川ガーデン

電話五五九三

玉川お館

電話五七三八

MIYAKO HOTEL

No. 15 Beach Road, Singapore.
Telephone No. 7451 Cable add. "MIYAKO" Singapore.

◎涼しさや
窓の中なる
リオの島

都
ホ
テ
ル
新嘉坡海岸通一五號

◎市の中央に在り交通便
◎海に面し涼風常にあり

電話 二〇一三番
電略トイヨーカーン

TOYO HOTEL

No. 208 Queen Street, Singapore.
TEL. No. 2013. Cable Address "TOYOKAN"

東
洋
ホ
テ
ル

新嘉坡
クキーン街二〇八號

電話 二〇一三番
電略トイヨーカーン

<p>高等御下宿 閑静・便利・安値 照國ホテル 新嘉坡ベンクローレン街二五號</p>	<p>貸自動車 別府自動車 新嘉坡ミッドル路一六一號 電話 七二九七番</p>	<p>薩摩屋旅館 新嘉坡ウオタロー街六一號 電話 四五一五番</p>
--	---	--

<p>日光寫真館 新嘉坡セルギー路一二八號</p>	<p>日光寫真館 新嘉坡セルギー路一二八號</p>	<p>房 廼 家 新嘉坡ハイラム街</p>
-------------------------------	-------------------------------	-----------------------------------

染
光
廠
ドライクリーニング
新嘉坡オーチャード路五六號
電話 二〇八二番

TEL. No. 7044

CABLE ADDRESS "SEKIDENKAN" SINGAPORE

SEKIDENKAN HOTEL

No. 21 & 23 Beach Road,
Singapore.

創業
明治三十四年
碩田館

新嘉坡
ビーチ路二十一號

TAKESITA & CO.,
No. 62 Middle Road,
Singapore.

TEL. No. 7277 CABLE ADD. "TAKESITA"

竹下商會
輸出入商

三喜商會
輸出入商

新嘉坡
電話 四七六〇番
プリンセツプ街一〇〇號

尾張屋商店
陶器・雜貨商

新嘉坡
電話 二三二四番
ミッドルロード一三六號

SAKURA-HOTEL

No. 45 SOPHIA ROAD,
Singapore.

櫻

新嘉坡へ御越の節は

是非!! 電略サクラカン!!!

ホテル

御泊は朝食付二弗より

長滞在は御相談申上候

上 雜貨商
田 商店

新嘉坡ミッドル路一四三號
電話 二七八九

志村シャツ店

新嘉坡
電話 四三八二番
ブラサ路七九號

N.Y.K. LINE



經營航路 二 三線
 使用船數 一六三隻
 總噸數 一〇五六八〇噸

日本郵船株式會社
 新嘉坡支店

MEYER CHAMBER,
 No. 16, Raffles Place, Singapore, s.s.
 TEL. 5841, 5842, 5843.

本社 東京市麴町區丸ノ内二丁目二十番ノ一

南洋特産
 鳥獸、植物
 教育參考品
 土人武器
 製革、剝製

新嘉坡博物館御用
 龜屋物商店

工場 剝製鞣革及椰子細工々場
 養鱈場
 市外トムソン路五哩大昌農園内
 ◇縦覽御隨意◇

新嘉坡ミツドル路五五號
 電話 六六四五番

(珍品種々取揃へアリ)

馬來半島及新嘉坡風景風俗寫真各種
 其他寫場・一般人物撮影

ジヨホール王宮御用
 歴代總督御用達

中島寫真館

新嘉坡ブラスバサ路九一、九二號
 電話 七五六二號



株式會社

石原産業公司

鑛山業
船舶代理店

鐵鑛・滿俺鑛・ボーキサイト鑛・其他
神戶 石原産業海運株式會社
東京 南洋海運株式會社

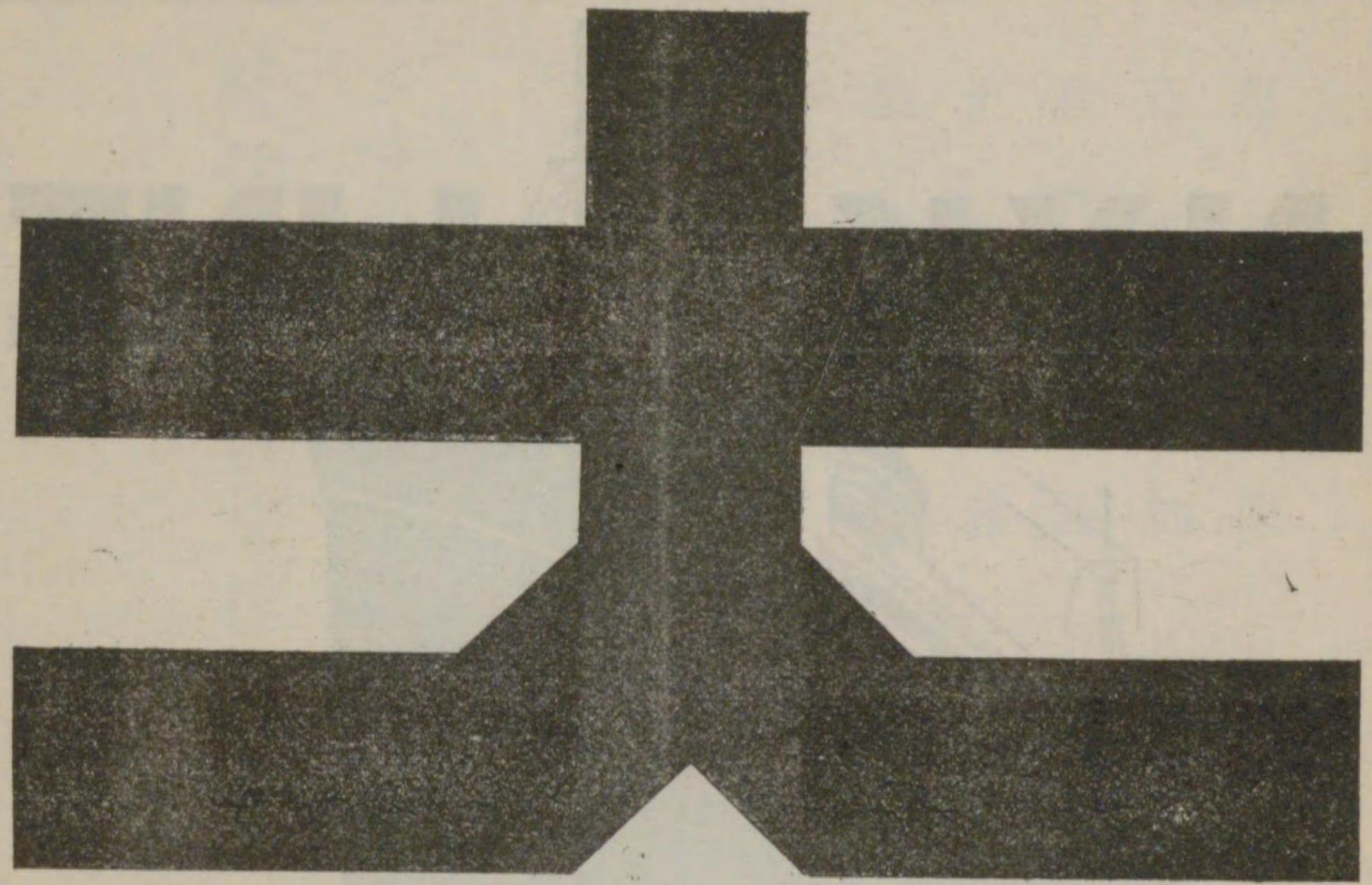
本社

新嘉坡ユニオンビルディング

電話 五二二二番

鑛山

柔佛州バトパハ
トレンガヌ州ケママン



大阪商船會社

新嘉坡支店

O.S.K. LINE